

Iizuka City Hospital

飯塚市立病院

基本理念

“優しい心、深い知識、確かな技術”をもって、
患者様本位のあたたかい医療を提供し、
市民の皆様に愛され、親しまれ、信頼される病院をめざします

基本方針

- すべてのスタッフによるチームケアおよび医療安全対策をより一層推進する。
- 地元医師会および他の医療機関との緊密な連携を保ち、
市民が安心して受診できる医療体制づくりを進める。
- 救急医療から慢性疾患のフォローアップまで幅広い診療を実践できる体制を整える。
- へき地医療支援病院として、医療過疎に悩む地域への医療支援を行う。
- 協力型臨床研修指定病院として、地域医療をめざす医師のために質の高い基礎教育を行う。



病院年報 ご挨拶



飯塚市立病院

管理者 武富 章

2023（令和5）年版の年報をお届けいたします。

令和5年は、飯塚市立病院が救急部を設置してから2年目にあたる年でした。1年間に受け入れた救急搬送は2822件となり、前年より493件増加しました。また、敷地内にヘリポートを設置し、圏域内で完結不可能と思われる超急性期かつ超重症患者の域外搬送手段として供用を開始しました。今後、ドクターヘリと救急車とのランデブー地点として利用件数は増加していくものと思います。

令和5年4月には、福岡県から地域医療支援病院の承認を受け、「紹介外来制」や「ふたり主治医制」を推進することにより紹介率、逆紹介率が向上しました。そのほか、医療系学生の実習受け入れ、地域医療従事者公開セミナーのWEB公開（月1回）等、地域医療支援病院としての役割を果たしていくことが当院発展の鍵であると考えています。

前年度同様、「発展途上病院」の途中経過報告書としてご高覧ください。

目次

病院理念 管理者挨拶

病院概要

沿革	2
施設概要	2
職員数	3
施設基準	5
学会認定施設	5

診療部門

内科	8
脳神経内科	13
小児科	16
外科	19
整形外科	32
脳神経外科	41
呼吸器外科	44
泌尿器科	47
眼科	50
耳鼻咽喉科	54
皮膚科	57
リハビリテーション科	61
放射線科	64
救急科	67
麻酔科	74
肝臓・消化器	76

看護部門

看護部（看護部長室）	80
看護部（4階病棟）	84
看護部（5階病棟）	88
看護部（6階病棟）	92
看護部（7階病棟）	97

看護部（8階病棟）	97
看護部（外来）	99
看護部（手術室・中央材料室）	102
看護部（感染管理室）	105
看護部（医療安全管理室）	110

医療技術部門

医療技術部（薬剤室）	116
医療技術部（放射線室）	120
医療技術部（臨床検査室）	123
医療技術部（リハビリテーション室）	130
医療技術部（栄養管理室）	132
医療技術部（臨床工学室）	135

事務部門

事務部（総務課・会計課・医事課）	140
地域医療連携室	142
診療情報管理室	144
情報システム管理室	146

診療統計

入院患者統計	150
外来患者統計	155
紹介・逆紹介統計	163
救急統計	164
放射線統計	164
手術統計	165
リハビリ統計	165
検査統計	166
薬剤統計	166
保険予防活動統計	166
死亡及び解剖統計	166



病院概要

沿革

年 月	沿 革 内 容
平成20年 4 月	独立行政法人労働者健康福祉機構筑豊労災病院の経営移譲に伴い、飯塚市立病院として開院し、公益社団法人地域医療振興協会に指定管理を委託
平成21年 3 月	救急指定病院の取得
平成21年 4 月	電子カルテ導入
平成22年 4 月	へき地医療拠点病院の指定
平成22年12月	財日本医療機能評価機構病院機能評価認定取得
平成25年 4 月	呼吸器外科、乳腺外科を標榜
平成26年10月	新診療棟竣工
平成27年 2 月	回復期リハビリテーション病棟新設（50床）
平成28年 1 月	地域包括ケア病棟新設（50床）
平成29年 3 月	管理棟改修工事竣工
令和 4 年 4 月	救急部発足
令和 4 年 7 月	救急科を標榜
令和 5 年 3 月	ISO9001の認証を取得
令和 5 年 4 月	地域医療支援病院の承認
令和 5 年 5 月	ヘリポート整備完了

施設概要

【名 称】飯塚市立病院

【所 在 地】〒820-0088福岡県飯塚市弁分633－ 1

【開 設 者】飯塚市

【開 設 年 月 日】2008年 4 月 1 日

【管 理 者】武富章

【管 理 運 営】公益社団法人地域医療振興協会

【診 療 科 目】内科・脳神経内科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科・乳腺外科・泌尿器科・眼科・耳鼻いんこう科・皮膚科・リハビリテーション科・放射線科・救急科・麻酔科

【病 床 数】一般250（内 急性期一般150床/回復期リハビリテーション病棟50床/地域包括ケア病棟50床）

【代表電話番号】0948-22-2980

【F A X 番 号】0948-24-3812

職員数

			2025年 3 月 1 日								
			正 規 職 員	臨 時 職 員	非 常 勤 職 員	(非常勤職員) 常勤換算	実人数 合計	常勤換算 人数合計	男 (実人数)	女 (実人数)	
診療部	医師	内科	10		10	1.96	20	11.96	17	3	
		脳神経内科	1				1	1.00	1		
		小児科	1				1	1.00	1		
		外科	5		3	0.60	8	5.60	8		
		整形外科	7		10	0.99	17	7.99	15	2	
		脳神経外科			2	0.10	2	0.10	2		
		胸部疾患センター （呼吸器外科）	1				1	1.00	1		
		胸部疾患センター （乳腺外科）					0	0.00			
		泌尿器科			4	0.35	4	0.35	4		
		眼科	1		3	0.17	4	1.17	3	1	
		耳鼻いんこう科			6	0.53	6	0.53	3	3	
		リハビリテーション科	2				2	2.00	2		
		救急部	1		2	0.40	3	1.40	3		
		放射線科	1		1	0.080	2	1.08	2		
		麻酔科	1		6	1.37	7	2.37	4	3	
		皮膚科	2		2	0.50	4	2.50	1	3	
		研修医	1				1	1.00	1		
	診療部 計			34	0	49	7.04	83	41.04	68	15
医療技術部	医療 技術師（士）	薬剤師	8				8	8.00	3	5	
		診療放射線技師	11				11	11.00	7	4	
		臨床検査技師	9				9	9.00	2	7	
		理学療法士	24				24	24.00	17	7	
		作業療法士	16				16	16.00	4	12	
		言語聴覚士	5				5	5.00	1	4	
		視能訓練士	2	1		0.53	3	2.53	1	2	
		管理栄養士	3				3	3.00		3	
		臨床工学技士	3				3	3.00	2	1	
		救急救命士	2				2	2.00	2		
		医療技術師（士）計	83	1	0	0.53	84	83.53	39	45	
	医療技術 助手	薬剤室助手		2		2.00	2	2.00	1	1	
		放射線室助手		0.5		0.59	0.5	0.59		0.5	
		臨床検査室助手					0	0.00			
		リハビリ室助手		2		1.75	2	1.75		2	
		医療技術助手計	0	4.5		4.34	4.5	4.34	1	3.5	
	医療技術 計			83	5.5	0	4.87	88.5	87.87	40	48.5
	看護部	看護師 准看護師	看護師	157	20		13.98	177	170.98	16	161
准看護師							0	0			
看護師・准看護師計			157	20	0	13.98	177	170.98	16	161	
介護福祉士 看護助手 クラーク		介護福祉士	18	4		2.9	22	20.90	11	11	
		看護助手	6	3		2.18	9	8.18	3	6	
		クラーク	1	9.5		9.91	10.5	10.91	0	10.5	
		助手・クラーク計	25	16.5	0	14.98	41.5	39.98	14	27.5	
看護部 計			182	36.5	0	28.96	218.5	210.96	30	188.5	

事務部他	事務	事務部長室	1		1	0.80	2	1.80	2	
		総務課	6	4		4.0	10	10.00	3	7
		会計課	4	1		1.00	5	5.00	1	4
		医事課	9	0			9	9.00	4	5
		事務部計	20	5	1	5.80	26	25.80	10	16
	その他	MSW	6				6	6.00	2	4
		地域医療連携室	3	2		2.00	5	5.00	1	4
		情報システム管理室	1				1	1.00		1
		診療情報管理室	5	1		1.00	6	6.00	4	2
		医師事務作業補助者	7	2		2.00	9	9.00		9
		その他計	22	5	0	5.00	27	27.00	7	20
	事務部他 計		42	10	1	10.80	53	52.80	17	36
	合計		341	52	50	51.66	443	392.67	155	288

看護部配置数

		正規職員				臨時職員						実人数 合計	常勤換算 人数合計	常勤換算と 定数の差
		正看護師	介護福祉	看護助手	クラーク	正看護師	准看護師	クラーク	介護福祉	看護助手	常勤換算			
看護部	看護部長室	5			1	1		0			1.80	7	7.8	2.8
	病棟	103	18	5		3	0	0	4	3	7.76	136	133.8	20.76
	4階病棟	23	3			1				1	1.06	28	27.1	2.06
	5階病棟	18	5	2		1			1		1.45	27	26.5	7.45
	6階病棟	23	1	2		1				1	1.80	28	27.8	2.8
	7階病棟	22	2						2		2.00	26	26.0	1
	8階病棟	17	7	1					1	1	1.45	27	26.5	7.45
	外来	23				13		9.5			17.31	45.5	40.31	18.31
	手術室	13				3					2.10	16	15.1	1.10
	地域医療連携室	4										4	4.0	0
	医療安全管理室	1										1	1.0	0
	感染管理室	1										1	1.0	0
	産休・育休・休職中	7		1							0.00	8	8.0	8
	計	157	18	6	1	20	0	9.5	4	3	28.96	218.5	210.96	50.96

※（ ）は兼務者とする。

※産休・育休・休職中の職員は在籍人数に含むものとする。

施設基準

一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 1）
 救急医療管理加算
 診療録管理体制加算 1
 医師事務作業補助体制加算 2（25対 1）
 地域医療体制確保加算
 急性期看護補助体制加算（25対 1）看護補助者 5割以上
 療養環境加算
 重症者等療養環境特別加算 個室：8
 医療安全対策加算 1
 医療対策地域連携加算
 感染対策向上加算 1 指導強化加算
 後発医薬品使用体制加算 1
 データ提出加算 2
 入退院支援加算 1
 二次性骨折予防継続管理料 1
 二次性骨折予防継続管理料 2
 二次性骨折予防継続管理料 3
 夜間休日救急搬送医学管理料注 3 救急搬送看護体制加算 1
 外来腫瘍化学療法診療料 1
 連携充実加算
 がん治療連携指導料
 薬剤管理指導料
 医療機器安全管理料 1
 在宅療養後方支援病院
 BRCA 1 / 2 遺伝子検査
 検体検査管理加算（Ⅰ）
 検体検査管理加算（Ⅱ）
 神経学的検査
 コンタクトレンズ検査料 1
 小児食物アレルギー負荷検査

認知症ケア加算 2
 せん妄ハイリスク患者ケア加算
 回復期リハビリテーション病棟入院料
 1 強化体制加算 1
 地域包括ケア病棟入院料 2
 看護補助者配置加算・看護職員配置加算
 看護職員処遇改善評価料（35）
 入院時食事療養/生活療養（Ⅰ）
 外来栄養食事指導料の注 2 に規定する施設基準
 糖尿病合併症管理料
 がん性疼痛緩和指導管理料
 がん患者指導管理料Ⅰ
 がん患者指導管理料 2
 画像診断管理加算 2
 CT撮影及びMRI撮影
 冠動脈CT撮影加算
 心臓MRI撮影加算
 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 外来化学療法加算 1（専用病床数10床）
 無菌製剤処理料
 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
 がん患者リハビリテーション料
 乳がんセンチネルリンパ節加算 1（併用）
 乳がんセンチネルリンパ節加算 2（単独）
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 胃瘻造設術
 輸血管管理料Ⅱ
 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
 麻酔管理料（Ⅰ）
 酸素単価

R5. 3 月

学会認定施設

日本外科学会 専門医制度修練施設
 日本消化器外科学会 専門医修練施設
 日本消化器内視鏡学会 指導連携施設
 日本がん治療認定医機構 認定研修施設
 日本消化器病学会 認定施設
 日本整形外科学会 専門医研修施設
 日本皮膚科学会 専門医研修施設

日本眼科学会 研修施設
日本病理学会 研修登録施設
日本腹部救急医学会 認定施設
日本医学放射線学会 画像診断管理認定施設
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会実施施設
日本超音波医学会 超音波専門医研修施設



診療部門

内科



概要

診療科人員：管理者 1 名、部長 2 名、科長 2 名、常勤医師 2 名、非常勤医師 9 名
部長：出口 智弘 ・ 部長：古賀 康秀

1. 診療体制

内科は常勤医師 7 名、非常勤医師 9 名の体制で診療をおこなっています。特色としては自治医科大学卒の医師が主の病院となっています。

大学医局より派遣いただいている非常勤医師や循環器内科については協会内の病院より毎週月曜から水曜に派遣の協力をいただき、診療体制を確保しています。派遣を頂いている各大学医局、協会内の施設には感謝申し上げます。

月曜から金曜までの午前中に外来診療および内視鏡検査をおこなっています。発熱外来も平日の午後に予約制で対応を継続しています。

自治医科大学卒の後期研修医師の教育施設となっていることから、毎年 2 名の医師が当院で研鑽を積んでいます。

令和 5 年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の対応も行いながら、他の診療機能をとめることないように配慮し診療を行った一年間でした。

2. 診療科の特色

内科診療は、塵肺、呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、代謝疾患、消化器疾患、肝疾患、血液疾患、自己免疫性疾患など多岐に渡りますが、全医師が専門医を中心にチーム医療の連携のもと、診療に当たっています。

「幅の広い診療」を心がけながら、今後も地域医療の担い手として施設、設備、そして人材の充実を図り、そして地域の開業医の先生方とも協力しながら地域住民の保健、健康維持増進に努めていきたいと考えています。

3. 今後の課題と目標

昨年に引き続き、常勤医師の確保は喫緊の課題となっています。コロナ禍を経て、通常診療とコロナ患者対応の両立を迫られており、医師の負担は増大していく中、働き方改革への対応も同時に行っていく必要があります。

この状況を改善する為、常勤医師の招聘活動を継続し、働き方改革や地域医療機関との連携強化など、多角的なアプローチにより、医師の負担軽減と医療の質の向上を目指します。

前述の通り、当院は自治医科大学卒の後期研修医師の教育施設となっているため、若手医師の研修施設として充実した教育体制、バックアップ体制を今後より一層強化していく必要があると考えています。若手医師が義務年限を終了した後、当院へ戻ってきて活躍してもらえるような魅力のある病院を目指しています。

4. 業務実績

■ 入院患者統計

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	1,376	1,622	1,883	1,909	2,395	2,268	2,134	1,699	1,702	2,074	2,233	2,173	23,468	1,955.7

科別 1 日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	45.9	52.3	62.8	61.6	77.3	75.6	68.8	54.8	54.9	66.9	77.0	70.1		64.1

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	11.4	14.6	13.9	12.4	14.7	14.1	15.8	15.4	15.0	14.7	15.5	18.4		14.4

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

■ 外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	1,568	1,502	1,545	1,625	1,693	1,445	1,517	1,401	1,497	1,430	1,343	1,349	17,915	1,492.9
(内科入院中外来)	101	29	28	31	38	32	37	37	28	39	31	27	458	38.2

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	78.4	75.1	70.2	81.3	77.0	72.3	72.2	70.1	74.9	75.3	70.7	67.5		83.9

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

科別初診患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	190	196	225	289	306	192	204	182	232	212	185	186	2,599	216.6

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	1,669	1,531	1,573	1,656	1,731	1,477	1,554	1,438	1,525	1,469	1,374	1,376	18,373	1,531.1
(内科入院中外来)	101	29	28	31	38	32	37	37	28	39	31	27	458	38.2

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別1日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	83.5	76.6	71.5	82.8	78.7	73.9	74.0	71.9	76.3	77.3	72.3	68.8		75.6

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	191	196	225	291	306	192	206	182	233	212	186	188	2,608	217.3

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度	R05													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内 科	147	115	122	155	146	126	130	123	127	168	150	140	1649	137

手術部門

手術件数

年度	R05													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科		1	1	1	1			2				1	7	0.6

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

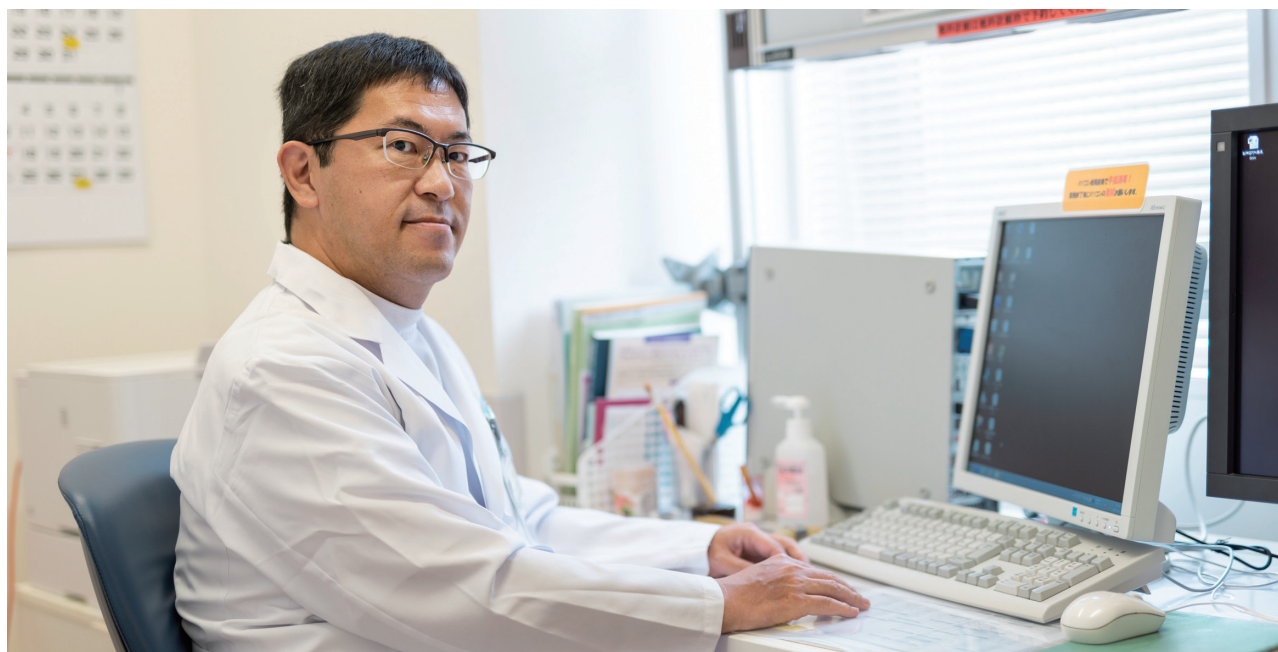
内視鏡件数

検査区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
上部	検査	40	57	60	82	71	94	93	68	56	71	72	68	832	69.33333
	手術			1										1	1
	処置	7	9	11	5	16	11	16	11	6	5	5	8	110	9.166666667
下部	検査	40	33	36	30	33	29	36	39	43	33	46	37	435	36.25
	手術					2	1		1	1		1	2	8	1.333333
	処置	10	13	17	12	19	16	30	15	11	11	10	4	168	14
気管支鏡												1		1	1
ERCP（検査のみ）					2			1		1	1			5	1.25

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのもの）	1	1								1			3	1.0
（入院）	1	1								1			3	1.0
（外来）														
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（直径 2 cm未満）	7	9	8	4					9	9	6	4	56	7.0
（入院）	7	9	8	4					9	9	6	4	56	7.0
（外来）														
内視鏡的膵管ステント留置術	1	1		1	1					1			5	1.0
（入院）	1	1		1	1					1			5	1.0
（外来）														
胃瘻造設術 （経皮的内視鏡下胃瘻造設術・ 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）			1	2	1	1	2	1		1	1	1	11	1.2
（入院）		1	2	1	1	2	1		1	1	1		11	1.2
（外来）														
小腸結腸内視鏡的止血術		1		1					1	1			4	1.0
（入院）		1		1					1	1			4	1.0
（外来）														
内視鏡的胃・十二指腸ポリープ・ 粘膜切除術 （早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術）		1											1	1.0
（入院）		1											1	1.0
（外来）														
内視鏡的消化管止血術		2	1	1		1			1		2		8	1.3
（入院）		2	1	1		1			1		1		7	1.2
（外来）											1		1	1.0
内視鏡的大腸ポリープ・ 粘膜切除術（直径 2 cm以上）		2	1						3	1		2	9	1.8
（入院）		2	1						3	1		2	9	1.8
（外来）														
内視鏡的乳頭切開術 （胆道碎石術を伴うもの）		1											1	1.0
（入院）		1											1	1.0
（外来）														
経皮的肝膿瘍ドレナージ術			1			1						1	3	1.0
（入院）			1			1						1	3	1.0
（外来）														
内視鏡的胃・十二指腸ポリープ・ 粘膜切除術 （その他のポリープ・粘膜切除術）			1										1	1.0
（入院）			1										1	1.0
（外来）														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内視鏡的胆道結石除去術 (胆道碎石術を伴うもの)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
膵結石手術 (経十二指腸乳頭によるもの)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
経皮的胆管ドレナージ術				1									1	1.0
(入院)				1									1	1.0
(外来)														
内視鏡的胃・ 十二指腸ステント留置術				1							1		2	1.0
(入院)				1							1		2	1.0
(外来)														
下部消化管ステント留置術					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
内視鏡的胆道ステント留置術					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
ペースメーカー交換術					1		1						2	1.0
(入院)					1		1						2	1.0
(外来)														
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注 入用植込型カテーテル設置 (頭頸部その他)						1							1	1.0
(入院)						1							1	1.0
(外来)														
経尿道的尿管ステント留置術								1					1	1.0
(入院)								1					1	1.0
(外来)														
胸水・腹水濾過濃縮再静注法								1					1	1.0
(入院)								1					1	1.0
(外来)														
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術												1	1	1.0
(入院)														
(外来)												1	1	1.0

脳神経内科



概要

診療科人員
部長：高嶋 伸幹

1. 診療体制

脳神経内科は月曜午前午後、火曜日午前、木曜日午前に外来診療を行っている。新患は月曜日午前午後
に完全予約制、再診は火曜日午前、木曜日午前に行い、診察までの待ち時間短縮を心掛けている。また、
救急患者緊急対応（主に脳梗塞など）や他科依頼に随時対応している。半側顔面けいれんや眼瞼痙攣など
に対するボトックス治療・車椅子使用の重症患者・脳波や神経伝導検査が必要な患者は、火曜日・木曜日の
午後に再診予約を入れている。さらにリハビリ科部長、回復期リハ病棟専従医と協力して、回復期リハ病
棟の主に脳卒中の入院患者を診察している。

2. 診療科の特色

外来患者の内訳は、神経変性疾患（パーキンソン病、レヴィ小体型認知症、進行性核上性麻痺、脊髄小脳
変性症など）、脳血管障害、てんかん、頭痛、末梢神経疾患、半側顔面けいれん、眼瞼痙攣、レストレッグ
ス症候群、REM睡眠行動異常症など多岐にわたる。特にパーキンソン病は治療経験豊富であるため、他院
からの紹介および治療に携わることが多い。脳血管障害の予防もエビデンスに基づいた最適な診療を心掛
けている。

一般病棟は脳梗塞治療（超急性期を除く）に携わることが多かった。SCU（Stroke Care Unit）勤務経
験を活かし、適切な治療を行った。またパーキンソン病などの変性疾患の急性増悪などに対応した。耳性
めまい、中枢性めまいの入院も多く受け持った。

回復期リハ病棟は脳血栓、脳塞栓、脳出血などの脳血管障害の亜急性期などを対象とし、飯塚病院の脳
神経内科・脳神経外科からの紹介患者が多かった。

3. 今後の課題と目標

今後も病病連携、病診連携を推進して理想の地域連携ネットワークを構築し、患者さんへのよりよい医療提供を目指していく。特に神経変性疾患の外来患者や、回復期リハ病棟の脳卒中患者を広く受け入れ、地域医療に貢献していく所存である。また入院患者のせん妄対策を看護師、薬剤師、栄養士、事務と連携・知識共有しながら認知症カンファレンスを行い、診療・看護のスキルアップにつなげていく。また、急性期の脳梗塞治療について、救急医・内科医と連携を密に図り、機能予後・アウトカムを向上していくことを計画する。

4. 業務実績

■ 入院患者統計

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	182	209	246	293	342	169	236	145	219	247	231	204	2,723	226.9

科別 1 日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	6.1	6.7	8.2	9.5	11.0	5.6	7.6	4.7	7.1	8.0	8.0	6.6		7.4

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	13.0	20.0	24.4	26.2	25.4	10.4	15.0	20.0	23.3	32.8	26.0	13.3		16.2

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年 2 月 1 日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年 1 月 1 日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

■ 外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	128	126	142	131	144	136	137	141	146	119	145	111	1,606	133.8
(脳神経内科入院中外来)	1	2	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0	10	0.8

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	10.7	9.7	10.9	10.9	10.3	12.4	10.5	11.8	12.2	9.9	12.1	9.3		10.7

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	12	13	13	12	14	11	13	12	12	12	12	12	148	12.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	191	175	192	203	211	168	219	172	168	166	159	133	2,157	179.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	129	128	143	133	145	137	138	142	146	119	145	111	1,616	134.7
(脳神経内科入院中外来)	1	2	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0	10	0.8

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	10.8	9.8	11.0	11.1	10.4	12.5	10.6	11.8	12.2	9.9	12.1	9.3		0.9

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	12	13	13	12	14	11	13	12	12	12	12	12	148	12.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	191	175	192	203	211	168	219	172	168	166	159	133	2,157	179.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	7	10	6	9	2	7	5	6	5	4	6	8	75	6

5. 論文・学会発表・講演等

特になし

小児科



概要

診療科人員：常勤医師 1 名
部長：穂吉 秀隆

1. 診療体制

小児科は常勤医師 2 名の体制で診療をおこなっています。

月曜から金曜までの午前、午後に外来診療をおこなっています。小児科ではこどものあらゆる病気に対応しています。外来診療の他、予防接種（予約制）や健診も行っています。

2. 診療科の特色

当院の特徴として、眼科、耳鼻科、皮膚科などの診療科があり、必要な場合には連携して診療にあたっています。また血液検査やレントゲンなどの画像検査もすぐに対応できます。

小児科部長はへき地診療支援や飯塚市の健診および予防接種の外務も行っています。もう 1 名の沖小児科医師は感染症専門医の資格も有しており、小児科業務の他、ICDとして院内の感染管理体制強化の役割も担っています。

3. 今後の課題と目標

地域医療機関との連携を強化し、小児医療の質の向上を目指してまいります。地域の小児医療を維持するために、今後も地域住民の皆様に安心して受診していただけるよう、医療サービスの向上に努めてまいります。

飯塚急患センターの時間外小児診療が休診することに伴い、当院は地元医師会や自治体からご指名をいただき、次年度（令和 6 年度）より小児科休日・夜間診療を担うこととなりました。令和 5 年度は飯塚市、飯塚医師会、飯塚病院、その他関係機関の方々と協議を重ね、開設に向けて準備を行った一年間でした。すべてのスタッフを当院で配置することは困難な状況であり、地元医師会、関係大学の先生方、薬剤師会の薬剤師の皆さま、飯塚病院の看護師の皆さまのご支援を頂きながら、小児科休日・夜間診療をスタートする計画です。小児医療はいわゆる 5 疾病・5 事業でもあり、公的病院として、その役割を担うことは当院の責務だと考えています。開設に向けては関係機関のご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

4. 業務実績

入院患者統計

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科														0.8

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	94	116	160	147	121	122	133	108	104	63	72	45	1,285	107.1
（小児科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を**除いています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	4.7	5.8	7.3	7.4	5.5	6.1	6.3	5.4	5.2	3.3	3.8	2.3		6.3

※外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれない**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	5	6	6	5	4	4	5	8	5	6	6	7	67	5.6

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれていません**。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	94	116	160	147	121	122	133	108	104	63	72	45	1,285	107.1
（小児科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	4.7	5.8	7.3	7.4	5.5	6.1	6.3	5.4	5.2	3.3	3.8	2.3		5.3

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず 1 日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	5	6	6	5	4	4	5	8	5	6	6	7	67	5.6

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度	R05													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	2	1	3	3	1	4	2	1	2	5	3	4	31	3

外科



概要

診療科人員：部長 1 名、常勤医師 4 名、非常勤医師 2 名
 名誉院長：岡部 正之 ・ 部長：吉田 純

1. 診療体制

外科は常勤医師 5 名、非常勤医師 2 名の体制で診療をおこなっています。久留米大学医学部外科学講座より医師を派遣いただいています。外来の診療体制は平日の外科外来の他、週 1 回肛門外来、乳腺外来も行っています。消化管疾患を中心に幅広く診療、手術を行い、主に 4 階病棟で外科症例の入院を受け入れています。

2. 診療科の特色

外科の対象疾患は、胃、十二指腸、結腸、直腸等の消化管疾患、肝臓、胆道（胆のう、胆管）、膵臓等の肝胆膵疾患を中心に、一般外科、乳腺、血管外科等幅広く診療、手術を行っています。悪性疾患に対しては、個々の症例に応じた質の高い手術法、治療法を選択しガイドラインに沿って手術や鏡視下手術を行っています。また術前、術後の化学療法を行い、また再発や手術不能例には化学療法を行い、延命効果を認めています。胆管結石や胆道癌による胆管炎、胆道狭窄や胆道閉塞が多いのが特徴で内視鏡的乳頭的治療、処置を多く行っています。血管外科では、主に下肢静脈瘤治療（レーザー治療、塞栓療法など）を行っています。症例によっては血管外科専門医の応援で、腹部大動脈瘤手術も行っています。

患者さんの心の声が理解出来る様に、又患者さん中心の全人的治療が出来る様に努めています。

3. 今後の課題と目標

医師は、乳腺外科診療のさらなる充実や夜間救急対応の強化に不可欠です。これらの課題解決に向けて、引き続き医師の招聘活動に努めてまいります。

また低侵襲な腹腔鏡下手術は患者様の負担を軽減し、より早い回復を促す治療法として、その重要性が増しています。当院では、この腹腔鏡下手術の症例数をさらに増やし、より多くの患者様にこの治療法を提供できるよう、日々研鑽を積んでおります。

中長期的には、ロボット支援手術の導入も視野に入れております。ロボット支援手術は、より精度の高い

手術が可能となり、患者様のQOL向上に繋がると期待されています。費用面などの課題はありますが、今後も医療技術の進歩を見据えながら、患者様にとって最善の医療を提供できるよう、体制を整えてまいります。

4. 業務実績（外科）

■ 入院患者統計

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	483	378	434	317	536	427	397	462	565	384	417	468	5,268	439.0

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	16.1	12.2	14.5	10.2	17.3	14.2	12.8	14.9	18.2	12.4	14.4	15.1		14.4

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	8.4	7.7	8.0	9.1	8.2	7.9	6.6	7.8	7.5	6.6	6.6	8.5		8.9

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年 2 月 1 日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年 1 月 1 日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

■ 外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	408	509	573	461	498	566	554	577	526	449	417	475	6,013	501.1
（外科入院中外来）	4	2	3	1	4	0	2	2	1	2	2	4	27	2.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	20.4	25.5	26.0	23.1	22.6	28.3	26.4	28.9	26.3	23.6	21.9	23.8		24.8

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	33	40	62	60	37	60	59	44	31	17	17	13	473	39.4

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	412	511	576	462	502	566	556	579	527	451	419	479	6,040	503.3
（外科入院中外来）	4	2	3	1	4	0	2	2	1	2	2	4	27	2.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	20.6	25.6	26.2	23.1	22.8	28.3	26.5	29.0	26.4	23.7	22.1	24.0		24.9

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず 1 日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	33	40	62	60	37	60	59	44	31	18	17	13	474	39.5

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度	R05													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	25	29	28	24	27	31	29	33	26	27	27	21	327	27

手術部門

手術件数

年度	R05													
外科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	35	19	32	28	35	26	24	28	31	27	29	24	338	28.2

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
ヘルニア手術（鼠経ヘルニア）	3	1	3		3	1	3	2		2	5	2	25	2.5
（入院）	3	1	3		3	1	3	2		2	5	2	25	2.5
（外来）														
下肢静脈瘤血管内焼灼術	5	6	3	3	1	1	3	2	3	5	4	4	40	3.3
（入院）	5	6	3	3	1	1	3	2	3	5	4	4	40	3.3
（外来）														
下大静脈フィルター留置術	2	2											4	2.0
（入院）	1	1											2	1.0
（外来）	1	1											2	1.0
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1							2					3	1.5
（入院）	1							2					3	1.5
（外来）														
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	4	3	2	1	3	3	1	4	1	1	2	1	26	2.2
（入院）	2		1	1	2	2	1	2	1				12	1.5
（外来）	2	3	1		1	1		2		1	2	1	14	1.6
痔核手術（脱肛を含む）（結紮術）	1												1	1.0
（入院）	1												1	1.0
（外来）														
痔核手術（脱肛を含む）（硬化療法（四段階注射法によるもの））	2												2	2.0
（入院）	2												2	2.0
（外来）														
痔核手術（脱肛を含む）（根治手術（硬化療法（四段階注射法によるもの）を伴うもの））	1				1	1						4	7	1.8
（入院）	1				1	1						4	7	1.8
（外来）														
小腸切除術（その他のもの）	1					1							2	1.0
（入院）	1					1							2	1.0
（外来）														
胆嚢外瘻造設術	2				1	2	4			1		2	12	2.0
（入院）	2				1	2	4			1		2	12	2.0
（外来）														
直腸切除・切断術（切断術）	1												1	1.0
（入院）	1												1	1.0
（外来）														
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	2		2	1	1	2							8	1.6
（入院）	2		2	1	1	2							8	1.6
（外来）														
内視鏡的消化管止血術	1						1			1	1		4	1.0
（入院）	1						1			1	1		4	1.0
（外来）														
内視鏡的胆道ステント留置術	5	2	2		7	4	2	1	2	1	1	1	28	2.5
（入院）	5	2	2		7	4	2	1	2	1	1	1	28	2.5
（外来）														
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	1			1	1	1	1	1					6	1.0
（入院）	1			1	1	1	1	1					6	1.0
（外来）														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内視鏡的乳頭切開術 (胆道碎石術を伴うもの)	4	3	4	2	2	2	2	1	2	5	1	1	29	2.4
(入院)	4	3	4	2	2	2	2	1	2	5	1	1	29	2.4
(外来)														
内視鏡的乳頭切開術 (乳頭括約筋切開のみのもの)	1	1	2	1	1	4	2		3			1	16	1.8
(入院)	1	1	2	1	1	4	2		3			1	16	1.8
(外来)														
内視鏡的膵管ステント留置術	1			1					1				3	1.0
(入院)	1			1					1				3	1.0
(外来)														
腹腔鏡下胃・ 十二指腸潰瘍穿孔縫合術	1			1									2	1.0
(入院)	1			1									2	1.0
(外来)														
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	3	4		4	2	1	2	1	3	1			21	2.3
(入院)	3	4		4	2	1	2	1	3	1			21	2.3
(外来)														
腹腔鏡下結腸切除術 (小範囲切除・結腸半側切除)	1	1	4	1		2	1			1		2	13	1.6
(入院)	1	1	4	1		2	1			1		2	13	1.6
(外来)														
腹腔鏡下鼠経ヘルニア手術(両側)	3	8	5	3	3	6	4	5	3		2	3	45	4.1
(入院)	3	8	5	3	3	6	4	5	3		2	3	45	4.1
(外来)														
腹腔鏡下胆嚢摘出術	13	5	11	5	4	8	8	4	4	7	8	8	85	7.1
(入院)	13	5	11	5	4	8	8	4	4	7	8	8	85	7.1
(外来)														
腹腔鏡下虫垂切除術 (虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	1		2			1	1		1	1		2	9	1.3
(入院)	1		2			1	1		1	1		2	9	1.3
(外来)														
腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切断術)	1											1	2	1.0
(入院)	1											1	2	1.0
(外来)														
腹腔鏡下直腸切除・切断術 (低位前方切除術)	2					2		1	1	1	1		8	1.3
(入院)	2					2		1	1	1	1		8	1.3
(外来)														
肛門周囲膿瘍切開術	1												1	1.0
(入院)	1												1	1.0
(外来)														
膵頭部腫瘍切除術 (膵頭十二指腸切除術の場合)	1							1					2	1.0
(入院)	1							1					2	1.0
(外来)														
下肢静脈瘤手術(高位結紮術)		1			2		1						4	1.3
(入院)		1			2		1						4	1.3
(外来)														
関節脱臼非観血的整復術(指)		1					1						2	1.0
(入院)														
(外来)		1					1						2	1.0

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
結腸切除術 (全切除・亜全切除又は悪性腫瘍手術)		1		1		1			1				4	1.0
(入院)		1		1		1			1				4	1.0
(外来)														
腸閉塞症手術 (腸管癒着症手術)		1		1			1						3	1.0
(入院)		1		1			1						3	1.0
(外来)														
腹腔鏡下ヘルニア手術 (腹壁瘢痕ヘルニア)		2					1		1		1		5	1.3
(入院)		2					1		1		1		5	1.3
(外来)														
腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切除術)		1		1								1	3	1.0
(入院)		1		1								1	3	1.0
(外来)														
膵嚢胞外瘻造設術 (開腹によるもの)		1											1	1.0
(入院)		1											1	1.0
(外来)														
ヘルニア手術 (腹壁瘢痕ヘルニア)			1								1		2	1.0
(入院)			1								1		2	1.0
(外来)														
リンパ節膿瘍切開術			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
結腸切除術(小範囲切除)			1				1	1			1		4	1.0
(入院)			1				1	1			1		4	1.0
(外来)														
抗悪性腫瘍剤動脈内持続注 入用植込型カテーテル設置 (頭頸部その他)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
人工肛門閉鎖術 (腸管切除を伴わないもの)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
胆嚢悪性腫瘍手術 (肝切除(葉以上)を伴うもの)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
腸閉塞症手術(結腸切除術) (小範囲切除)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
動脈血栓内膜摘出術 (その他のもの)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
内視鏡的乳頭切開術 (胆道鏡下結石破碎術を伴うもの)			1		1								2	1.0
(入院)			1		1								2	1.0
(外来)														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
皮膚・皮下腫瘍摘出術 (露出部) (直径4 cm以上)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
腹腔鏡下胃腸吻合術			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
腹腔鏡下試験開腹術			1						1				2	1.0
(入院)			1						1				2	1.0
(外来)														
ヘルニア手術 (大腿ヘルニア)				1								1	2	1.0
(入院)				1								1	2	1.0
(外来)														
胃全摘術 (悪性腫瘍手術)				1									1	1.0
(入院)				1									1	1.0
(外来)														
胃縫合術 (大網充填術又は被覆術を含む)				1									1	1.0
(入院)				1									1	1.0
(外来)														
胃瘻造設術 (経皮的内視鏡下胃瘻造設術・ 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)				1							1		2	1.0
(入院)				1							1		2	1.0
(外来)														
胸腔鏡下肺切除術 (肺嚢胞手術 (楔状部分切除によるもの))				1									1	1.0
(入院)				1									1	1.0
(外来)														
四肢の血管拡張術・ 血栓除去術				2		1	1						4	1.3
(入院)				2		1	1						4	1.3
(外来)														
胆嚢摘出術				1					1				2	1.0
(入院)				1					1				2	1.0
(外来)														
肝切除術 (部分切除) (単回の切除によるもの)					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術					1				1				2	1.0
(入院)					1				1				2	1.0
(外来)														
静脈血栓摘出術 (その他のもの (観血的なもの))					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
直腸異物除去術 (経肛門 (内視鏡によるもの))					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
内視鏡的胃・ 十二指腸狭窄拡張術					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
皮膚・皮下腫瘍摘出術 (露出部)(直径2cm未満)					1								1	1.0
(入院)														
(外来)					1								1	1.0
皮膚切開術(直径10cm未満)					1			1	1				3	1.0
(入院)														
(外来)					1			1	1				3	1.0
腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術)					1	1				1			3	1.0
(入院)					1	1				1			3	1.0
(外来)														
腹腔鏡下人工肛門造設術					1				3	1			5	1.7
(入院)					1				3	1			5	1.7
(外来)														
腹腔鏡下虫垂切除術 (虫垂周囲膿瘍を伴うもの)					2	1	2				1		6	1.5
(入院)					2	1	2				1		6	1.5
(外来)														
ヘルニア手術(臍ヘルニア)						2	1		1	1			5	1.3
(入院)						2	1		1	1			5	1.3
(外来)														
結腸切除術(結腸半側切除)						1							1	1.0
(入院)						1							1	1.0
(外来)														
血管塞栓術 (頭部・胸腔・腹腔内血管等) (選択的動脈化学塞栓術)						1							1	1.0
(入院)						1							1	1.0
(外来)														
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注 入用植込型カテーテル設置 (四肢)						1							1	1.0
(入院)														
(外来)						1							1	1.0
高位直腸瘻手術						1							1	1.0
(入院)						1							1	1.0
(外来)														
骨折非観血的整復術 (肩甲骨)						1							1	1.0
(入院)														
(外来)						1							1	1.0
大伏在静脈拔去術						1							1	1.0
(入院)						1							1	1.0
(外来)														
内視鏡的胃・十二指腸ポリープ・ 粘膜切除術 (早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術)						1				1			2	1.0
(入院)						1				1			2	1.0
(外来)														
内視鏡的大腸ポリープ・ 粘膜切除術 (直径2cm未満)						1						1	2	1.0
(入院)						1						1	2	1.0
(外来)														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術						1				1			2	1.0
（入院）						1				1			2	1.0
（外来）														
肝切除術（外側区域切除）							1						1	1.0
（入院）							1						1	1.0
（外来）														
痔核手術（脱肛を含む） （根治手術）							1						1	1.0
（入院）							1						1	1.0
（外来）														
皮膚・皮下腫瘍摘出術 （露出部以外） （直径3cm以上6cm未満）							1						1	1.0
（入院）														
（外来）							1						1	1.0
痔核手術（脱肛を含む） （血栓摘出術）								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
腸閉塞症手術（小腸切除術） （その他のもの）								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
腹腔鏡下ヘルニア手術 （大腿ヘルニア）								2		1			3	1.5
（入院）								2		1			3	1.5
（外来）														
裂肛根治手術								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
臍頭部腫瘍切除術 （血行再建を伴う腫瘍切除術の場合）								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
食道狭窄拡張術 （拡張用バルーンによるもの）									1				1	1.0
（入院）									1				1	1.0
（外来）														
内視鏡的胆道結石除去術 （胆道碎石術を伴うもの）			1			1	1		1	1		1	6	1.0
（入院）			1			1	1		1	1		1	6	1.0
（外来）														
皮膚悪性腫瘍切除術 （単純切除）									1				1	1.0
（入院）														
（外来）									1				1	1.0
腹腔鏡下胃切除術 （悪性腫瘍手術）									1				1	1.0
（入院）									1				1	1.0
（外来）														
直腸腫瘍摘出術 （ポリープ摘出を含む）（経肛門）										1			1	1.0
（入院）										1			1	1.0
（外来）														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
腹腔鏡下試験切除術										1	1		2	1.0
（入院）										1	1		2	1.0
（外来）														
下肢静脈瘤手術 （硬化療法（一連として））											1		1	1.0
（入院）														
（外来）											1		1	1.0
経皮的肝膿瘍ドレナージ術											1		1	1.0
（入院）											1		1	1.0
（外来）														
腸吻合術											1		1	1.0
（入院）											1		1	1.0
（外来）														
内視鏡的結腸異物摘出術											1		1	1.0
（入院）											1		1	1.0
（外来）														
急性汎発性腹膜炎手術												1	1	1.0
（入院）												1	1	1.0
（外来）														
腸管癒着症手術												1	1	1.0
（入院）												1	1	1.0
（外来）														

業務報告（乳腺外科）

■ 入院患者統計

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	52	33	10	23	24	43	59	71	34	26	29	18	422	35.2

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	1.7	1.1	0.3	0.7	0.8	1.4	1.9	2.3	1.1	0.8	1.0	0.6		1.2

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	5.9	4.0	3.3	4.2	2.3	4.8	6.4	6.8	4.2	5.2	4.5	6.0		4.9

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。
※平成27年 2 月 1 日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外
※平成28年 1 月 1 日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	144	126	144	200	246	226	228	218	202	164	206	191	2,295	191.3
（乳腺外科入院中外来）	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4	0.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を**除いています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別1日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	36.0	42.0	28.8	50.0	49.2	56.5	57.0	54.5	50.5	41.0	41.2	47.8		30.7

※外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれない**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4	50	4.2

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

科別初診患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	23	10	28	62	80	43	47	41	31	17	31	21	434	36.2

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれていません**。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	144	127	144	201	246	226	228	218	203	164	207	191	2,299	191.6
（乳腺外科入院中外来）	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4	0.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が**含まれています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別1日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	36.0	42.3	28.8	50.3	49.2	56.5	57.0	54.5	50.8	41.0	41.4	47.8		46.0

※外来患者数に入院中他科診患者数が**含まれています**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4	50	1.5

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	23	10	28	62	80	43	47	41	31	17	31	21	434	36.2

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	11	3	22	43	52	17	25	18	17	6	10	11	235	20

手術部門

手術件数

年度 R05

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	9	11	7	9	14	12	10	17	7	9	8	5	118	9.8

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術 (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) 胸筋切除を併施しないもの))	2	1		1	1			1					6	1.2
(入院)	2	1		1	1			1					6	1.2
(外来)														
乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術 (腋窩部郭清を伴わないもの))	2	1	1						1	4	5	3	17	2.4
(入院)	2	1	1						1	4	5	3	17	2.4
(外来)														
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注 入用植込型カテーテル設置 (頭頸部その他)		1			1	1	1		1				5	1.0
(入院)									1				1	1.0
(外来)		1			1	1	1						4	1.0
皮膚切開術 (直径10cm以上20cm未満)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
リンパ節摘出術 (直径3cm以上)						1							1	1.0
(入院)						1							1	1.0
(外来)														
乳腺腫瘍摘出術 (直径5cm以上)						1							1	1.0
(入院)						1							1	1.0
(外来)														
乳腺膿瘍切開術						2	1		2				5	1.7
(入院)						2	1		2				5	1.7
(外来)														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術 (腋窩部郭清を伴わないもの))							1					1	2	1.0
(入院)							1					1	2	1.0
(外来)														
皮膚切開術 (直径10cm未満)												1	1	1.0
(入院)														
(外来)												1	1	1.0

整形外科



概要

整形外科部長 1 名、常勤医師 6 名、非常勤医師 8 名
部長：亀川 史武

1. 診療体制

整形外科は常勤医師 7 名、非常勤医師 8 名の体制で診療をおこなっています。福岡大学医学部整形外科学教室より 6 名の医師を派遣いただいています。外来の診療体制は平日の整形外科の他、「脊椎・脊髄」、「足」、「手」、「肩」の専門外来も特定の日に行っています。主に外傷による骨折や人工股関節等の手術を行い、6 階病棟を中心に整形外科症例の入院を受け入れています。状況に応じ、重点的にリハビリテーションが必要な場合には 5 階病棟の回復期リハビリテーション病棟へ転棟し、低下した機能の回復を図り、社会復帰を目指しています。

2. 診療科の特色

患者が日常の生活活動に支障がないように、そして痛みのない生活や趣味やスポーツなど充実した人生が送れるよう運動器の治療や外傷の治療を行うことをクレドとし、私たち整形外科医は診療を行っています。

まずは日常生活の指導をはじめ、薬や注射、理学療法（温熱治療や体操療法）を併用しながら保存治療を行っています。保存的治療によって改善のない場合や、外傷による骨折では手術治療を行っています。手術には骨折や脱臼をはじめとする外傷や人工関節などの関節手術、椎間板ヘルニアなどの脊椎手術、そのほか神経や靭帯の手術、腫瘍（できもの）の手術を行っています。高齢者の骨粗しょう症による骨折では「寝たきり」にならないために積極的に手術治療をおこなっています。

福岡大学医学部整形外科教室より定期的に派遣医師を交替する人事をしていただき、次世代を担う若手医師の研修施設として当院で研鑽を積んでもらっています。今後も整形外科医の後進の育成に力を入れていきます。

3. 今後の課題と目標

医師の働き方改革を受け、当院整形外科では、時間外労働の削減と宿直明けの休養確保を最優先に、診療体制の見直しを行ってまいりました。

特に、宿直明けの十分な休養確保は、医療の安全性を高める上で極めて重要であると認識しています。

働き方改革に伴い、大学から派遣いただいている宿直、宿日直の先生方の支援体制についても、今後の診療体制を検討する上で重要な課題となっております。大学との連携を密にし、引き続き安定した支援体制を構築できるよう努めてまいります。また、病院全体の救急体制強化に伴い、整形外科としても他の診療科、看護部、医療技術部と連携を深め、より一層安全で質の高い医療を提供できるよう、院内体制の整備を進めています。

4. 業務実績

■ 入院患者統計

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	2,662	3,054	2,936	2,862	2,790	2,407	2,978	3,048	3,137	2,871	2,706	2,891	34,342	2,861.8

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	88.7	98.5	97.9	92.3	90.0	80.2	96.1	98.3	101.2	92.6	93.3	93.3		93.8

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	15.9	19.7	16.4	17.0	12.8	14.0	17.6	13.5	17.9	16.6	14.7	14.2		16.8

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

■ 外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	1,836	1,855	1,930	1,912	1,989	1,926	1,935	1,855	1,784	1,710	1,687	1,708	22,127	1,843.9
（整形外科入院中外来）	5	12	15	8	18	20	8	11	15	12	5	6	135	11.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	91.8	92.8	87.7	95.6	90.4	96.3	92.1	92.8	89.2	90.0	88.8	85.4		99.3

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	55	66	86	61	60	79	68	74	76	58	43	52	778	64.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	1,841	1,867	1,945	1,920	2,007	1,946	1,943	1,866	1,799	1,722	1,692	1,714	22,262	1,855.2
（整形外科入院中外来）	5	12	15	8	18	20	8	11	15	12	5	6	135	11.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	92.1	93.4	88.4	96.0	91.2	97.3	92.5	93.3	90.0	90.6	89.1	85.7		91.6

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	57	66	86	62	62	79	69	75	76	59	43	52	786	65.5

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	98	79	81	96	109	95	92	109	85	114	109	84	1,151	96

手術部門

手術件数（科別）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	58	59	56	62	61	56	66	58	45	67	61	62	711	59.3

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
アキレス腱断裂手術	1									1			2	1.0
（入院）	1									1			2	1.0
（外来）														
一時的創外固定骨折治療術	2	1				1	1						5	1.3
（入院）	2	1				1	1						5	1.3
（外来）														
化膿性又は結核性関節炎掻爬術（股）	1												1	1.0
（入院）	1												1	1.0
（外来）														
関節滑膜切除術（肘）	1												1	1.0
（入院）	1												1	1.0
（外来）														
関節鏡下手根管開放手術	4		4	3	4	1	2	2		3	1	5	29	2.9
（入院）	4		4	2	4	1	2	2		3		5	27	3.0
（外来）				1							1		2	1.0
関節鏡下半月板切除術	1	1	1	2		3		1	2	1		2	14	1.6
（入院）	1	1	1	2		3		1	2	1		2	14	1.6
（外来）														
関節脱臼非観血の整復術（肩）	1	2	1		2	3	1		1		1	1	13	1.4
（入院）							1						1	1.0
（外来）	1	2	1		2	3			1		1	1	12	1.5
関節脱臼非観血の整復術（膝）	1												1	1.0
（入院）														
（外来）	1												1	1.0
関節内骨折観血の手術（足）	1					2							3	1.5
（入院）	1					2							3	1.5
（外来）														
骨折観血の手術（下腿）	2	1		4	6	3		2	2	1	4	4	29	2.9
（入院）	2	1		4	6	3		2	2	1	4	4	29	2.9
（外来）														
骨折観血の手術（鎖骨）	1	1	1			1	1		1	1	1		8	1.0
（入院）	1	1	1			1	1		1	1	1		8	1.0
（外来）														
骨折観血の手術（手舟状骨）	1									1		1	3	1.0
（入院）	1									1		1	3	1.0
（外来）														
骨折観血の手術（上腕）	3	1	3	2	1	6	2	2	3	2	2	1	28	2.3
（入院）	3	1	3	2	1	6	2	2	3	2	2	1	28	2.3
（外来）														
骨折観血の手術（前腕）	2	3	4	1	6	2	4	8	1	4	8	7	50	4.2
（入院）	2	3	4	1	6	2	4	8	1	4	8	7	50	4.2
（外来）														
骨折観血の手術（大腿）	9	12	4	2	5	4	7	1	9	3	6	6	68	5.7
（入院）	9	12	4	2	5	4	7	1	9	3	6	6	68	5.7
（外来）														
骨折観血の手術（膝蓋骨）	1	2		3	3	1		1	1	1	4	1	18	1.8
（入院）	1	2		3	3	1		1	1	1	4	1	18	1.8
（外来）														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
骨折経皮的鋼線刺入固定術 (前腕)	1				1								2	1.0
(入院)	1				1								2	1.0
(外来)														
骨折非観血的整復術 (手)	2	2			1	1	2			1			9	1.5
(入院)														
(外来)	2	2			1	1	2			1			9	1.5
骨折非観血的整復術 (前腕)	1		1	2	2			1		2	2	3	14	1.8
(入院)										1		1	2	1.0
(外来)	1		1	2	2			1		1	2	2	12	1.5
骨内異物 (挿入物を含む) 除去術 (下腿)	2	2	1	3	5	1	7	2	8	3	7	3	44	3.7
(入院)	2	2	1	3	5	1	7	2	8	3	7	3	44	3.7
(外来)														
人工関節再置換術 (膝)	1												1	1.0
(入院)	1												1	1.0
(外来)														
人工関節置換術 (膝)	6	6	10	2	5	7	12	8	6	11	7	10	90	7.5
(入院)	6	6	10	2	5	7	12	8	6	11	7	10	90	7.5
(外来)														
人工骨頭挿入術 (股)	5	2	6	2	5	2	5	6	4	3	3	6	49	4.1
(入院)	5	2	6	2	5	2	5	6	4	3	3	6	49	4.1
(外来)														
超音波骨折治療法 (一連につき)	3	1	2	2	1	3	1	1		3	2	1	20	1.8
(入院)	3	1	2	2	1	3	1	1		3	2	1	20	1.8
(外来)														
難治性骨折超音波治療法 (一連につき)	1						1					1	3	1.0
(入院)												1	1	1.0
(外来)	1						1						2	1.0
脛骨近位骨切り術	3		1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	15	1.4
(入院)	3		1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	15	1.4
(外来)														
腱縫合術	1												1	1.0
(入院)	1												1	1.0
(外来)														
関節鏡下半月板縫合術		1	1	2	3	1		3	2	2			15	1.9
(入院)		1	1	2	3	1		3	2	2			15	1.9
(外来)														
関節脱臼非観血的整復術 (小児肘内障)		1											1	1.0
(入院)														
(外来)		1											1	1.0
関節脱臼非観血的整復術 (肘)		2									1		3	1.5
(入院)											1		1	1.0
(外来)		2											2	2.0
関節内異物 (挿入物を含む) 除去術 (肘)		1											1	1.0
(入院)														
(外来)		1											1	1.0

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
関節内骨折観血の手術（手）		1			1								2	1.0
（入院）		1			1								2	1.0
（外来）														
関節内骨折観血の手術（膝）		1					1			1			3	1.0
（入院）		1					1			1			3	1.0
（外来）														
関節内骨折観血の手術（肘）		1			2	1		1			1		6	1.2
（入院）		1			2	1		1			1		6	1.2
（外来）														
筋膜切開術		1											1	1.0
（入院）		1											1	1.0
（外来）														
骨折観血の手術（指）		2		1	1	2	2				2		10	1.7
（入院）		2			1	2	2				2		9	1.8
（外来）				1									1	1.0
骨折観血の手術（足）		1				2	1	1	1				6	1.2
（入院）		1				2	1	1	1				6	1.2
（外来）														
骨折経皮的鋼線刺入固定術（下腿）		1					1						2	1.0
（入院）		1					1						2	1.0
（外来）														
骨折経皮的鋼線刺入固定術（指）		1				1	1				1		4	1.0
（入院）						1					1		2	1.0
（外来）		1					1						2	1.0
骨内異物（挿入物を含む）除去術（前腕）		5	6	1	2	5	2	3	3	1	8	8	44	4.0
（入院）		4	6	1	2	5	2	3	3	1	8	8	43	3.9
（外来）		1											1	1.0
骨盤内異物（挿入物）除去術		1											1	1.0
（入院）		1											1	1.0
（外来）														
神経移行術		1				2		1		1	1		6	1.2
（入院）		1				2		1		1	1		6	1.2
（外来）														
人工関節置換術（股）		3	5	2	3	3	2	1	1	2	2		24	2.4
（入院）		3	5	2	3	3	2	1	1	2	2		24	2.4
（外来）														
断端形成術（軟部形成のみのもの）（指）（手）		1											1	1.0
（入院）														
（外来）		1											1	1.0
腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）		1	4	5	3		1	2	4	7	3	1	31	3.1
（入院）			1		2				1	2		1	7	1.4
（外来）		1	3	5	1		1	2	3	5	3		24	2.7
靱帯断裂縫合術（その他の靱帯）		1											1	1.0
（入院）		1											1	1.0
（外来）														
偽関節手術（大腿）			1										1	1.0
（入院）			1										1	1.0
（外来）														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
骨折観血的手術 (手(舟状骨を除く))			1	1	1			1					4	1.0
(入院)			1	1	1								3	1.0
(外来)								1					1	1.0
骨内異物(挿入物を含む) 除去術(上腕)			1				1			2		1	5	1.3
(入院)			1				1			2		1	5	1.3
(外来)														
骨内異物(挿入物を含む) 除去術(足)			3	1	2	1	1		2	1	1	1	13	1.4
(入院)			3	1	2	1	1		2	1	1	1	13	1.4
(外来)														
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 (手)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
手根管開放手術			1	2	1	1				1	1	3	10	1.4
(入院)			1			1				1	1	3	7	1.4
(外来)				2	1								3	1.5
断端形成術 (骨形成を要するもの)(指)(足)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
皮膚切開術(直径10cm未満)			1				1						2	1.0
(入院)							1						1	1.0
(外来)			1										1	1.0
化膿性又は結核性関節炎掻 爬術(指(手・足))				1									1	1.0
(入院)														
(外来)				1									1	1.0
関節内骨折観血的手術(足)				1	1								2	1.0
(入院)				1	1								2	1.0
(外来)														
骨内異物(挿入物を含む) 除去術(大腿)				1				1	1	2			5	1.3
(入院)				1				1	1	2			5	1.3
(外来)														
観血的整復固定術 (インプラント周囲骨折に 対するもの)(大腿)					2				1	1			4	1.3
(入院)					2				1	1			4	1.3
(外来)														
関節鏡下関節滑膜切除術 (肘)					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
関節脱臼非観血的整復術 (指)(手)					1	1							2	1.0
(入院)														
(外来)					1	1							2	1.0
偽関節手術(下腿)					1				1				2	1.0
(入院)					1				1				2	1.0
(外来)														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
骨移植術（軟骨移植術を含む） （自家骨移植）					1				1				2	1.0
（入院）					1				1				2	1.0
（外来）														
骨切り術（大腿）					1								1	1.0
（入院）					1								1	1.0
（外来）														
骨折経皮的鋼線刺入固定術 （足）					1								1	1.0
（入院）					1								1	1.0
（外来）														
関節鏡下関節鼠摘出手術 （膝）						1	1				1		3	1.0
（入院）						1	1				1		3	1.0
（外来）														
関節形成術（手）						1					1		2	1.0
（入院）						1					1		2	1.0
（外来）														
骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）						1	1	1	1		1		5	1.0
（入院）						1	1	1	1				4	1.0
（外来）											1		1	1.0
骨折経皮的鋼線刺入固定術 （上腕）						1							1	1.0
（入院）						1							1	1.0
（外来）														
骨内異物（挿入物を含む） 除去術（鎖骨）						1		1	1				3	1.0
（入院）						1		1	1				3	1.0
（外来）														
骨内異物（挿入物を含む） 除去術（膝蓋骨）						1						1	2	1.0
（入院）						1						1	2	1.0
（外来）														
四肢切断術（大腿）						1			1	1			3	1.0
（入院）						1			1	1			3	1.0
（外来）														
第一足指外反症矯正手術						1						1	2	1.0
（入院）						1						1	2	1.0
（外来）														
デブリードマン（100cm ² 未満）							1						1	1.0
（入院）														
（外来）							1						1	1.0
観血的関節固定術（足）							1						1	1.0
（入院）							1						1	1.0
（外来）														
関節脱臼観血的整復術（肩鎖）							1						1	1.0
（入院）							1						1	1.0
（外来）														
関節脱臼非観血的整復術（足）							1		1				2	1.0
（入院）							1		1				2	1.0
（外来）														
骨内異物（挿入物を含む） 除去術（肩甲骨）							1						1	1.0
（入院）							1						1	1.0
（外来）														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
四肢関節離断術（指（手・足））							1						1	1.0
（入院）														
（外来）							1						1	1.0
皮膚・皮下腫瘍摘出術 （露出部）（直径2cm未満）							1						1	1.0
（入院）														
（外来）							1						1	1.0
ガングリオン摘出術（その他） （ヒグローム摘出術を含む）								2					2	2.0
（入院）								2					2	2.0
（外来）														
四肢切断術（下腿）								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
ガングリオン摘出術（指）（手）									1				1	1.0
（入院）														
（外来）									1				1	1.0
関節鏡下関節内骨折観血的手術（膝）									1				1	1.0
（入院）									1				1	1.0
（外来）														
関節脱臼非観血の整復術（股）									1				1	1.0
（入院）									1				1	1.0
（外来）														
骨内異物（挿入物を含む） 除去術（手）									2	2			4	2.0
（入院）									1	2			3	1.5
（外来）									1				1	1.0
骨内異物（挿入物を含む） 除去術（指）											1		1	1.0
（入院）											1		1	1.0
（外来）														
断端形成術（骨形成を要するもの）（指）（手）												1	1	1.0
（入院）												1	1	1.0
（外来）														

脳神経外科



概要

診療科人員：非常勤医師 2 名

1. 診療体制

脳神経外科は非常勤医師 2 名の体制で診療をおこなっています。産業医科大学脳神経外科学教室より脳神経外科の医師を派遣していただいています。

現在は常勤医師不在のため、外来診療のみの体制となっています。外来は毎週月曜午後に行っています。

2. 診療科の特色

脳神経外科領域においては、脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷・機能的疾患・脊髄疾患・先天的疾患など多岐にわたります。脳神経外科外来においては診断や非外科的治療を行っており、その他院内コンサルの対応も派遣医師に対応いただいています。手術が必要な場合には高次の医療機関へ紹介を行っています。

3. 今後の課題と目標

救急機能を強化していくにあたり、院内外において専門性の高い脳神経外科の期待が高まっています。救急搬送では頭部外傷症例の受け入れ体制の強化のためには、常勤医師が求められ、目下の課題は常勤医師の招聘であると考えています。

4. 業務実績

■ 入院患者統計

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

科別 1 日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科														

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

■ 外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	26	33	18	27	38	22	46	37	26	30	29	30	362	30.2
（脳神経外科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4	0.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	6.5	6.6	4.5	6.8	9.5	7.3	11.5	9.3	6.5	10.0	9.7	7.5		9.1

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	4	5	4	4	4	3	4	4	4	3	3	4	46	3.8

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	6	3	3	5	8	5	10	7	7	4	3	6	67	5.6

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

■ 外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	26	33	18	27	38	22	46	37	27	30	30	32	366	30.5
（脳神経外科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4	0.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	6.5	6.6	4.5	6.8	9.5	7.3	11.5	9.3	6.8	10.0	10.0	8.0		8.0

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	4	5	4	4	4	3	4	4	4	3	3	4	46	3.8

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	6	3	3	5	8	5	10	7	7	4	3	6	67	5.6

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	2	0	1	1	1	3		1	3	2	1	4	19	2

呼吸器外科



概要

診療科人員：非常勤医師 1 名

1. 診療体制

呼吸器外科は非常勤医師 1 名の体制で診療をおこなっています。

現在は常勤医師不在のため、外来診療のみの体制となっています。外来は毎週金曜の午前に行っています。

2. 診療科の特色

呼吸器外科は、過去に常勤として在籍されていた先生が現在は非常勤として勤務していただいています。呼吸器外科の守備範囲としては肺腫瘍（癌、良性腫瘍）、気胸、膿胸、胸壁・縦隔腫瘍等多岐にわたります。外来診療の他、院内コンサルの対応も行っています。手術が必要な場合には高次の医療機関へ紹介を行っています。

3. 今後の課題と目標

常勤医師が不在のため、医師確保活動を継続して参ります。次年度（令和 6 年度）には濱田医師が常勤医師として復帰していただく予定としています。

4. 業務実績

■ 入院患者統計

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	22	14	16	13	18	22	19	19	19	15	17	27	221	18.4
（呼吸器外科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	0.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	5.5	4.7	3.2	3.3	6.0	4.4	4.8	6.3	4.8	3.8	4.3	5.4		5.3

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	4	3	5	4	3	5	4	3	4	4	4	5	48	4.0

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	0	0	2	0	1	3	1	0	0	1	1	3	12	1.0

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	22	14	16	13	18	22	19	20	20	15	18	27	224	18.7
（呼吸器外科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	0.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	5.5	4.7	3.2	3.3	6.0	4.4	4.8	6.7	5.0	3.8	4.5	5.4		4.7

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	4	3	5	4	3	5	4	3	4	4	4	5	48	4.0

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず 1 日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	0	0	2	0	1	3	1	0	0	1	1	3	12	1.0

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0

泌尿器科



概要

診療科人員：非常勤医師14名

1. 診療体制

泌尿器科は非常勤医師6名の体制で診療をおこなっています。九州大学泌尿器科学教室より泌尿器科の医師を5名派遣していただいています。

現在は常勤医師不在のため、外来診療のみの体制となっています。外来は毎週月曜と火曜の午後、毎週木曜の午前、第4週を除く木曜の午後に行っています。

2. 診療科の特色

泌尿器科は、過去に常勤として在籍されていた先生が現在は非常勤として勤務いただいている他、九州大学泌尿器科学教室より泌尿器科の医師を派遣いただき外来診療を対応頂いています。その他、院内コンサルの対応もしていただいています。手術が必要な場合には高次の医療機関へ紹介を行っています。

3. 今後の課題と目標

泌尿器科常勤医師の招聘活動を継続して参ります。

4. 業務実績

■ 入院患者統計

科別患者数

年度	R05												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科														0.0

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年 2 月 1 日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年 1 月 1 日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	99	110	108	104	114	108	111	102	125	104	115	105	1,305	108.8
（泌尿器科入院中外来）	13	22	22	13	16	4	20	22	18	9	23	24	206	17.2

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	8.3	8.5	8.3	8.7	8.1	9.8	8.5	8.5	10.4	8.7	9.6	8.8		8.5

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	12	13	13	12	14	11	13	12	12	12	12	12	148	12.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	9	13	12	13	14	18	11	14	17	13	12	11	157	13.1

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	112	132	130	117	130	112	131	124	143	113	138	129	1,511	125.9
（泌尿器科入院中外来）	13	22	22	13	16	4	20	22	18	9	23	24	206	17.2

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	9.3	10.2	10.0	9.8	9.3	10.2	10.1	10.3	11.9	9.4	11.5	10.8		10.2

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	12	13	13	12	14	11	13	12	12	12	12	12	148	12.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	9	13	12	13	16	18	11	16	18	13	14	11	164	13.7

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

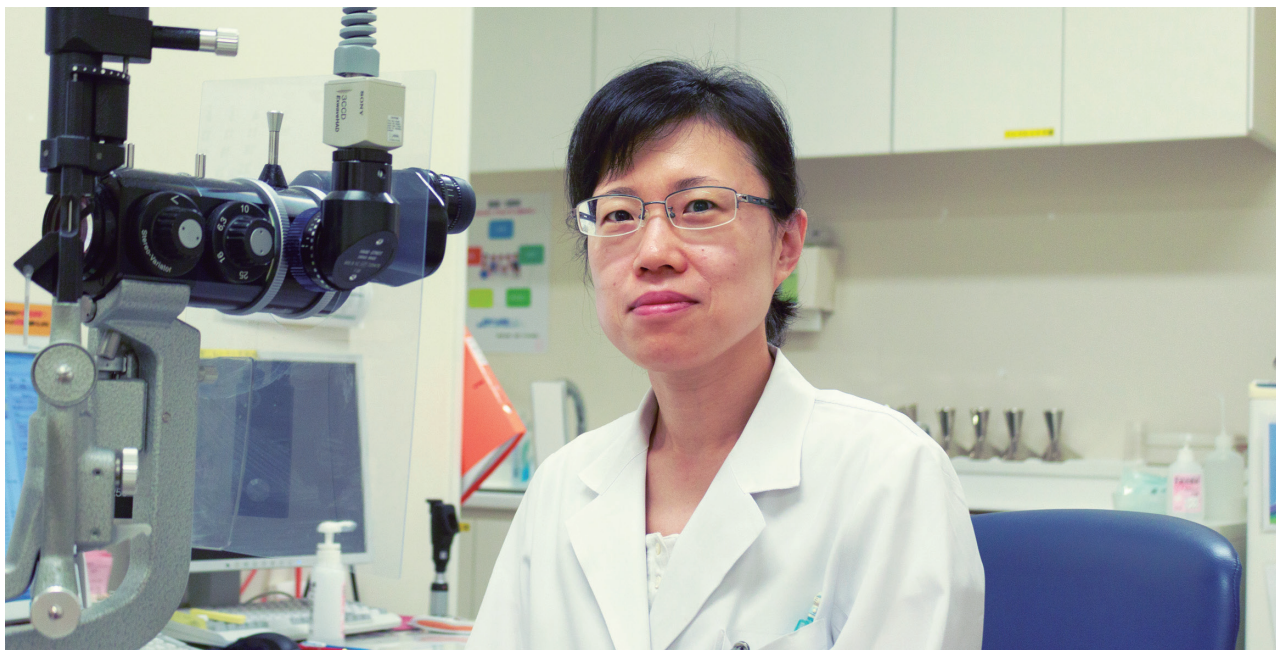
紹介患者数

紹介患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	1	5	5	5	1	4	5	3	5	5	0	4	43	4

眼科



概要

診療科人員

部長：山下 美恵

常勤医師：1名

1. 診療体制

眼科の診療体制は、医師は常勤1人、非常勤1人です。視能訓練士は常勤2人、非常勤1人です。そのほか看護師、医師事務補助、クラークで外来診療を行っています。

外来診療は、月～金曜日午前中に通常診療をしています。午後からは隔週月曜、火曜、水曜は手術を中心に、月、木、金曜は特殊検査や硝子体注射、レーザー治療などを行っています。

2. 診療科の特色

白内障、緑内障をはじめ眼瞼、結膜などの外眼部疾患、糖尿病の合併症、網膜硝子体疾患など各種眼疾患の診療を行っています。加齢黄斑変性症や糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症に硝子体注射の治療もしています。

また、小児の眼科検査も可能で乳幼児の眼疾患、斜視、弱視の検査・治療を行います。3歳児検診の視覚検査の2次検査もしています。小児の診療は、初診時より午後の特殊再来で時間を設け、熟練した視能訓練士とともに診察にあたっています。

3. 今後の課題と目標

眼疾患は、糖尿病、高血圧、リウマチなど、様々な全身疾患と密接な関係があるため、内科をはじめとした他科との連携が不可欠です。当科では、患者様の病状を総合的に判断し、最適な治療計画を立てるため、各科と連携を密に行っております。白内障や眼瞼の手術は、患者様の状態に合わせて入院または日帰りに対応しております。手術方法についても、患者様にとってより負担の少ない方法を検討し、最新の医療機器を導入することで、安全かつ質の高い手術を提供しております。今後も地域住民の皆様が安心して眼科を受診できるよう、周辺地域の眼科クリニックとの連携強化をしていきたいと考えています。

4. 業務実績

入院患者統計

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	52	68	70	55	35	57	49	52	38	53	58	45	632	52.7

科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	1.7	2.2	2.3	1.8	1.1	1.9	1.6	1.7	1.2	1.7	2.0	1.5		1.7

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	1.0		3.6				0.0	0.0	0.0		1.0			1.1

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	1,446	1,429	1,583	1,456	1,453	1,476	1,462	1,393	1,455	1,341	1,342	1,388	17,224	1,435.3
（眼科入院中外来）	9	9	7	6	2	5	5	10	10	11	11	4	89	7.4

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	72.3	71.5	72.0	72.8	66.0	73.8	69.6	69.7	72.8	70.6	70.6	69.4		72.0

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	63	72	99	67	90	87	82	87	77	65	68	53	910	75.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	1,455	1,438	1,590	1,462	1,455	1,481	1,467	1,403	1,465	1,352	1,353	1,392	17,313	1,442.8
（眼科入院中外来）	9	9	7	6	2	5	5	10	10	11	11	4	89	7.4

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	72.8	71.9	72.3	73.1	66.1	74.1	69.9	70.2	73.3	71.2	71.2	69.6		71.2

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	63	72	99	67	90	87	82	87	78	66	68	53	912	76.0

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度	R05													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	23	43	45	34	29	38	34	40	36	46	45	39	452	38

手術部門

手術件数

年度	R05													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	85	89	94	89	63	84	82	77	65	78	87	70	963	80.3

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
翼状片手術 (弁の移植を要するもの)	2	2	2		1				1		1	1	10	1.4
(入院)		2	2		1				1		1	1	8	1.3
(外来)	2												2	2.0
虹彩光凝固術	1		3		3		5	1	4			2	19	2.7
(入院)														
(外来)	1		3		3		5	1	4			2	19	2.7
網膜光凝固術 (通常のもの(一連につき))	4	2		2	1	2	5	7	3		2	3	31	3.1
(入院)	1					1							2	1.0
(外来)	3	2		2	1	1	5	7	3		2	3	29	2.9
後発白内障手術	17	12	21	12	12	23	35	13	19	20	21	21	226	18.8
(入院)														
(外来)	17	12	21	12	12	23	35	13	19	20	21	21	226	18.8
結膜結石除去術 (多数のもの(1眼瞼ごと))	1												1	1.0
(入院)														
(外来)	1												1	1.0
角膜・強膜異物除去術	1	1		1	1			1	2	2			9	1.3
(入院)														
(外来)	1	1		1	1			1	2	2			9	1.3
水晶体再建術 (眼内レンズを挿入する場合) (その他のもの)	70	60	76	67	58	68	65	65	45	56	70	76	776	64.7
(入院)	54	47	61	58	41	36	46	44	31	35	51	59	563	46.9
(外来)	16	13	15	9	17	32	19	21	14	21	19	17	213	17.8
結膜結石除去術 (少数のもの(1眼瞼ごと))		1											1	1.0
(入院)														
(外来)		1											1	1.0
水晶体再建術 (眼内レンズを挿入しない場合)		1											1	1.0
(入院)		1											1	1.0
(外来)														
マイボーム腺梗塞摘出術			1										1	1.0
(入院)														
(外来)			1										1	1.0
網膜光凝固術 (その他特殊なもの (一連につき))			1	2	1	4	4	1		3	3		19	2.4
(入院)														
(外来)			1	2	1	4	4	1		3	3		19	2.4
眼瞼結膜腫瘍手術						1							1	1.0
(入院)														
(外来)						1							1	1.0
眼瞼下垂症手術 (その他のもの)									2				2	2.0
(入院)									2				2	2.0
(外来)														
霰粒腫摘出術										1			1	1.0
(入院)														
(外来)										1			1	1.0

耳鼻咽喉科



概要

診療科人員：非常勤医師14名

1. 診療体制

耳鼻いんこう科は非常勤医師14名（ローテーションで勤務）の体制で診療をおこなっています。産業医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室より耳鼻いんこう科の医師を派遣していただいています。

現在は常勤医師不在のため、外来診療のみの体制となっています。外来は毎週火曜、木曜、金曜の午前午後に行っています。

2. 診療科の特色

耳鼻いんこう科領域においては、眼窩内・歯およびその周囲・（皮膚）を除く顔面、頸椎周囲を除く頸部の疾患の対応を行なっています。耳鼻咽喉科の領域には顔面麻痺、顔面痛、耳性めまい、顔面・頸部の腫瘍、舌の異常も含まれます。外来診療の他、院内コンサルの対応も派遣医師に対応いただいています。手術が必要な場合には高次の医療機関へ紹介を行っています。

3. 今後の課題と目標

常勤医師の招聘活動を継続して参ります。

4. 業務実績

■ 入院患者統計

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年 2 月 1 日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年 1 月 1 日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	233	232	239	231	236	256	239	252	252	208	199	230	2,807	233.9
（耳鼻咽喉科入院中外来）	5	11	11	8	10	9	11	9	8	8	7	10	107	8.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	19.4	21.1	17.1	19.3	18.2	19.7	18.4	22.9	21.0	17.3	16.6	17.7		17.1

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	12	11	14	12	13	13	13	11	12	12	12	13	148	12.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	48	55	54	46	50	63	46	44	57	28	37	34	562	46.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	238	243	250	239	246	265	250	261	260	216	206	240	2,914	242.8
（耳鼻咽喉科入院中外来）	5	11	11	8	10	9	11	9	8	8	7	10	107	8.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	19.8	22.1	17.9	19.9	18.9	20.4	19.2	23.7	21.7	18.0	17.2	18.5		19.7

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	12	11	14	12	13	13	13	11	12	12	12	13	148	12.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	48	55	54	46	50	63	48	45	57	28	38	34	566	47.2

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

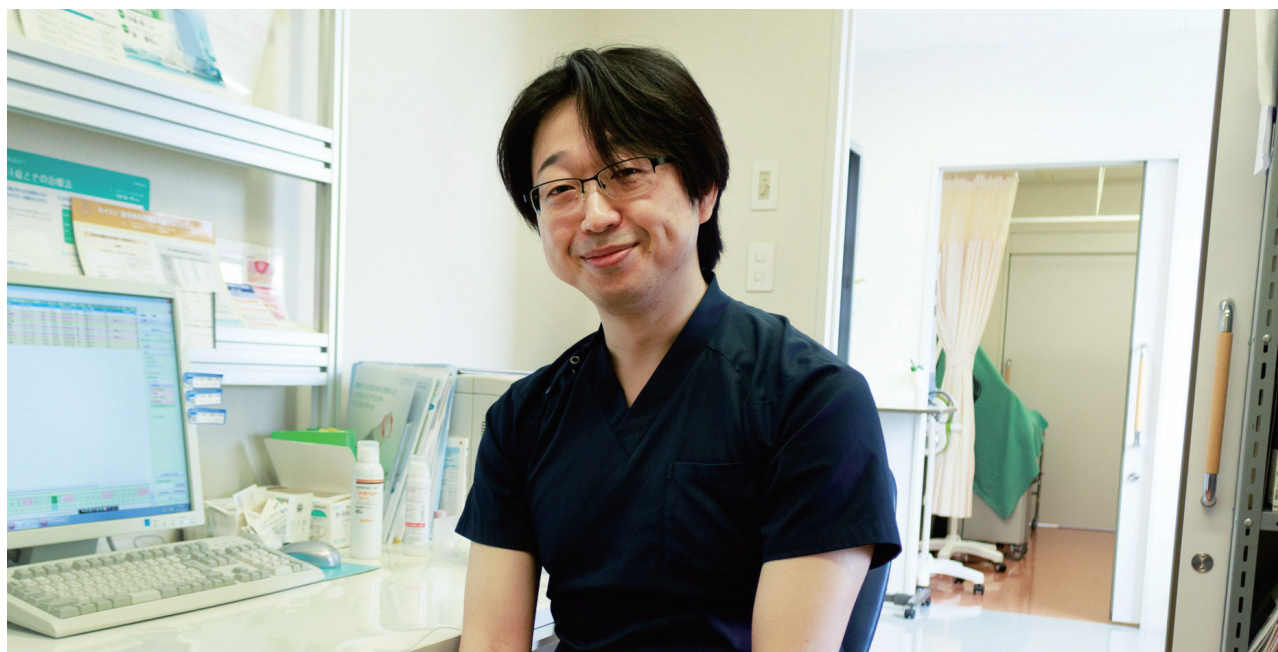
紹介患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	2	6	4	3	7	5	6	2	5	5	11	12	68	6

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
鼓膜切開術	1		1	1		1			1		1		6	1.0
(入院)														
(外来)	1		1	1		1			1		1		6	1.0
外耳道異物除去術 (単純なもの)		1										1	2	1.0
(入院)														
(外来)		1										1	2	1.0
鼻腔粘膜焼灼術				1	1			1					3	1.0
(入院)														
(外来)				1	1			1					3	1.0
鼓膜 (排液・換気) チューブ挿入術					1		1	1		1			4	1.0
(入院)														
(外来)					1		1	1		1			4	1.0

皮膚科



概要

診療科人員
部長：江崎 仁一
常勤医師：2名

1. 診療体制

皮膚科は常勤医師2名の体制で診療を行っています。午前の外来は予約制ではなく、来院される順番で診療となります。午後は完全予約制で外来手術あるいは手術室での手術（10月からは月・水・金に変更）や美容外来（火・木）を行っています。

2. 診療科の特色

正確な診断に基づく治療と患者様への分かりやすい説明を心掛けています。皮膚科の対象疾患は皮膚の病気全般を対象とします。アトピー性皮膚炎ほか、湿疹、蕁麻疹、薬疹、乾癬、良性・悪性皮膚腫瘍、水疱症、膿疱症、蜂窩織炎、帯状疱疹など様々な皮膚疾患の診療をしています。症例によりませんが、難治性慢性蕁麻疹や重症アトピー性皮膚炎に対して生物学的製剤も導入して、患者様のニーズに応じた治療法が提供できるように取り組んでいます。美容外来としてはIPLを用いたしみ（カウンセリングが必要）や小じわの治療、脱毛、ピーリングなどを行っています。

3. 今後の課題と目標

今後の課題としては常勤医師の不足があげられます。マンパワー不足により対応できない疾患や治療については、他の病院へ紹介せざるを得ないケースが増えています。周辺地域の医療機関や地域医師との連携を強化し、病診連携によって効率的な診療を行うことで患者様が必要なケアを受けやすくする体制を整えたいと思います。

4. 業務実績

入院患者統計

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	19	18	25	62	39	24	1	5	2	0	2	0	197	16.4

科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	0.6	0.6	0.8	2.0	1.3	0.8	0.0	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0		0.5

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	38.0	10.0	7.6	11.6	16.0	10.0	2.0	10.0	2.0					3.5

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	681	751	811	761	862	773	758	746	742	666	690	584	8,825	735.4
（皮膚科入院中外来）	17	33	25	36	36	35	30	25	27	30	26	15	335	27.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を**除いています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	34.1	37.6	36.9	38.1	39.2	38.7	36.1	37.3	37.1	35.1	36.3	29.2		35.0

※外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれない**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	99	130	144	140	152	127	122	95	112	62	86	63	1,332	111.0

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれていません**。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	698	784	836	797	898	808	788	771	769	696	716	599	9,160	763.3
（皮膚科入院中外来）	17	33	25	36	36	35	30	25	27	30	26	15	335	27.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	34.9	39.2	38.0	39.9	40.8	40.4	37.5	38.6	38.5	36.6	37.7	30.0		37.7

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	99	132	144	140	153	127	127	95	114	63	86	63	1,343	111.9

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	23	25	21	31	29	28	32	17	22	31	43	25	327	27

手術部門

手術件数科別

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科			1	1					1				3	0.3

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
皮膚切開術（直径10cm未満）	2	3	1	1	4	2	2	1	1	1	1	4	23	1.9
（入院）														
（外来）	2	3	1	1	4	2	2	1	1	1	1	4	23	1.9
皮下・皮下腫瘍摘出術 （露出部）（直径2cm未満）	3	3	5	6	5	6	6	4	7	4	6	6	61	5.1
（入院）							1				1		2	1.0
（外来）	3	3	5	6	5	6	5	4	7	4	5	6	59	4.9
皮下・皮下腫瘍摘出術 （露出部） （直径2cm以上4cm未満）	1	2		1		1	1	1			1		8	1.1
（入院）							1						1	1.0
（外来）	1	2		1		1		1			1		7	1.2
皮下・皮下腫瘍摘出術 （露出部以外）（直径3cm未満）	3	1	4	1	5	5	2	9	3	2	6	2	43	3.6
（入院）														
（外来）	3	1	4	1	5	5	2	9	3	2	6	2	43	3.6
皮膚悪性腫瘍切除術 （単純切除）	1	1				1	1			1	1		6	1.0
（入院）	1										1		2	1.0
（外来）		1				1	1			1			4	1.0
爪甲除去術	2	1	1	1				1					6	1.2
（入院）														
（外来）	2	1	1	1				1					6	1.2
皮下・皮下腫瘍摘出術 （露出部以外） （直径3cm以上6cm未満）		1	2	1			2					1	7	1.4
（入院）		1					1						2	1.0
（外来）			2	1			1					1	5	1.3
皮弁作成術・移動術・切断 術・遷延皮弁術 （25cm ² 未満）							1						1	1.0
（入院）														
（外来）							1						1	1.0

リハビリテーション科



概要

診療科人員
常勤：2名

1. 診療体制

当科のリハビリテーション診療は、入院、外来を医師2名、PT、OT、STなどのリハスタッフ約50名の体制で行っています。急性期に搬送されてくる患者様や、手術などの予定入院患者様の多くがリハビリテーション治療の対象になります。急性期治療を終えたのち、当院が有する回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟に移動していただき、患者様のよりよい退院後の生活を目指して、リハビリテーション治療を継続する場合も少なくありません。リハビリテーションを行っている患者様の一人一人に対して、医師、病棟スタッフ、リハスタッフ等多職種によるカンファレンスを定期的で開催し、退院後のADLや生活環境の整備、サービス利用などに関して協議し、患者様のよりよい退院に向けての手厚い準備を、入院早期から開始できるように心がけています。

2. 診療科の特色

当院は、近年特に急性期治療に力を入れており、リハビリテーションも急性期治療に対応できるよう努めています。多くの救急患者の場合、入院当日にリハ診察を行ってリハビリテーションの方針を決定、可能な限り入院当日からリハビリテーション治療を開始しています。新型コロナ感染で患者様を病棟隔離した場合でも、リハ介入にあたって2次感染の可能性が低下したと判断されるぎりぎりの早期から隔離病棟内でのリハ介入を開始しています。入院リハビリテーションが長期化しそうな整形外科術後の患者様に対して、他院に転院することなく、当院の回復期リハビリテーション病棟に移動していただき、安心して退院できるまでリハビリテーションを継続できることも当院の入院体制のメリットといえます。事情によって早めに退院する患者様に対しては、外来通院でリハビリテーションを継続することも可能です。当院に入院した脳血管障害患者様の多くは、急性期の治療後、回復期リハビリテーション病棟へ移動していただき、当院常勤の脳神経内科専門医やリハ専門医の関与のもと、365日間無休の充実したリハビリテーション治療を提供しています。当院回復期リハ病棟は、他院で急性期治療が行われた脳血管障害の患者様の受け入れも行っています。

3. 今後の課題と目標

地域の皆様への貢献として、限られた時間枠ではありますが、リハ専門医としてリハビリテーション外来で診察を行っています。例えば、患者様の歩行やADL、言語や高次脳機能に生じた諸問題に対する診察やアドバイス、身体障害者手帳意見書等の専門的書類の作成、脳卒中の患者様の補装具の検討や作製など、リハビリテーション領域での専門的な知識が必要な問題などに対処できるよう、努めていきたいと考えています。

4. 業務実績

■ 入院患者統計

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科														0.0

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年 2 月 1 日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年 1 月 1 日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

■ 外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	351	313	344	276	346	346	317	241	260	261	251	304	3,610	300.8
（リハビリ科入院中外来）	1,707	2,199	2,371	1,991	2,503	2,199	2,471	2,237	2,327	2,186	2,480	2,256	26,927	2,243.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	17.6	15.7	15.6	13.8	15.7	17.3	15.1	12.1	13.0	13.7	13.2	15.2		16.8

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	7	0.6

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

■ 外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	2,058	2,512	2,715	2,267	2,849	2,545	2,788	2,478	2,587	2,447	2,731	2,560	30,537	2,544.8
（リハビリ科入院中外来）	1,707	2,199	2,371	1,991	2,503	2,199	2,471	2,237	2,327	2,186	2,480	2,256	26,927	2,243.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	102.9	125.6	123.4	113.4	129.5	127.3	132.8	123.9	129.4	128.8	143.7	128.0		125.7

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	83	89	89	86	94	88	91	93	78	94	99	89	1,073	89.4

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

■ 紹介患者数

紹介患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	2	2	1	1		1	1		1	0	0	0	9	1

放射線科



概要

診療科人員

常勤：1名 非常勤：1名

診療体制

放射線科は常勤医1名、非常勤医1名の体制で、臨床放射線技師や臨床各科の協力を得ながら、各種画像診断に従事している。CT、MRI検査の読影を主な業務としているが、ほかに上部・下部消化管造影検査、核医学検査、血管造影検査などを行っている。CT、MRI、核医学、骨塩定量などの検査については、院外からの依頼に対応しており、画像データに読影結果を添付して返している。当日の緊急検査にも極力対応しており、速やかに読影した上で、なるべく早く結果を返すように努めている。

特色

当院の放射線室は80列MDCT、1.5テスラMRI、フルデジタルのX線撮影装置、X線テレビ、血管撮影装置、トモシンセシス機能搭載のマノグラフィ撮影装置、骨塩定量装置、ガンマカメラなどの充実した機器を備えている。これらで得られた画像データはPACSで一元管理されており、読影端末や電子カルテで参照することができる。CT、MRI、核医学検査については、全例、放射線診断専門医が読影を行い、報告書を作成している。放射線室の処理能力には比較的余裕があり、予約外の緊急検査にも対応できている。画像診断に関して必要な検査をすぐに行うことができる体制は当院の強みとなっており、放射線科医としても、その強みを一層活かせるように、確実な読影を目指している。

課題と目標

月曜日の午前以外、一週間の大部分は常勤医1名で読影業務を行っているが、機器の進歩により発生する画像データの量が年々増加しており、読影が追いつかない時間帯が増えている。病院として救急医療の充実が図られる中、今後さらに検査件数や1件あたりのデータ量が増えることが予想され、将来的には常勤医の増員が必要と思われる。当面は、非常勤医の派遣元である大学との協力を得ながら、可能な範囲で体制の充実を図っていききたい。

業務実績

■ 入院患者統計

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科														0.0

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年 2 月 1 日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年 1 月 1 日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

■ 外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	78	68	95	85	83	87	103	111	94	107	106	112	1,129	94.1
（内科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	3.9	3.4	4.3	4.3	3.8	4.4	4.9	5.6	4.7	5.6	5.6	5.6		3.2

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

科別初診患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	70	61	89	84	82	82	101	109	93	106	105	112	1,094	91.2

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	78	68	95	85	83	87	103	111	94	107	107	112	1,130	94.2
(放射線科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度	R05														
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
放射線科	3.9	3.4	4.3	4.3	3.8	4.4	4.9	5.6	4.7	5.6	5.6	5.6		4.7	

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	70	61	89	84	82	82	101	109	93	106	105	112	1,094	91.2

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度	R05													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	78	68	96	84	83	87	102	110	93	109	106	115	1131	94

救急科



概要

救急部：部長 中村 篤雄
常勤：1名 非常勤：1名

部門目標

2022年4月に救急部が新設され、同年8月より救急科を標榜科として設立しました。筑豊地域の救急を支える急性期病院としての自覚を持ち、近隣の医療機関や地域住民の皆さまに信頼される救急医療を提供することを目標としています。救急医療体制は、救急科専門医・救急科指導医1名と久留米大学医学部救急医学講座から2名の救急医の応援があり、専従看護師、病院救命士、専属医療クラークを加えた救急部として運営しています。

救急部は、救急搬送患者に対する初期診療のみならず、入院患者さんに対する治療も行っており、1次・2次救急医療を中心に、様々な救急疾患に対応しています。今後も、筑豊地域の救急医療の充実に貢献できるよう努めて参ります。

業務報告

<救急外来診療>

①救急科専門医が常駐	②専門診療科と連携 迅速な入院バックアップ体制	③若手医師・救急医 の直接指導
④救急科専門医研修 連携施設	⑤<病院敷地内ヘリポート> ドクターヘリ基幹病院と連携	⑥筑豊地域消防 救急救命士再教育施設

- ①救急部では、平日日勤帯は救急科専門医が常駐して救急搬送患者の診療を担当します。
- ②各診療科と連携して診断から入院まで迅速に対応しています。
- ③救急搬送患者や入院患者の診療の指導、サポートを行っています。
- ④当院は救急科専門医研修プログラムにおける連携施設として専攻医の教育・指導を行っています。

- ⑤敷地内ヘリポートを利用して迅速な治療を要する重篤患者のドクターヘリによる搬送を行います。
- ⑥筑豊地域の各消防本部から生涯教育として救急救命士の再教育病院実習を受け入れています。

<入院治療>

最重症患者は3次救急医療機関へお願いすることになりますが、人工呼吸器管理や各種ショック管理を積極的に行っています。

<教育・研修活動>

①院内BLS講習会	②AED操作講習会	③院内急変対応シミュレーション
④近隣病院との合同研修会（年2回）		

- ・救急部を中心として院内BLS講習会、AED操作研修会、院内急変対応シミュレーションを企画し開催しています。
- ・病院救急救命士が病院内でより重要な役割を果たすべく、近隣病院と連携して合同研修会を開催しています。

<病院救命士>

①救急救命処置	②ホットライン応需	③職員教育
④ 病院救急車		

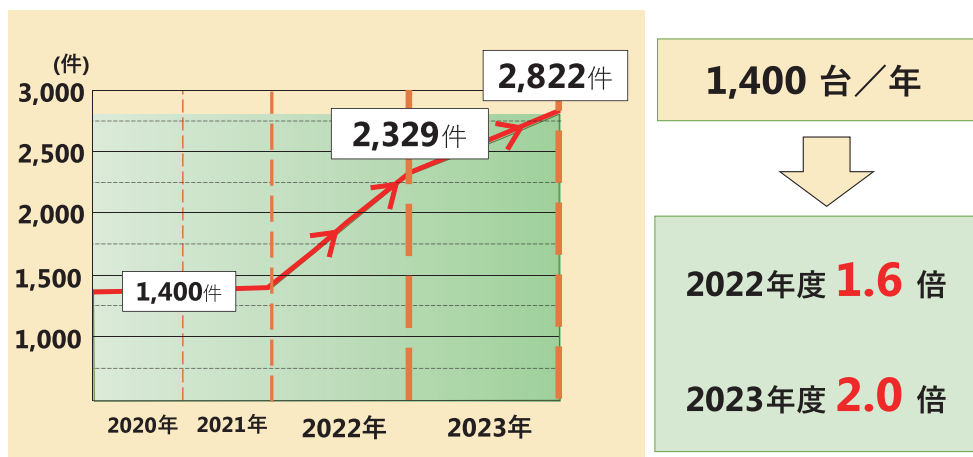
- ・当院は、病院救急救命士が救急部で重要な役割を担っています。救急救命処置のうち、包括的指示で行う処置のほか、具体的指示で行う処置（心停止前の静脈路確保と輸液、低血糖患者へのブドウ糖溶液の経静脈投与、心肺停止の傷病者に対するアドレナリン投与など）を積極的に行っています。
- ・ホットライン応需、院内BLS講習会やAED操作講習会を開催して職員教育にも努めています。
- ・病院救急車の運行管理を担っており、転院搬送のほか、医療機関や高齢者施設へ迎え搬送を行っています。現行の救急救命士法の範囲内で、オンラインメディカルコントロール下の救命救急処置を含めた活動に力を入れています。

今後の課題と目標

<救急外来診療>

2023年度の救急車受入件数（応需）は2,822件と救急発足前の2倍へ増加しました。救急車受け入れ増加の要因の一つに、救急車の不応需を詳細に分析し、病院一丸となって不応需削減に努めたことが挙げられます。2023年度は前年度の不応需1,181件から590件へ減少し、救急車応需率は83%へ上昇しました。2024年度は応需率85%を目指しています。

飯塚市立病院 救急車 搬送数（年度）



<入院治療>

設備について：当院では、高流量鼻カニュラ酸素療法や気管挿管下人工呼吸器管理に対応が可能です。敗血症や急性腎障害に対する急性期の腎代替療法（急性血液浄化療法）を行うための透析装置に加え、個人用透析装置（TR-3300S）を用いて乏尿や無尿、尿毒症といった高度の腎不全に対応可能な設備を備えています。

体制について：当院にHCU（ハイケアユニット）は設置がなく、集中治療専門医は救急外来での診療を兼ねています。今後、業務範囲を拡大していく予定ですが、現状は1次・2次救急医療に重点を置いた地域医療への貢献を最重要課題として取り組んでいます。

<その他>

1）DMAT

当院は2023年度に災害派遣医療チーム（DMAT）が組織されました。

2）筑豊地域メディカルコントロール協議会

筑豊地域メディカルコントロール協議会の委員として、病院長の大堂雅晴、救急部の中村篤雄が所属しています。筑豊地域の救急医療の発展に寄与すべく、近隣医療機関や消防など行政機関と連携を強化していきます。

3）病院敷地内ヘリポート

2023年8月より、病院敷地内ヘリポートの運用を開始しました。消防機関の協力を得ながら福岡県ドクターヘリの基地病院である久留米大学病院高度救命救急センターと診療連携を行っていきます。災害時や、近年増加傾向にある飯塚地域の医療機関でやむを得ず治療を完結できない重篤な傷病者に対して、当院救急医とドクターヘリスタッフが連携して診療にあたります。

業務実績
＜救急車搬入台数＞
2023年度2,822台

＜救急車不応需件数＞
2023年度599件

＜救急部受診件数Walk-in＞
時間外・休日 2023年度1,623件

救急患者取扱状況

年度	R05													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
救急車搬入件数	199	213	227	272	308	205	233	201	239	242	245	238	2,822	235.2
（一日平均）	6.6	6.9	7.6	8.8	9.9	6.8	7.5	6.7	7.7	7.8	8.8	7.7	-	7.7
時間外等自主来院患者数	97	157	142	158	149	158	141	129	150	113	120	109	1,623	135.3
（一日平均）	3.2	5.1	4.7	5.1	4.8	5.3	4.5	4.3	4.8	3.6	4.3	3.5	-	4.4
救急車からの入院患者数	84	88	91	110	116	95	87	98	101	123	103	113	1,209	100.8
（一日平均）	2.8	2.8	3.0	3.5	3.7	3.2	2.8	3.3	3.3	4.0	3.7	3.6	-	0.4
時間外等自主来院からの入院患者数	16	16	23	19	18	25	21	18	19	20	18	13	226	19
（一日平均）	0.5	0.5	0.8	0.6	0.6	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	0.6

※時間外等自主来院患者とは、救急車搬入を除く時間外・休日来院者。
※救急車からの入院患者とは、時間内、時間外等を問わず救急車搬入からの入院患者数。
※時間外等自主来院からの入院患者とは、時間外等に自主来院後入院した数。

入院患者統計

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	136	174	90	118	47	73	24	13	33	36	2	3	749	62.4

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	4.5	5.6	3.0	3.8	1.5	2.4	0.8	0.4	1.1	1.2	0.1	0.1		2.0

科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	13.2	9.9	8.2	9.1	6.6	29.2	8.4	5.2	24.0	12.7		2.0		12.5

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年 2 月 1 日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年 1 月 1 日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

外来部門（他科診患者除く）

科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	61	43	71	66	60	51	68	44	52	44	73	57	690	57.5
（救急科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	3.1	2.2	3.2	3.3	2.7	2.6	3.2	2.2	2.6	2.3	3.8	2.9		2.6

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

科別初診患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	55	38	65	63	58	43	61	42	46	41	69	52	633	

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

科別患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	61	43	71	66	60	51	68	44	52	44	73	57	690	57.5
（救急科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

科別 1 日平均患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	3.1	2.2	3.2	3.3	2.7	2.6	3.2	2.2	2.6	2.3	3.8	2.9		2.8

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1 日に関わらず 1 日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

科別初診患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	55	38	65	63	58	43	61	42	46	41	69	52	633	

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

紹介患者数

年度	R05													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科	10	9	9	13	8	8	7	13	12	2	7	13	111	9

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
肩関節脱臼非観血的整復術（肩）					1								1	1.0
（入院）														
（外来）					1								1	1.0
小腸結腸内視鏡的止血術								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
骨折非観血的整復術（前腕）										1			1	1.0
（入院）														
（外来）										1			1	1.0

論文・学会発表・講演等

学会発表

- 2023年 5 月13日 中村篤雄 第27回 日本救急医学会九州地方会 一般演題
飯塚地区における高齢者施設からの救急搬送の現状と課題
- 2023年 7 月28日 中村篤雄 第26回 日本臨床救急医学会総会学術集会 一般演題
当院における病院救急救命士の役割 ～病院主催で行った処置拡大二行為の追加講習を経験して～
- 2023年 9 月16日 中村篤雄 第41回 福岡救急医学会 一般演題
飯塚地区の救急医療における当院の現状と今後の課題について
- 2023年 9 月16日 仲本徹男 第41回 福岡救急医学会 一般演題
当院における病院救急救命士の役割
- 2023年11月30日 中村篤雄 第51回日本救急医学会総会学術集会 一般演題
高齢者肺炎患者における骨格筋量と筋肉内異所性脂肪化の転帰予測因子としての有用性
- 2024年 6 月15日 中村篤雄 第28回日本救急医学会九州地方会 一般演題
院外心停止における、COVID-19 pandemic 前後のPrehospital timeと救急救命処置に与える影響
- 2024年 7 月19日 仲本徹男 第27回 日本臨床救急医学会総会学術集会 一般演題
医療機関で勤務する救急救命士の現状と課題について
- 2024年 7 月27日 中村篤雄 日本集中治療医学会第 8 回九州支部学術集会 一般演題
ウレアーゼ非産生菌による閉塞性尿路感染症を契機に、高アンモニア血症から意識障害を来した 1 例

論文発表

Rina Tokuda, Kensuke Nakamura, Yudai Takatani, Chie Tanaka, Yutaka Kondo, Hiroyuki Ohbe, Hiroshi Kamijo, Kosuke Otake, Atsuo Nakamura, Hiroyasu Ishikura, Yu Kawazoe, J-Stad Japan Sepsis Treatment And Diagnosis Study Group. Sepsis-Associated Delirium: A Narrative Review. J Clin Med. 2023 Feb 6 ; 12 (4) : 1273.

中村篤雄, 仲本徹男, 村井亮太 救急救命士法改正後の病院救急救命士の現状と将来の展望 – 処置拡大二行為にかかわる追加講習主催の経験 –, 日本臨床救急医学会雑誌 in press.

麻酔科



概要

診療科人員

常勤医師：1名、非常勤医師：6名

1. 診療体制

麻酔科は、常勤医師1名（日本専門医機構認定麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定医、日本ペインクリニック学会専門医）、非常勤医師6名が在籍し、1日当たり1～3名の麻酔科医で手術麻酔業務に従事している。

術前診察は、医師が直接患者病室あるいは外来に出向いて行い、超重症症例と診断した場合には、近隣病院での麻酔、手術を依頼することも稀にある。

過去、常勤医師非在籍時には、いわゆる並列麻酔が常態化していた時があったが、現在並列麻酔は禁止とし、患者安全を最優先に業務にあたっている。

特別な場合を除き、常勤医師1名が24時間オンコール体制で緊急手術に備えている。

2. 診療科の特色

当院は旧筑豊労災病院を前身としており、整形外科および外科症例に主に対応している。

従来ならば、全身麻酔単独、あるいは同麻酔に硬膜外、または脊髄くも膜下麻酔を併用して麻酔管理を行っていたが、治療手段として一般化している超音波ガイド下神経ブロックを当院でも麻酔管理に新たに加え、適応症例には積極的に同ブロックを行っている。

特に上肢手術においては、神経ブロック併用により全身麻酔単独での麻酔管理はほぼ皆無になっており、麻酔内容が大きく変化した。また術後、可及的速やかに抗血栓療法を開始しなくてはならない症例においても、神経ブロック療法を積極的に行って術後痛を極力軽減させることを心掛けており、安易に全身麻酔単独での管理とならないよう尽力している。

麻酔時に使用される薬剤についても、（従前と比し）即効性が高くかつ短時間作用性のものが既に上市されており、それらの薬剤を用いることで周術期のオピオイド鎮痛薬および吸入麻酔薬使用量が減る傾向があり、術後の意識およびADLの早期回復に、微力とは思われるが、貢献できるよう努めている。

3. 今後の課題と目標

当科運営に当たり、手術室スタッフ、および常勤麻酔科医の複数名の確保が喫緊の課題である。下記手術件数に対応するにはスタッフおよび常勤麻酔科医が少なく、業務が過負荷となっており、患者安全を高いレベルで維持するためには増員が早急に望まれる。

常勤麻酔科医が増えた場合には、ペインクリニック科（痛みの専門外来）の新規開設も見込め、当院立地地域の医療の現状を踏まえると、入院施設を備えた同科診療の需要は、そう低くはないと想像される。

4. 業務実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	全手術症例	143	136	168	153	163	168	169	170	153	175	164	202	1964
	麻酔科管理	68	69	76	70	84	79	88	92	82	84	81	100	973
2022年度	全手術症例	184	166	183	145	156	187	186	159	156	162	190	201	2075
	麻酔科管理	92	85	93	53	80	95	88	73	78	79	88	95	999
2023年度	全手術症例	187	179	192	190	174	179	183	182	151	181	186	160	2144
	麻酔科管理	90	79	81	84	94	85	87	84	74	89	91	78	1016

5. 論文・学会発表・講演等

なし。

肝臓・消化器



概要

人員

病院長：大堂 雅晴

1. 診療体制

肝臓学会専門医、超音波専門医・指導医 1名

2. 診療科の特色

現在内科外来における肝臓・消化器外来は肝臓専門医1名で担当しています。診療の中心は肝炎治療ですが2021年に肝臓・消化器外来発足以来院内で肝疾患コーディネーター資格取得者が14名（看護師9名、診療情報管理室2名、薬剤師1名、管理栄養士1名、臨床検査技師1名）となり、肝炎の予防・受検・受療の推進に一役買っています。多職種の参加によりC型肝炎に対する直接作用型抗ウイルス薬の治療は患者さん拾い上げ活動を開始後2020年には治療数はゼロでしたが、2021年6名、2022年10名とわずかながら治療症例が増加しています。

また、肝炎治療の患者さんにおいて重要となる画像診断を超音波センターと連携し、超音波専門医、超音波検査士による肝臓、肝腫瘍チェックを行い綿密な経過観察を行っています。

その他に肝疾患治療に関しては経皮的・腹腔鏡による肝嚢胞治療、経皮的・腹腔鏡での肝癌のラジオ波治療を行っています。

3. 今後の課題と目標

内科、外科では肝機能障害のある患者さんのみならず手術前の血液検査にてB型肝炎、C型肝炎ウイルス検査を行っていますが、現在、患者さんに対する結果説明を陽性、陰性を問わず医師より患者さんへ書面で説明を行う取り組みを行っており、患者さんへ結果を周知するシステムの充実化をさらに進めていく予定です。

4. 論文・学会発表・講演等

◆講演会

演 者：大堂 雅晴

演題名：へき地病院でのマイクロエリミネーションーゼロからの取り組み

講演会：世界肝炎Day West Japan Count Down Event2022 (2022.7.20)

演 者：大堂 雅晴

演題名：C型肝炎現状と上天草市立病院でのマイクロエリミネーション

～医師主導からコーディネーター主導へ

講演会：天草地区臨床検査技師向け講演会 (2022.8.4)

演 者：大堂 雅晴

演題名：海辺の小規模病院での肝炎マイクロエリミネーション

～上天草市立病院での取り組み～

講演会：ELIMINATION LEADERS CONFERENCE in Kyusyu (2022.11.22)

演 者：大堂 雅晴

演題名：C型肝炎の最新治療と肝炎患者拾い上げの現状

講演会：社外講師勉強会



看護部門

看護部長室



概要

看護師：205名
 看護部長：友倉 三千代
 副看護部長：松尾 由美
 看護師長：10名 主任看護師：13名

○看護職員数推移 平均年齢 看護師：42.7歳 看護補助者：43.2歳 令和5年4月1日現在

	看護師	准看護師	救急救命士	介護福祉士	看護助手	クラーク
令和2年度	154	1	0	6	19	14
令和3年度	158	2	0	9	14	12
令和4年度	161	0	1	13	15	12
令和5年度	165	0	2	14	13	11

(臨時職員を含む)(人)

○施設整備

R5年7月 透析排水工事 7階(701号 702号 703号) 4階(403号)

○派遣要請一覧

派遣期間	派遣人数	派遣元施設
令和5年2月2日～令和5年4月28日	看護師1人	地域医療振興協会本部より
令和5年5月1日～令和5年10月31日	看護師1人	地域医療振興協会本部より
令和5年8月1日～令和5年10月31日	看護師1人	地域医療振興協会本部より
令和5年9月1日～令和5年11月30日	看護師1人	地域医療振興協会本部より
令和5年9月1日～令和5年11月30日	看護師1人	地域医療振興協会本部より

○当院から災害関連(芳珠記念病院)派遣

派遣期間	派遣人数	派遣元施設
令和5年9月1日～令和5年11月30日	特定ケア看護師1名	飯塚市立病院

○スペシャリスト

令和6年3月現在

資 格 ・ 研 修	修了者数
認定看護管理者教育課程「ファーストレベル」	9
認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」	4
特定ケア看護師（21区分38行為）	2
認定特定ケア看護師（在宅・慢性期領域）	1
糖尿病認定看護師	1
感染管理認定看護師	1
がん化学療法認定看護師	1
実習指導者講習会終了	1
医療リンパドレナージセラピスト	1
心不全療養指導士	2
糖尿病療養指導士	2

(人)

1. 看護部目標

ー多職種連携を図りながら地域のニーズに応える病院機能を果たすー

1. 地域医療支援病院の体制構築に参画する

- ・救急患者の受入れ体制を強化する
- ・重症救急患者に必要な看護手順を整備し実践する
- ・入退院支援が円滑に実践できる体制を整備する
- ・感染予防対策を遵守し外来から入院まで適切に対応する
- ・地域の医療従事者と連携を促進する
- ・小児救急外来の開設に向けて体制を整備する

2. 患者満足度が向上する

- ・看護管理上の問題解決に取り組み安心・安全な看護を実践する
- ・変化に対応できる看護実践力と倫理的行動を育む
- ・認定看護師、特定行為看護師と連携を図り迅速かつ安全な医療の提供につなぐ

3. ワークライフバランスを意識した働き方を目指す

- ・自律した時間管理と正しい申請により勤怠管理の適正化を図る
- ・タスクシフトしながら業務を調整する
- ・メンタルサポートを実践する

2. 実施

【一年の経過】

4月：救急救命士1名採用し2名体制になる

8月：小児休日時間外診療の準備で、看護師の研修を高次病院で研修

12月：小児休日時間外診療の準備で、看護師の研修を高次の病院で研修

1月：リンパマッサージセラピスト講習会終了1名

2月：看護研究院内院内発表会

：看護協会主催の筑豊地区研究会で座長1名選出

【目標1】地域医療支援病院の体制構築に参画する

1) 救急患者の受入増加

(1) 救急患者を受け入れる体制は、日勤は外来看護師2名、救急救命士2名が対応、夜勤は外来看護師1名と管理当直師長（主任）1名の2名で対応した。救急車受け入れ件数は2822件（R5年度）と増

加した。

- (2) 小児休日時間外診療の開設準備は、当院と飯塚市役所と飯塚市医師会で毎月協議し、必要な事項を決定していった。診療時間は平日19:30～22:30、土日祝日は16:00～22:30。診療体制は、平日は地域の小児科医師、土日は久留米大学、福岡大学の派遣医師が担当する。薬剤師は飯塚市薬剤師会より派遣薬剤師が担当する。看護師、検査科、放射線科は当院の職員で対応する。看護師は小児救急看護の学習の為、高次機能を持つ病院で8月と12月に研修を受けた。R6年3月に小児休日時間外診療のリハーサルを開催した。看護体制は、6名の看護師を中心に、準夜勤務1名と遅出体制1名で開始した。看護技術の習得のため、小児救急認定看護師による講義を受けた。
- (3) 入退院支援が円滑にいく体制
ベッドコントロールを中心に各病棟で退院支援に取り組んだ。体制を変更することはできなかったが、一部の病棟では研究的に取り組み、問題収集と解決に努めた。
- (4) 地域の医療従事者との連携を促進する
医療安全管理室は地域の医療機関2施設と連携した。感染管理室も地域の医療機関と連携した。地域連携室は5ブロックの勉強会の開催を実施した。
- (5) 看護学生の実習受け入れ
年間を通して4校の看護学生の実習を受け入れた(表1参照)

【目標2】患者満足度が向上する

- 1) 看護管理上の問題解決に取り組み安心・安全な看護を実践す
- (1) 患者満足度の調査結果は 病棟は4.4点、外来4.2点であり昨年度と同様であった。
- (2) 安全な看護実践・医療事故防止では、委員会を通してマニュアルの周知、インシデントの分析力のアップ、対策の強化を行った。
- (3) 看護師の倫理観の向上の為、接遇研修の実施、看護師長会で倫理事例の展開を実施した。
- (4) 特定行為看護師2名は、臨床研修2年目で、指導医師の指示のもと研修した。
- (5) 認知症ケア委員会は、事例検討を定期的に行った。

【目標3】ワークライフバランスを意識した働き方を目指す

- 1) 離職率の低減
新人研修と中途退職者の定着を目的に委員会を設置し研修の実施、情報の共有を行った。採用者の面接回数を増やし職場定着を進めた。結果、看護師(常勤と臨時職員)の辞職率は15.3%、新卒看護師は42.9%であり、昨年より上昇した。
- 2) 適切な職員の配置
R5年12月～R6年3月にかけて、急な退職者がでて、看護師が不足した。採用活動として、学校訪問、就職説明会、インターンシップ、病院見学会などを強化した。(表2)看護人員が不足する場合は可能な限り他部署からの応援を行った。
- 3) 勤怠管理システムが導入され、各職員の出勤退勤の打刻の指導と監督を行った。特に超過勤務時時間は適正に申請できるよう指導し打刻のずれは少なくなった。

表 1 R5年度実習受け入れ状況

教育機関	実習科目	のべ受入人数
福岡県立大学	基礎実習、成人実習	312名
近畿大学付属高等学校看護専攻科	成人実習、統合自習	672名
麻生看護大学校	成人実習	32名
飯塚市医師会看護学校	成人（在宅）実習	165名

表 2 採用活動

項目	実施回数	備考
就職説明会	3 回	マイナビ、ナース専科
学校内の説明会	2 回	
学校訪問	27校	
院内インターンシップ	2 回	
院内病院見学	5 回	

3. 評価

【目標 1】について

救急患者の受入件数は昨年より増加した。今後は救急看護の専門性を高めることが必要である。小児休日時間外診療は準備を進めてきたが、実際に運用が始まって生じる問題に対応できるような体制が必要と考える。入退院支援については、ベッド稼働率が上昇すればもっとベッドコントロールや入退院支援は強化が必要となる。新しい体制の導入を検討する必要がある。

地域連携は現在の状態を維持し、強化する必要がある。学生の実習受け入れを通して、教育的な視点をスタッフが習得できるよう働きかける必要がある。

【目標 2】について

患者満足度が向上するには、職員一人一人の接遇と、その基礎になる医療者としての倫理観を高める必要がある。院内の教育を通してこれらを刺激した。患者様の評価は昨年と同様であった。今後も継続していきたい。教育委員会はラダーを基本とした教育計画にそった研修を実施した。業務委員会は看護基準・手順の見直しを行った。臨床指導者委員会は定期的に会議を持ち、情報交換と問題抽出、対策をとった。

【目標 3】について

ワークライフバランスを意識した働き方を目指した。年休取得、超過勤務の推移など勤務時間管理は整えてきた。しかし急な病休や辞職に対しては、職場風土に問題がある場合が多い。再度自分の職場を点検し、風通しの良い職場を作っていけるように支援したい。

4 階病棟



概要

4 階病棟 主な診療科：外科、乳腺外科、内科、眼科、皮膚科
 看護師長：道下 華
 主任看護師：2 名
 看護師：21 名 介護福祉士：2 名 看護助手：1 名 計27名

患者数等状況（令和 6 年 3 月現在）

平均入院患者数	33.8人/月	平均在院日数	9.9日/人
病床利用率	67.7%	看護必要度	36.3%
病床稼働率	75%	がん化学療法指導管理料	167件/年

年間手術件数

外科	乳腺外科	眼科	皮膚科
302件/年	45件/年	204件/年	3件/年

クリニカルパス活用件数

腹腔鏡下胆嚢摘出術	51件	痔核根治術	8件
腹腔鏡下ヘルニア根治術	73件	48時間化学療法	180件
虫垂切除術	16件	静脈瘤手術	33件
乳房切除術	39件	腹腔鏡下大腸切除術	23件
白内障手術	203件	翼状片手術	1件

1. 目標

1) 質の高い急性期看護の提供

- (1) 救急患者の受け入れ体制を強化し、効率的な病床管理を行う
- (2) 多職種と協働し、円滑な入退院支援ができる
- (3) スケジュールに沿った新人教育を病棟全体で取り組む自覚を持ち、安定した看護提供する
中途採用職員の指導要綱、サポート体制を整備する

2) 安心、安全な看護の提供

- (1) 事故発生、再発防止に向けた適切な対応に取り組み、安心、安全な看護を実践する
- (2) 個々が明確な倫理観をもち、患者・家族の意思を尊重した看護を提供する
- (3) 接遇への意識を高め、患者満足度向上を図る

3) 専門職としての自覚し、看護組織力の向上を図る

- (1) 個々が自己の目標設定を行い自己啓発に努め、専門分野のスキルアップを図る
- (2) 自立した時間管理を行う

2. 実施

前年度に引き続き、自施設及び地域で求められている急性期病棟としての役割を意識し、救急患者の受け入れ体制の整備と病床管理を行った。また、急性期病棟における退院支の重要性についても考え、週1回の多職種カンファレンスを実施した。プライマリーを中心に「入院前患者情報シート」を作成・運用を開始した。可能な限り入院前のADLに近い状態での在宅復帰を目標に退院支援に取り組んだ。

今年度は新たに新人看護師1名、既卒採用者2名を迎えた。新人教育ではステップアップファイル、年間チェックリスト等を活用し、病棟全体で育成する体制を整備した。既卒者に対しては、経験や実践力を踏まえた習得プログラムを計画し、教育を行った。

医療安全業務計画では、患者誤認防止として「名乗ってもらうを習慣化することで、患者誤認を未然に防ぐ」をテーマとして掲げ取り組んだ。0レベルのインシデント報告を推進し、クレーム発生時には、カンファレンスで情報共有を行った。そこで講じた改善策は病棟マニュアルなどに明文化し、周知徹底を図ることと再発防止に努めた。

臨時入院数の増加により、業務が煩雑化・複雑化している状況下で、チームを超えた相互協力を常に心がけ、身体的・精神的負担の軽減、時間外業務の減少につなげた。また、各委員会活動や係活動が活発に取り組めるような風土を構築することで、個々の役割の認識とスキルアップ、自部署の成果へと結ぶことができた。

【部署内研修と参加者数】

開催日	研修名	参加人数
5月30日	栄養指導について	17名
6月29日	救急カートの薬剤について	15名
7月24日	閉鎖式ルートについて	21名
7月27日	退院支援について	18名
8月22日	認知症学習会：薬剤について	20名
9月28日	急変時の対応	17名
10月19日	透析管理①	16名
10月23日	透析管理②	16名
11月21日	呼吸器管理①	15名
11月28日	呼吸器管理②	16名
12月28日	呼吸理学療法	14名
2月20日	ストーマについて	9名

3. 評価

臨時入院の受け入れは、前年度482件から659件と大きく増加。病床利用率67.7%、病床稼働率75.0%であった。今後も救急患者の受け入れは増加することを推測し、自施設の急性期病棟としての役割を発揮するために、受け入れ体制の充実と安定した医療・看護が提供できるよう、特定行為看護師を初めとする多職種との協働と、スタッフ全体のスキルアップに取り組む必要がある。

新人看護師の育成については、年間チェックリストの目標値90%に対し、89%とわずかにポイントを下回る結果となった。次年度は、指導効果が上がるとされている「屋根瓦方式」で、更に病棟全体での新人育成に努める必要がある。既卒採用者に対しては、前年度院内の教育プログラムが整備され、病棟特有の処置・検査のチェックリストを作成・運用開始し、不安なく業務に従事できるよう教育体制の強化と職場の風土作りにも取り組んだ。両者ともに、習得状況がタイムリーに情報共有できる体制を確立し、細かな目標設定と計画的な看護技術の習得を目指し取り組んでいきたい。

医療安全業務計画として患者誤認防止に取り組んだ結果、年間6件の発生となった。活動前後でアンケート調査を実施し、セーフティーの使用率は91%から95%まで改善した。しかし、セーフティー使用率は100%に至らず、定着に向けての取り組みが必要と考える。また、転倒による骨折で3bレベルのインシデントが1件発生した。早急にKYTを実施し、具体的対策を講じ病棟スタッフへの周知徹底を図っており、以降の再発起きていない。

患者満足度調査では4.6と目標を達成することができたが、クレームは4件発生し、うちレベル4が1件で、全て看護師の対応に関連する事例であった。接遇向上への教育を心掛け、患者・家族が安心して療養生活を送ることができるよう、寄り添った看護を提供していく必要があると感じる。

超過勤務時間は1人当たり1.45時間/月と、目標値1.5時間/月をわずかに短縮させることができた。これは、申し送り時間短縮やタスクシフトなど、随時業務量調整を行った結果だと考える。しかし、これらはリーダーの力量によって差異はあるため、スタッフがリーダーとしての役割を理解し、行動できるような働きかけが必要と考える。勤怠管理においても、ずれ時間や入力ミスは減少しておらず、長期的・個人的な指導を継続していく。

クリニカルラダーは、レベルⅠ・Ⅱそれぞれ1名が申請し、合格した。レベルⅢは3名が申請し2名が合格となった。キャリアアップでは、実地指導者研修に1名が受講。次年度は、臨地実習の受け入れ側としての教育体制の構築に取り組み、学生がより学びを深められるよう環境を整える必要がある。次年度も引き続き個々に応じたスキルアップができるよう、部署全体で活発に取り組んでいきたい。

4. 論文・学会発表・講演等

院内看護研究発表

- 1) 発表者 吉武 寛 共同研究者 松田美登里、松田世奈、吉田朱里
「中途採用看護師の離職防止に向けた支援体制に関する文献検討」

がん化学療法看護認定看護師

1. 目標

- ・がん化学療法を受ける患者・家族に対し有害事象に関するセルフケアへの維持・向上を図る
- ・がん化学療法に於ける院内の看護職種に対し実践能力の知識・技術の向上を図り、安全・適切な投与管理を行うことができる

2. 実施

外来・病棟に於ける症例数は、前年度777件、今年度888件と大幅に増加。がん化学療法看護認定看護師として、安全・適切な投薬管理、有害事象のケアなど前年度に引き続き実践・指導・相談等を組織横断的に実施。医師による病状と治療計画の説明実施後、がん薬物療法認定薬剤師とも協働し患者や家族と面談を実

施。正確な情報を提供し、今後の治療に関する介入や医師・家族間の調整・不安軽減など個々に応じた指導介入を実施することで、がん患者指導管理料の算定を行った。それにより、入院28件・外来139件（合計167件）であり前年度を大幅に上回る結果となった。

また、新人看護師を対象としたがん化学療法看護・終末期看護の研修を実施し、新人看護師の育成に取り組んだ。さらに、化学療法に携わる外来・病棟スタッフを対象に資料を提供し学習会を実施し、実践能力の向上に努めた。

がん化学療法委員会では新規レジメンの承認を行い、マニュアルの改訂を随時実施。また、緩和ケア委員会発足に伴い終末期患者の実症例をもとに、オピオイド使用・ACP・倫理面を含め多職種と協働し審議。今後はACPに於けるプランニングシートの作成と運用を検討し、患者が自分らしく最期を迎えられるための支援介入としてのシステム構築を図る。

3. 評価

前年度に引き続き、乳腺外科の症例数は増え、若年層のがん化学療法実施に伴い頻発する脱毛や催吐性リスクの高いレジメンに対し悪心嘔吐などの有害事象への不安は強く、初回の指導を確実に行った。患者や家族が必要とする適切なタイミングでの指導を実施することは、対象者のセルフケア能力の向上と闘病意欲を維持し、個々の不安軽減に繋げることができた。次年度は外来・病棟を通じ更に症例数も増えることが予測されるため、看護師レベルで確実にセルフケア指導や精神的支援への介入ができるよう育成に努めキャリアアップを図る人材育成にも取り組む。それにより患者・家族が安心して治療を受けられるよう、選ばれる病院を目指していく。

5 階病棟



概要

5 階病棟 主な診療科：整形外科 脳神経内科
 看護師長：宮田 美乃
 主任看護師：1 名
 看護師：15 名 介護福祉士：4 名 看護助手：3 名 計22名

患者数等状況（令和 6 年 3 月現在）

平均入院患者数	45.7人	病床稼働率	94.1%
平均在院日数（運動器）	34.4日	平均在院日数（中枢）	50.4日

病棟実績（令和 6 年 3 月現在）

在宅復帰率	重症者の患者割合	FIM改善率（実績指数）	重症度改善率
85.7%	52.9%	66.6点	73.7%

1. 5 階病棟 目標

- 1）病院経営に貢献する回復期リハビリテーション病棟の積極的な参画と運営
 - （1）回復期リハビリテーション入院基本料 1 加算算定の継続
 - ・重症者の受け入れ体制強化
 - （2）チームアプローチの強化と退院支援の円滑な実践
 - ・ケアカンファレンスシート活用・運用方法の構築
 - ・チームカンファレンスの活性化
- 2）看護管理上の問題解決に取り組み、安心・安全な看護を実践する
 - （1）身だしなみ、挨拶等、接遇の徹底を行い、患者満足度の向上を図る。
 - （2）転倒転落の背景要因と改善策の具体化が行える。
 - （3）患者誤認によるインシデントをゼロにする。
 - （4）新規褥瘡発生をゼロにする。

3) 働きやすい職場環境作りとワークライフバランスの充実

- (1) 正しい申請により勤怠管理の適正化を図る。
- (2) タスクシフトをしながら、業務の効率化を図る。

2. 実施

1) 病院経営に貢献する回復期リハビリテーション病棟の積極的な参画と運営

病院全体で救急体制強化していることもあり、急性期病棟とのベッドコントロール調整や入退棟会議で情報共有を行っていき、令和5年度の平均患者数45.7人/日、平均在院日数36.0日、病棟稼働率91.7%、FIM改善率（実績指数）73.6点、重症度割合49%という結果となり、回復期リハビリテーション入院基本料1加算算定要件は継続できている。ベッドコントロールのため、体動困難患者や免荷制限中患者を早期に受けることも多かったが、ケアカンファレンス・チームカンファレンスで活発的な退院支援方針の話し合いを行い平均在院日数36.0日/人（運動器：34.5日/人 中枢：50.4日/人）であった。ケアカンファレンスシート活用により担当看護師・セラピストが退院支援に介入していくことにもつながったと考えられる。入棟1週間以内に実施する初回ケアカンファレンスで設定した退院目標時期での退院は84.4%であり、時期が延長した理由として「介護保険申請・区分変更に時間を要した」「患者本人の不安感・疼痛が強かった」などが多かった。

2) 看護管理上の問題解決に取り組み、安心・安全な看護を実践する

患者満足度調査では平均点4.48と前年度に比べやや高評価となった。最も低い評価は、「言葉使い」であり昨年度4.5に対して今年度4.3と下がっていた。また、患者・家族対応に関するクレーム3件発生した。退院支援を行っていく上で患者・家族と信頼関係を構築していくためにも言葉遣いなどは注意していく必要がある。

今年度の転倒・転落件数34件であり、そのうち3b2件（外泊中の転倒による大腿骨骨折・廊下で自己転倒し上腕骨折）であった。ベッド周囲の環境調整をセラピストとともに行うこと・ADL表を更新していくことを行動計画とし活動を行い、前期は環境調整不足により転倒1件であったが後期は0件であった。荷物受け渡しによる患者誤認インシデント1件発生し、インシデント分析にて振り返りを行った。荷物受け渡し手順を遵守できていないことがインシデントの原因であったため、啓蒙活動を行った。その他患者誤認によるインシデント発生はなく、配膳時の患者氏名確認行動は100%行っていた。

新規褥瘡発生5件と目標達成には至らなかった。体動困難患者・低栄養状態患者も多く、踵部の新規褥瘡発生が多かった。マットレスの選定・OHスケールの活用が不十分であったため、引き続き教育を行っていく必要がある。

3) 働きやすい職場環境作りとワークライフバランスの充実

適正な時間外労働時間の申請のため、業務班・記録班と協働し活動を行ったが、時間外労働一人あたり3.21時間/月であり前年度1.95時間/月と比較し大幅に増加している。申し送り時間計測期間は申し送りが20分程度で行えているが、40分以上要していることもある。電子カルテの機能（付箋・申し送り・介入項目）活用は定着してきているが、申し送り時間短縮には至っていない。1月より記録時間確保のための活動を行っているため、引き続き活動していき時間外短縮に努めていく必要がある。

有給休暇取得に対しては、スタッフ自身の体調不良や家族の介護・看護による休暇を優先したうえで有給休暇取得できるように考慮し、平均有給休暇取得一人当たり10.26日であった。今後もスタッフが働きやすい職場環境作りへ継続的に取り組んでいく。

3. 評価

入退院支援では、介護保険申請・区分変更の時期調整、患者本人の不安を軽減できるような関わりが課題となった。今後も退院目標時期にあった退院支援をめざしていく。

人材育成については、9月入職の新人看護師教育に遅れが生じている。メンタルケアを行いながら、新人看護師の業務遂行能力に応じて業務調整を行い、準夜勤務の独り立ちを目標に取り組んでいく。また、時間外労働が続いている現状であり、申し送り時間の短縮、業務内容の見直しをおこなうことが課題である。安心・安全な看護の提供のために、接遇強化・患者誤認・新規褥瘡発生をなくすることが課題であり、令和6

年度は、①入退院支援体制の強化②人材育成と人材の定着・確保③安心・安全な看護の提供ができることを目標に上げ、取り組んでいく。

その他として、令和6年6月からの診療報酬改定に伴い、回復期リハビリテーション入院基本料1要件に関するもの（FIM研修会の企画、口腔状態の評価等）を多職種と協働し準備・実践していく。

4. 論文・学会発表・講演等

1) 看護研究：第54回 日本看護学会学術集会 11月8日～9日 パシフィコ横浜
「回復期病棟におけるFIM利得率に関連した退院指標の検証－FIMと在院日数長期化の関連性－」
発表者 城月浩美 共同研究者 橋爪智華、金子昭紳

2) 部署内で行なった教育研修および参加数

【研修テーマ】

①患者と看護補助者の安全で安心な入浴介助に向けて	参加数	7人
②脊髄損傷患者の呼吸管理とポジショニングについての取り組み	参加数	16人
③経腸栄養患者の管理と栄養投与を学ぶ	参加数	16人
④病棟看護師が統一したFIM評価ができるための取り組み	参加数	16人
⑤FIMの理解を深め、時短につながる評価方法を検討していく	参加数	16人

6 階病棟



概要

6 階病棟 主な診療科：整形外科、眼科、内科
 看護師長：城塚 恵子
 主任看護師：2 名
 看護師：19 名 介護福祉士：1 名 看護助手：2 名 計25名

患者数等状況（令和 6 年 3 月）

病床稼働率	77.6%	看護必要度	41.9%
平均入院患者数	37.7人/日	平均在院日数	15.5日

年間手術件数

整形外科	眼科
674件	46件

1. 6 階病棟目標

1 地域医療支援病院の体制構築に参画する

- 1) 救急患者受け入れ体制の強化を行い、病床稼働率・利用率向上に努め、病院に積極的に参画・運営し、収益向上に貢献する。
- 2) 多職種カンファレンスを実施し、多職種で情報共有し、入院早期から、患者・家族の意向に沿った退院支援を行う。
- 3) チームアプローチ機能を高め、退院支援と地域連携の強化、アウトカム及び成果の見える化を行う。

2 看護におけるEBP実装を行い、看護の質を高め患者満足度が向上する。

- 1) BLS、内科疾患及び重症者看護、変化に対応できる看護実践の統合への知識・能力を習得し、患者のQOLマネジメントを行う。
- 2) 患者誤認・与薬・転倒転落の背景要因と改善策の具体化が行え、倫理的行動を育み、安心・安全な看護を実践する。

- 3) 新人看護師・既卒採用職員・派遣職員への支援及び定着する職場環境の構築
日々の振り返り、カンファレンスを実施し、メンタルサポートを行う。
- 4) プリセプター、実地指導者、学生実習指導者の育成。
- 5) 接遇研修に参加し、身だしなみ、挨拶等、接遇の徹底を行い、患者満足度の向上を図る。

3 ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方を目指す。

- 1) 毎日の勤怠管理システム入力を徹底し、勤怠管理の適正化を図る。
- 2) 業務マニュアルの整備を行い、タスクシフトしながら業務を調整する。

2. 実施

令和5年度は、救急患者受け入れの強化を行い病床稼働率78%。手術件数、予約入院、緊急入院の件数が昨年度より増加した。難渋事例患者を選定し多職種カンファレンスを行い入院早期から、患者・家族の意向に沿った退院支援の意識付けを行った。

インシデントについては、患者誤認は4件で、OP搬入、お迎えの誤認であった。新規入職者は、新人看護師2名、既卒看護師2名の配属があり離職はゼロである。クレームは4件あり、内容はOP当日の家族の付き添い人数について、ICに関連したこと、看護師の接遇に関するものであり、カンファレンスにて検討を行った。

看護補助者との協働、業務マニュアルの整備、申し送り内容の見直しを行った。時間外勤務5時間/月以内が目標であり3.47時間/月と目標は達成できている。

【部署内学習会】

二次性骨折	BLS
腓骨神経麻痺	

3. 評価

令和5年度は、稼働率・入院数共に増加し、目標達成した。今後は、病床稼働率80%に向けてベッドコントロールの強化と退院支援の推進を行う必要がある。急性期病棟としての役割を果たすと共に、看護ケアの充足が出来る事が望まれる。

患者誤認のインシデントは、重大な事故に繋がる可能性があり、フルネームでの患者氏名の確認を徹底し、ルールの遵守を行う必要がある。患者・家族のクレームに対しては真摯に受け止め、スタッフ側の対応の検討を行い、再発防止に努める。

新規入職者に対しては、チーム全体で指導を行い、師長・主任を中心にメンタルサポートを継続し、職場定着に向けた関わりを行う。

4. 論文・学会発表・講演等

令和5年度は学会発表実績なし

7 階病棟



概要

7 階病棟 主な診療科：内科、眼科、COVID-19
 看護師長：船田久美子
 主任看護師：2 名
 看護師：24 名 介護福祉士：2 名 看護助手：1 名

患者数等状況（令和 6 年 3 月現在）

平均入院患者数	33.3人	平均在院日数	15.5日
COVID-19入院患者	154人		

1. 7階病棟 目標

1、多職種と協働した病棟運営

- 1) プライマリー看護師の関わりを充実させ、積極的な入退院支援への介入ができる。
- 2) 救急患者受け入れ可能な病床管理を行い、対応力を向上させる。
- 3) コロナ病床と一般病床を両立させ、変化に柔軟に対応する。

2、安全で質の高い看護の提供

- 1) ヒヤリハット報告を共有し事故を未然に防ぎ、事故発生時にはリスクアセスメントを活かした対応ができ再発防止に努める。
- 2) 接遇意識を高め、患者の立場に立って、患者・家族への対応ができる。

3、働きやすい職場環境の醸成と人材育成

- 1) 個々が自己啓発に努め、実践力・管理力の向上を目指す。
- 2) チームでの協力体制を確立すると共に、自立したスケジュール管理ができる。
- 3) 新入職者は個々の能力の把握を十分に行い無理なくプログラムに沿った教育を受けることが出来る。

2. 実施

病棟目標に沿い、入退院支援班と安全班・教育班、接遇班を充足し活動を行った。

入退院支援では、情報連携シートを使用し入院10日以内に退院支援カンファレンスを実施。初期の段階からMSWとカンファレンスを行い、退院後の方向性を確認し多職種と関わり介入を行い96%達成した。

安全班では、セーフティの使用強化と6Rの周知を行った。また、インシデント報告は毎月1件と3b以上は全てKYTを実施した。さらに、ゼロレベル報告の強化を行い全員2件以上のゼロレベル報告をした。転倒転落に対し身体拘束の緩和カンファレンスを行い変更していった。

教育班では、月に2名ずつの伝達発表を実施。更に、急変時の対応についての勉強会を実施し参加できないスタッフには資料配布し共有した。

接遇班では、患者満足度調査を行い評価は4.3点であった。クレームは3件発生あり、患者・家族への対応への教育を行った。

3. 評価

入退院支援については、MSWとのカンファレンス実施は96%と高値も、プライマリーナースによる退院支援カンファレンスは充実できていないため、スタッフ間での情報共有をしていく必要がある。

安全班では、3b発生2件に対しKYT実施、ゼロレベル報告は14件あった。情報共有を行い同様のインシデントが発生しないようカンファレンスの充実を行った。今後は、転倒転落の減少を図るとともに身体拘束緩和に向けた取り組みを強化していく必要がある。

教育面では、ステップアップファイルに沿った新人教育と、既卒者教育計画に沿った指導、また重症患者管理についての学習が必要となる。

接遇面では、患者・家族のみならず、スタッフ間での電話対応や言葉遣いにも注意を払い働きやすい職場づくりを行っていきたい。

4. 論文・学会発表・講演等

2023.12.18 テーマ「急性期病棟における病棟看護師の退院支援に関する文献検討」

文献研究発表（院内） 発表者：三砂雅子 共同研究者：赤崎照美

8 階病棟



概要

8 階病棟 主な診療科：内科 外科 整形外科 脳神経内科 呼吸器外科
 看護師長：井山 美穂
 主任看護師：1 名
 看護師：16 名 介護福祉士：6 名 看護助手：2 名 計26名

患者数等状況（令和 6 年 3 月現在）

平均入院患者数	40.1人	平均在院日数	16.1日
病床稼働率	80.1%	看護必要度	18.6%

病棟実績（令和 6 年 3 月現在）

在宅復帰率	自宅等の入院患者割合	自宅等の緊急入院患者数	転棟患者割合
83.3%	49.8%	月14.3人	45.8%

1. 8 階病棟目標 「多職種協働、確かな退院支援」

1) 地域包括ケア病棟 2 の維持

(1) 多職種と協働し、地域包括ケア病棟 2 としての役割を周知する

2) アセスメント力を発揮し、予防ケアを充実することで、スムーズで良質な退院支援ができる

(1) 観察力やフィジカルアセスメント力の向上、予防ケアの介入で、脱水・脳梗塞・尿路感染などの再燃・増悪をすることなく予定通りの退院ができる

(2) 退院支援のシステム化・均質化（均一化）を行い、スタッフ全員で意思決定支援を行い患者・家族に寄り添った個別性のある退院支援を行う

3) 安全で安心できる入院環境を整える

(1) ベッド周囲の環境整備、食堂ホールでの患者見守りの徹底を行い、転倒転落 3 a 以上のインシデントが減少する

(2) 適切な行動制限の必要性を検討し、認知症ケアを行いながら昼間の離床を促すことで直接拘束の軽減に取り組む

- (3) 入棟時からWOCNと協働、皮膚評価し、適切なマット選択、褥瘡リスク部位の保護やスライドシート使用を徹底することで褥瘡・スキンテア・IADを予防し、Ⅱ度以上の新規発生が減少する
- 4) 働きやすい活気のある職場づくり
 - (1) 新人看護師をあたため目で見守り、スタッフ全員で指導に関わる
 - (2) 定時帰宅をすることでワークライフバランスのとれた生活をおくる

2. 実施

1) 自部署での取り組みとして、「地域包括ケア入院料2の維持」を挙げた。救急患者の受け入れ増加に伴い、転院目的の患者も増加し、9月単月のみ在宅復帰率が基準値をクリアできなかったが、以降は全てクリアすることができた。中でも緊急入院の受け入れ患者数は月平均14.3人と加算要件にある数値を大きく上回ることができた。

2) 今年度、尿路感染症の発症による退院延期は2件であった。チームカンファレンスで水分出納や運動量を確認し、発症のリスクをアセスメントしていたが、統一した看護介入が不十分であった。退院支援のシステム化については、退院支援チェック表の運用、他職種カンファレンスの定着化は図れている。しかし、退院支援チェック表の記載不備や看護計画評価の実施には個人差が表れており、チーム内で強化した。

3) レベル3以上の転倒転落の発生件数は、昨年度6件に対し今年度は1件減少した。ベッド周囲の環境整備やセンサーベッドの設定確認の徹底、ADLや排泄パターンを把握し排泄誘導を行うなど発生防止に努めた。また、行動制限緩和については、25.2%の緩和を行った。

ステージⅡ以上の褥瘡新規発生件数は、目標値7件に対し12件の発生であった。ダーマカバーの使用や保湿剤での保護、ベッド柵カバーの使用など行っていたが、スライディングシートの使用が不十分であった。

インシデントについては、医療安全業務改善計画で「配膳時に名乗ってもらう」を実践し、患者誤認防止に取り組んだ。前期に手順が遵守されなかったことで1件の誤配膳が発生したが、それ以降発生はなく、患者自ら名乗るという習慣を身につけてもらうこともできた。

4) 今年度は1名の新規採用者が入職した。プリセプターを主に指導、育成に取り組んだが、スケジュールに沿って進めることができなかった。時間外勤務の平均時間は2.65時間であった。半期毎の比較では前期3.8時間、後期1.5時間と短縮している。

3. 評価

1) MSW、リハビリスタッフ、管理栄養士との定期的なカンファレンスの開催と、入退棟会議での情報交換や共有を行い、円滑なベッドコントロールが図れたことが地域包括ケア病棟2を維持できた要因であると考え。また、臨時入院の担当看護師を割り振るなどの工夫を行ったことの成果でもあると感じる。多職種カンファレンスの実施率は100%と定着しており、活発な意見交換の場となっているため、今後も充実した場となるよう継続していきたい。

2) 主治医への的確な報告や、具体的な水分摂取量の設定、看護計画評価を確実に行うなど改善する必要がある。システムを効果的に発揮するために個々の意識向上に向けた働きかけが必要と感じる。

3) 今後サブアキュート、ポストアキュート患者の増加が予想されるため、適切な手技の実践を徹底したい。一人ひとりの行動を統一することで「日常的な行為」に変えることができると実感した。しかし、誤配薬や注射未実施などは起きており、これらの要因として決められた手順通りに行えていないことが共通している。再発防止としてインシデント報告で挙げた改善策を継続したい。

4) 新人看護師教育が難渋した背景として、臨床指導者委員会で作成されたステップアップファイルの活用が十分でなかったことが一因であると考え。新人看護師は、看護技術の習得、職場環境への適応など様々な課題を抱え、指導者は指導が難航することでもどかしさを感じる。双方の現状や思いを理解し、関わりができるような環境調整が必要であると感じた。短縮した要因としては業務実践力の個人差が時間外

申請に表れている印象もあったが、後期は大きく減少していることから、チーム内での相互協力に併せ、個人のタイムマネジメントの向上もあったと考える。

今年度の課題を達成できるよう、次年度も活発な活動を部署全体で行っていききたい。

4. 論文・学会発表・講演等

なし

外来



概要

主な診療科：内科・脳神経内科・小児科・外科・呼吸器外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・
泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・救急科
看護師長：柳瀬 守利 谷口 智子
主任看護師：2名
看護師：常勤18名 非常勤15名 クラーク8名 救急救命士2名 計47名

令和5年度 1日平均各診療科受診患者数

内科	外科	整形外科	眼科	皮膚科	耳鼻科	小児科	乳腺外科
73.75名	24.75名	84.33名	70.93名	36.31名	18.55名	5.25名	46.21名

1日平均外来患者数	359.8名
-----------	--------

令和5年度 救急搬送状況

救急車搬送件数	2,822件	応需率	82%
搬送からの入院率	31.5%		

令和5年度

上部内視鏡	866件	訪問看護	302件
下部内視鏡	611件	リンパ浮腫マッサージ外来	247件
ERCP・PEG・BF・他	101件	ストマ外来	399件
化学療法	672件	外科手術	845件

1. 外来目標 【キャッチコピー】バトンタッチで業務を繋ごう！

目標1 地域医療支援病院の体制構築に参画する

- ・救急患者受け入れ強化に対する業務改善・手順書の改訂
- ・重症救急患者対応に向けたスキルアップ
- ・ヘリ搬送・救急車導入に向けた手順の整備
- ・感染予防対策遵守及び他部門と協働しながらの適切な患者対応
- ・小児科休日・夜間診療開設に向けた体制整備
- ・外来看護師としての役割を自覚し、病院方針に柔軟に対応する

目標2 患者満足度が向上する

- ・患者・家族の意思を尊重した看護を提供することで、患者満足度評価を向上させる
- ・正確な情報収集と判断力を発揮することで、事故発生や再発に対する適切な対応ができる
- ・認定看護師・特定行為看護師と連携を図る

目標3 ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方を目指す

- ・自律した時間管理と正しい申請ができる
- ・業務の改善、業務の見える化により、応援体制・スポット応援を強化する
- ・タスクシフトをしながら業務を調整する
- ・メンタルサポートを実践する
- ・個々が目標設定を行い、スキルアップを図る

2. 実施

目標1. 地域医療支援病院の体制構築に参画する。

救急患者受け入れ強化においては、多職種と連携のもと研修会を開催した。また、5月救急救命士の技術チェックリストの作成・教育体制、8月よりヘリポートの運用、10月より病院救急車によるお迎え搬送、手順書の作成を行い、看護師の応援業務体制の整備し、救急患者の受け入れ体制を整備した。令和5年度の救急搬送件数は、2,822件/年、応需率82%、ヘリポートの運用は4件/年、お迎え搬送は50件/年であった。

小児科休日・夜間診療においては、他院小児センターでの実習を2回行い、11月に従事する看護師の選定、3月に看護・業務手順、技術チェックリストの作成、レイアウトの変更を行った。

発熱外来を引き続き担い、感染対策に努めながら業務に向き合うことで、大きな問題なく従事できた。

1日外来患者数359.8人/日、内視鏡件数上部866件/年、下部611件/年、訪問看護件数25.17件/月、化学療法件数56件/月、リンパ浮腫外来20.58件/月、ストマ外来件数33.25人/月であった。

全診療科の外来看護マニュアルの改訂を行った。

目標2. 患者満足度が向上する。

クレーム発生時は、ミーティングにてその都度情報を共有し、改善策を提示した。接遇班を中心に、職場環境の向上を目的に外来看護師に対してアンケート調査を行い、「言われて嫌だった言葉態度、言われてうれしい言葉」集を作成した。

インシデント発生時は、情報を共有し、改善策はマニュアル化に努めた。また、安全班を中心に患者誤認防止の対策を行った。看護師の意識調査アンケートを実施し、改善策としてミーティングでの啓発活動、診察室ドアに名乗ってもらうポスター提示、外来に関わる他職種への声掛け、提示等を実施した。

7月に待ち時間調査を実施した。診療・検査待ち時間は平均25分であった。11月患者満足度調査を実施した。看護職員の対応は平均4.21であり、対応が優しい、声掛けしやすいなどのコメントがあった。

目標3 ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方を目指す。

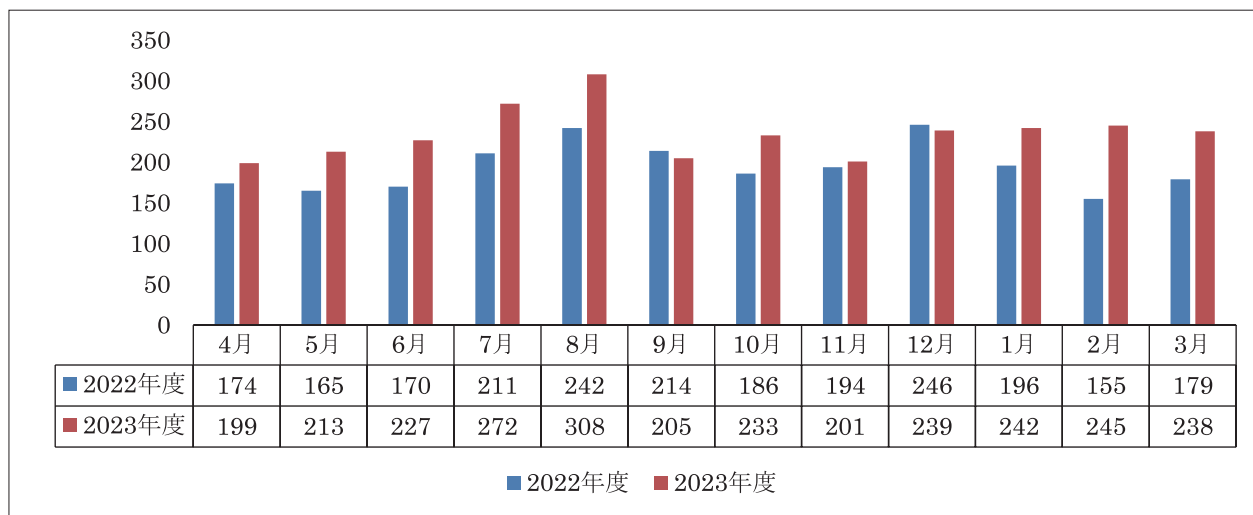
ラダー申請、個人目標達成へ向け連携、協力体制をとり、2名がラダー申請を行った。

残業時間は全体で24.08時間/月であり、各診療科間で業務調査を行った。勤怠管理においては、主任看護師が勤怠における取り決め事項の伝達を行い、周知・徹底を図った。外来看護師の応援業務体制は、問題発生なく、外来業務に従事することができた。

令和5年度 部署内教育研修および参加者数

血ガス分析器	10名	ネーザルハイフロー	10名
AED	33名	聴力検査	5名
化学療法（2回）	6名	アナフィラキシーショック時の対応	12名
除細動器	12名	輸液ポンプ（ニプロ）	6名
ストマ管理	8名	病院救命士合同研修会	2名

令和5年度 救急車受け入れ件数



3. 評価

令和5年度の救急搬送件数は、応需数2,822件/年と目標を達成することができた。またヘリポートの運用、病院救急車によるお迎え搬送が導入となったが、各手順書の作成、看護師の応援業務体制など柔軟に対応することができた。さらに多職種と連携のもと研修会を開催し、看護師・救急救命士の重症患者対応、専門的知識・技術の向上を図ることができた。更なる救急患者受け入れ体制確立のため、シミュレーション研修の導入や多職種間の連携を図っていく。

小児科休日・夜間診療においては、教育体制、手順書・技術チェックリストの作成、レイアウトの変更等を行い、令和6年4月開設へ向けて取り組むことができた。地域のニーズに応える病院機能を果たすため、安心安全な小児医療提供に尽力していく。

地域医療支援病院としての機能別区分もあり、1日外来患者数は目標値を下回った。しかし、内視鏡検査、化学療法、ストマ外来、リンパ浮腫外来においては、前年度の数値を上回り、外来看護体制の強化を図り、対応することができた。今後も病院方針に柔軟に対応し、経営に参画していく。

引き続き接遇向上、在宅療養に必要な知識・技術の取得に取り組み、多職種と連携し、患者に寄り添った安心安全な外来診療が提供できるように取り組んでいく。

4. 論文・学会発表・講演等

1. 発表者氏名 仲本徹男

「当院における病院救命士の役割」

第41回 福岡県救急医学会 令和5年9月

2. 発表者氏名 興梠紀久美

「救急部の構築と従事する看護師の不安」

第41回 福岡県救急医学会 令和5年9月

手術室・中央材料室



概要

手術室・中央材料室

看護師長：佐藤 美佳

主任看護師：2名

看護師：13名 看護助手：4名 計21名

1. 手術室・中央材料室目標

【手術室】

- 1 効率的かつ能率的な手術室運営
 - 1) 小児救急を含む、救急患者の受け入れに対応できるスタッフの育成
 - 2) 部署間での連携と協力
 - 3) 感染予防の徹底
- 2 チームワークを強化した、手術室看護の質の向上
 - 1) 部署内会議の定着化によって情報共有
 - 2) 個人目標を達成させるための相互協力
- 3 ワークライフバランスの調和
 - 1) 勤怠管理について正しい認識
 - 2) 時間外手術時のタイムマネジメント
 - ①休憩時間の確保
 - ②合理的な業務の実践
 - 3) 面談・コミュニケーションを活用したメンタルヘルス対策

【中央材料室】

- 1) 手術室・他部署との連携を図りながら必要な滅菌物の供給
- 2) サプライ業務の改善と業務整理

2. 業務報告

【手術室】

1 効率的かつ能率的な手術室運営

1) 小児救急を含む、救急患者の受け入れに対応できるスタッフの育成

小児麻酔器具の点検・整備から行い、誰でもが救急患者を受け入れられるように、勉強会やシミュレーションを行った。

2) 部署間での連携と協力

臨床工学士に、鏡視下手術に使用した器機の点検や整備の移譲を確実なものにし、また、鏡視下手術後の写真や動画を子カルテのへの取り込み作業を依頼した。

3) 感染予防の徹底

新型コロナ患者の受け入れ体制の拡充を図り、勉強会やシミュレーションを行った。実際には新型コロナ患者の手術はなかった。他、清掃の見直しや環境整備の徹底を行った。スタッフの手指衛生のためアルコール使用を呼びかけた。

2 チームワークを強化した、手術室看護の質の向上

1) 部署内会議の定着化によって情報共有

セクション会議・プリセプター会議・リーダー会議を行い、各それぞれの状況の共有を図った。特に新人に対しては、進捗状況の確認を行いながら、指導内容の統一を図った。

2) 個人目標を達成させるための相互協力

随時、面談を行い進捗状況の確認を行った。必要時他のスタッフの協力を得た。

3 ワークライフバランスの調和

1) 勤怠管理について正しい認識

各自で勤怠管理が行えるように、声掛けとチェックを行った。

2) 時間外手術時のタイムマネジメント

休憩時間の確保のために、休憩時間管理表を作成し、誰がどのくらい休憩が確保できたのか確認できる仕組みを作成した。決められた休憩時間が確保できなかったスタッフの確認ができ、手術の合間に休憩が確保できるようになった。時間外業務に対し後片付けの内容の見直しを行い、業務削減を行った。

3) 面談・コミュニケーションを活用したメンタルヘルス対策

プリセプターやチーム全体でコミュニケーションを図り、必要時、師長や主任が随時面談を行った。

【中央材料室】

1 手術室・他部署との連携を図りながら必要な滅菌物の供給

各部署の定数確認を行い、必要物品の見直しを行った。また、要望時は随時検討を行い、対応した。

2 サプライ業務の改善と業務整理

次年度、サプライ業務の業者委託の為、業務内容の検討を行い、整理し業者委託の準備を行った。

3. 今後の課題と目標

部署の風土としては、明るく、活発に意見を言い合える明るい環境ではあるが、学習への取り組みや感染対策・安全意識・タイムマネジメントに対して個人差があり、目標達成には至らなかった点もある。今後は、カンファレンスを運用し、各個人がタイムマネジメントを図り、情報提供や看護の振り返りを行うことにより、看護の質の向上を図り、安全な手術室看護の提供を行う。また、手術室ラダーを活用し教育計画に沿った、人材育成と人材の定着を図る。

4. 論文・学会発表・講演等

1) 手術室学会 発表

テーマ「手術室看護師の術後訪問が定着しない要因」

発表者：鶴我 智一

共同研究者：小川 和美

感染管理室



概要

感染管理室：室長 沖 眞一郎（小児科医 ICD）

室員 伏貫 智恵（感染管理専従 感染管理認定看護師（CNIC）：2021年取得）

感染対策委員会メンバー：管理者、病院長、副院長、診療統括部長、内科医師、医療技術部長、看護部長、副看護部長、医療安全管理者、感染管理認定看護師、看護師長、主任看護師、薬剤室長、主任薬剤師、放射線副室長、臨床検査室長、栄養管理室長、リハビリテーション室長、主任臨床工学技士、事務部長、総務課長、会計課長、医事課長

1. 2023年度目標

院内の感染管理を推進し、患者及びご家族、医療従事者を医療関連感染から守ることを目的に以下の目標に取り組んだ。

- 目標1：院内感染管理活動を継続する
- 目標2：エビデンスに基づいた感染対策を具体化し実践する
- 目標3：感染対策の理解と意識をさらに向上させる

2. 実践1

目標1：5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され、様々な取り組みが移行する猶予期間であった。個人防護具の装着等も緩和し、陽性患者の入院受け入れも途切れることなく個室管理で実施、院内発生は、該当病棟で管理した。入院患者や職員からの伝播による新型コロナウイルス感染症の発生は2回であった。（表4参照）初発患者や職員の追及が早期に行えたこと、該当病棟の感染対策リンクスタッフを中心とした職員の対応が的確であったこと等から他患者や職員へ感染拡大せず、診療や入院の制限もせずに経過した。10月には保健所による監査を受審した。感染対策向上加算1の施設基準を維持するために、小竹町立病院と1-3施設連携、飯塚病院他4病院と1-1施設連携、外来5医療機関と施設連携を行った。施設カンファレンスは、済生会飯塚嘉穂病院、飯塚医師会と4回/年共催で開催した。

目標2：手指消毒剤平均使用量は、昨年よりも微増していたが、看護部の手指衛生指標は、5回の目標値

を達成できなかった。また、直接観察法による手指衛生遵守率は算出するまでに至らなかった。手術部位感染（SSI）サーベイランスについては、対象手術326件中SSI発生13件（発生率4.0%）胆のう切除、大腸手術、直腸手術の発生が多かった。昨年同様、標準化感染比（SIR）はJANIS基準値よりも上回っており、手術部位感染の発生は多いと考える。

目標3：院内感染対策マニュアルは、様々な項目を追加・改訂した。感染対策リンクスタッフだけでなく、全職員が感染対策に関する知識と理解をさらに深めることができるような院内感染研修会を計画、開催していく必要がある。また、院内で働く委託業者に向けた研修も開催していく。

3. 実践2

2023年度の組織活動と教育活動の実績は、表1の通りである。

表1：組織活動と教育活動実績

組織活動		実績	担当
院内	感染対策委員会	1回/月（第4週月曜）	感染管理室
	新型コロナウイルス感染症会議（臨時）	1回/月（適宜開催）	感染管理室
	感染リンクスタッフ会議	1回/月（第3週金曜）	ICT、リンクスタッフ
	院内環境ラウンド	1回/週（毎週火曜）	ICT、リンクスタッフ
	ICTカンファレンス	1回/月	ICT
	ASTカンファレンス	1回/週（コロナ禍で不定期）	AST
	職業感染対策		
	結核接触者健診	6名（看護師3名、介護福祉士2名、リハビリ1名）	CNIC
	新型コロナ感染症	81名対応	
	流行性ウイルス感染症	20名（インフルエンザA/B）	
	血液体液曝露	11件	
	コンサルテーション	9件/年	CNIC
	サーベイランス		
	手指衛生サーベイランス	速乾性手指消毒剤使用量（全部署）	リンクスタッフ
	SSIサーベイランス	JANIS 外科手術14手技	CNIC
	感染管理施設連携カンファレンス	4回/年（飯塚嘉穂済生会病院、飯塚医師会と共催）	ICT
	加算1－1連携相互ラウンド*	社会保険田川病院来訪1回、田川市立病院訪問1回	ICT
	感染対策マニュアル	一部改訂	CNIC/ICT
	新型コロナウイルス感染症マニュアル	感染対策マニュアルに統合した	CNIC/ICT
院外	筑豊感染管理ネットワーク会議	1回/年 新型インフルエンザ等対策 実地訓練（田川市立病院主催、ハイブリッド形式）	ICT
	筑豊ブロック感染症重点医療機関会議	4月開催（5月8日以降感染症法5類に伴い廃止）	ICT

教育活動		実績	担当
院内	院内感染対策研修会	4回/年（受講率：2回以上78.4%、2回未満21.6%）2回未満に対して再研修実施し、100%	ICT
	新規採用者研修	1回/年（4月入職者対象）	CNIC
	新人看護師研修	2回/年（前期、後期）	CNIC
	中途採用者研修	採用時随時（全職員対象：43名）	CNIC
	看護補助者研修	4回/年（前期2回28名、後期2回27名）	CNIC
	医師事務補助研修	3名	CNIC
	筑豊地区救急救命士再研修 感染研修	24名	CNIC
	救急隊病院実習 感染研修	3名	CNIC
院外	地域公開講座	1回	CNIC
	NPO法人飯塚市青少年健全育成会 児童クラブ支援員研修	1回（11月開催、120名参加）	CNIC
	連携施設院内感染対策研修	小竹町立病院 10月開催	CNIC
	令和5年度感染症予防対策研修会	保健所主催 88名参加	CNIC
	地域包括支援センター いきいきサロ ン	椋本地区高齢者70～80代 30名程度	
	5ブロック地域包括ケア システム推 進協議会研修会	特別養護老人ホーム ことぶきの森 施設看護職員10名	
		介護老人保健施設 ベストシルバー飯塚 施設看護職員10名	
		特別養護老人ホーム 天寿園 施設職員10名	
		介護老人保健施設 すみれ園 施設職員10名	
	感染管理連携施設訪問	連携施設6施設訪問（加算3、外来）	CNIC
	介護福祉士に対する研修会	JADECOM地域看護介護部主催 協会施設の老 健に勤務する介護福祉士 30名程度	CNIC

新型コロナウイルス感染症入院患者職員の状況は、表2～表4の通りである。

表2：入院患者数と転帰

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転 帰	入院患者数	1	5	13	25	28	24	12	3	7	20	18	15	171
	自宅	1	3	10	20	21	16	10	1	5	14	9	10	120
	施設・病院	0	2	3	5	6	8	2	2	1	6	8	4	47
	死亡	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	4

表3：職員の罹患状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
罹患患者数		0	2	5	19	15	11	0	3	3	10	9	4	81
罹患率		0	0.48	1.2	4.61	3.61	2.66	0	0.71	0.72	2.4	2.17	0.96	

表 4：クラスター発生状況

初発月日	発生病棟	罹患患者数	罹患職員数	診療中止期間	対応	拡がり
2023.7.23（日）	リハビリ	0人	1人	7/28～ 外来リハビリ中止	7/24～面会禁止 陽性対応病床5床→10床へ 職員同士の会食制限 同部署5人まで	リハ職員 6名
2024.1.21（日）	5階病棟	2人	0人	なし	5Fで個室隔離し管理する。陽性者、イエロー対応患者それぞれリハビリ継続面会は、制限せず師長判断で時間の短縮可とする。	患者 2名

ESBL産生菌は、基質特異性拡張型β-ラクタマーゼとよばれる抗生物質を分解する酵素を産生する細菌を指し、肺炎や尿路感染の原因菌でもある。近年、日本でも増加傾向にあり、院内感染を引き起こす菌である。当院の発生報告数、使用抗菌薬を以下の表5に示す。

表 5：ESBL発生報告数と主な使用抗菌薬

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ESBL発生数	2	2	1	0	0	2	0	3	5	7	3	1	26
タゾピペ配合静注用2.25「ニプロ」	64	30	148	66	37	41	10	29	21	74	10	20	546
タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」	281	205	222	537	448	370	282	378	319	383	554	332	4291
セフメタゾールNa静注用1g「NP」	188	241	141	189	235	218	181	170	198	111	137	142	2151

5. 今後の課題と目標

2023年度は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上「5類感染症」と決定され、5月8日以降幅広い医療機関による自律的な通常の対応に移行する期間であった。今後は、通常の医療提供体制へとスムーズに移行できるよう院内感染対策を整備していく。同時に全職員の感染対策に関する知識と意識を向上させ、対策を推進していくことが課題である。

6. 論文・学会発表・講演

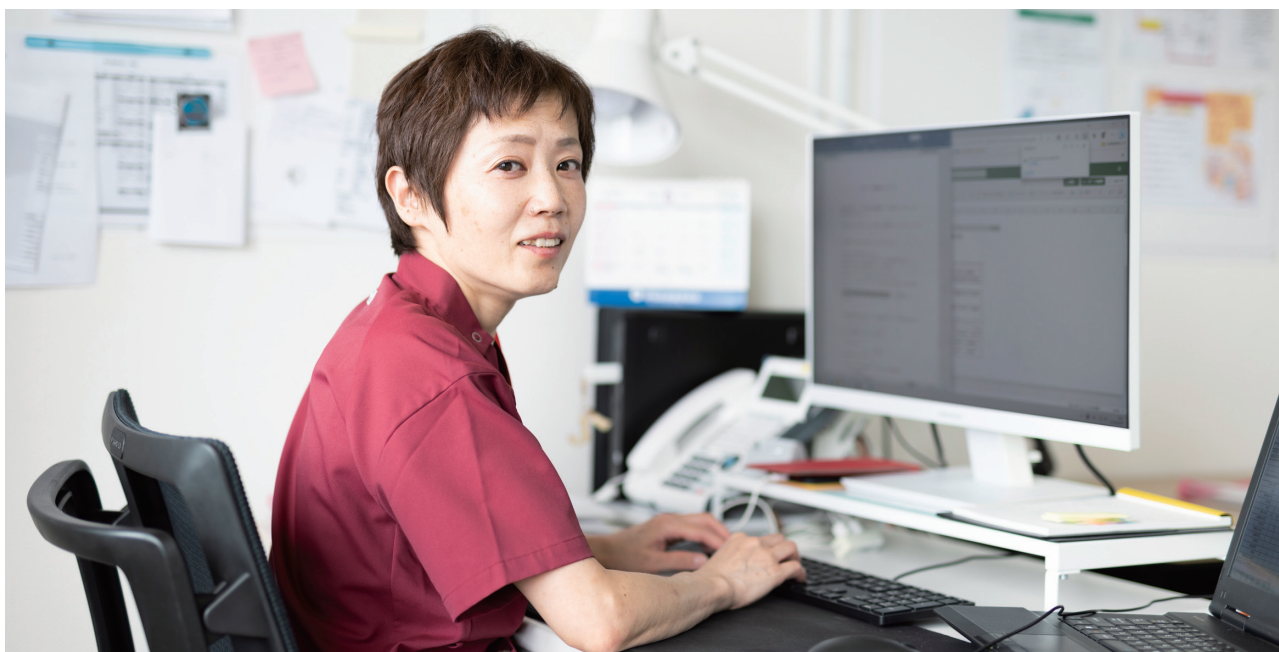
地域医療公開セミナー

8月講演 沖眞一郎、伏貫智恵：「新型コロナウイルス感染症のこれからの感染対策」

1月講演 沖眞一郎：「ノロウイルスについて」

伏貫智恵：「ノロウイルスと感染対策」

医療安全管理室



概要

医療安全管理室室長：白水副院長（医療放射線安全管理責任者）医療安全管理者：藤山淳子
メンバー：宮田医療技術部長（医療機器安全管理責任者）山下薬剤室長（医薬品安全管理責任者）・
田辺医事課長・谷口外来師長

1. 医療安全管理室目標

ルールの順守と患者確認を徹底し、医療事故を防止することを目的に以下の目標に取り組んだ。

目標1 医療安全管理体制の再構築

- ・医療安全対策マニュアルの見直し
- ・多職種連携で医療安全対策を実施する

目標2 安全な医療と療養環境の提供

- ・名乗ってもらう文化を醸成し患者間違いしない
- ・転倒転落の影響度レベルを下げる
- ・インシデント報告を活用した各部門のルールの周知

目標3 安全な職場環境の整備

- ・報告しやすい環境を整備し、ヒヤリハット報告を増やす
- ・タイムリーな情報提供と情報共有

2. 医療安全管理室目標

【目標1】

主任看護師や委員会を活用し20項目のマニュアル改定を行い、閲覧しやすいよう電子カルテへ掲載した。また報告内容より、輸血委員会や化学療法委員会での検討やコメディカルによる学習会開催など、多職種が改善活動に参画するよう働きかけた。医療法に基づき、死亡の確実な把握のための体制構築、また今年度、医療安全管理者研修修了者が2名となり、画像読影レポート確認に関する安全対策を強化した。

【目標2】

患者間違い報告は、可視化や同姓ラベルの統一、各部署で取り組む業務改善計画のテーマを「患者間違い」に絞り取り組んだ。患者間違いと分類した報告は44件、昨年と比較し7件減少したが、レベル2は前年

度同様の7件であり、今年度はレベル3aも発生した。

転倒転落報告数は172件、前年度より43件増加、転倒転落発生率2.2‰、影響度レベル4発生率は0.04‰と増加し、入院患者数や稼働率の増加・入院患者の高齢化の関与も考えられる。

【目標3】

報告の簡素化や啓蒙など、ヒヤリハット報告の推進に取り組み、報告数は前年度より225件増加した。週1回の医療安全カンファレンスで速やかに報告を行い、電子カルテの伝達事項を活用し、対策や注意喚起のアナウンスに努めた。また、CLIPシステムを活用し、全職員へのインシデントの公開、透明性ある医療を目指し医療機能評価機構へ登録した。立案した対策の評価としては是正管理の仕組みの構築や患者影響度からみた医療事故の定義を見直した。

医療安全管理室 活動実績

	活動内容	実績
教育	医療安全管理委員会	1回/月
	医療安全カンファレンス	1回/週
	第1回 医療安全研修会「改めて医療安全を考える」	318名(92%)
	第2回 医療安全研修会「私たち15部署の安全に対する取り組み」	348名(99%)
	第1回 新人看護師研修「新人看護師が起こしやすいエラーの理解」	6名
	第2回 新人看護師研修「インシデントから業務を振り返る」	5名
	ナース向け輸血の学習会「輸血～製剤の取り扱いについて～」	131名
	新規入職者研修	52名
	看護補助者研修「看護補助者の医療安全」	25名
	医師事務作業補助者研修「医療機関における安全管理」	4名
	中間管理者看護師任用候補者選考研修「医療安全・情報管理」	1名
	救急救命士卒後教育研修・救急科病院実習	31名
啓蒙	医療安全推進週間「安全・病院をイメージした子供たちの絵画展示」	
	医療安全業務改善計画	15部署
外部評価	地域連携相互チェック (Ⅰ－Ⅰ 総合せき損センター Ⅰ－Ⅱ 済生会飯塚嘉穂病院)	
	医療監視立入検査	
	ISO受審	

インシデント・アクシデント報告

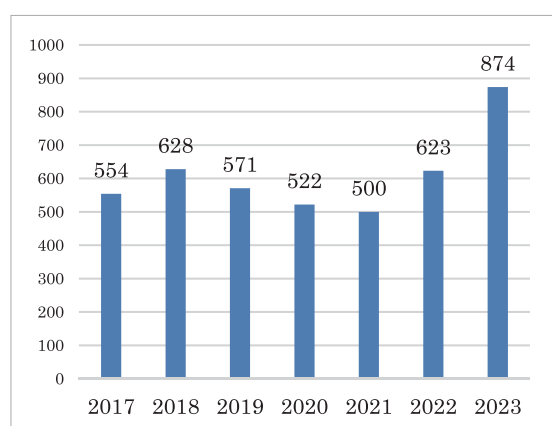


図1 年度別報告件数

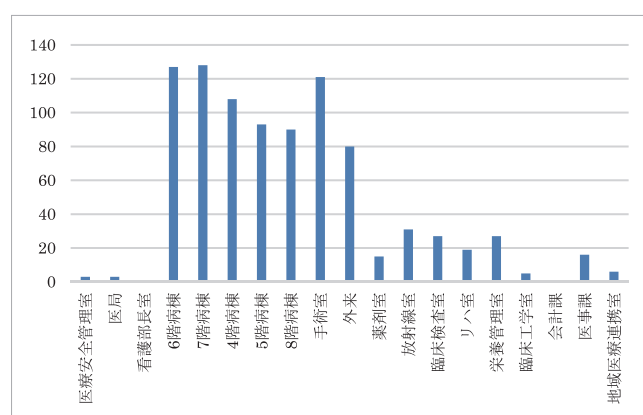


図2 部署別報告件数

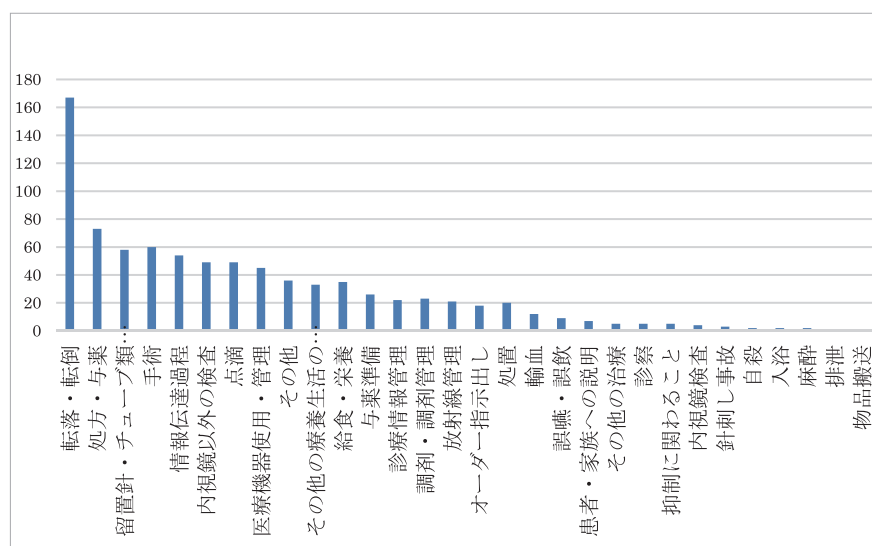


図3 内容別報告件数

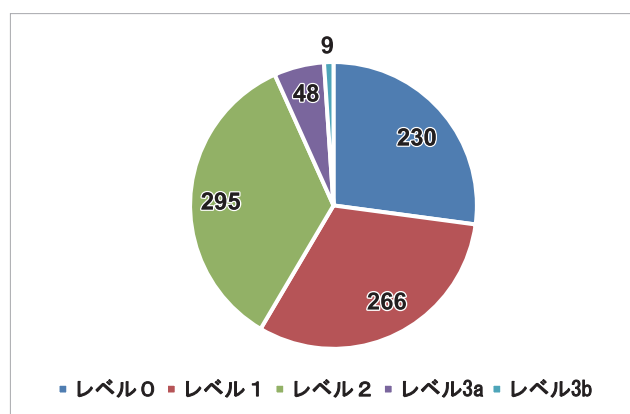


図4 報告レベル別件数

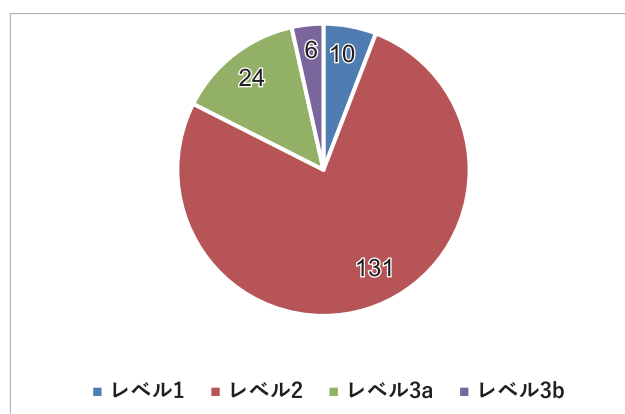


図5 転倒転落レベル別件数

3. 評価

【目標1】

マニュアルやルール整備は携わった者が最も理解するため、現場のリーダーである主任看護師を活用したマニュアル改訂は、タイムリーな作成とともに人材育成にも繋がった。

【目標2】

前任者から引き継ぎ1年を通し、医療安全管理者だけでは全ての部門や部署の業務を理解し、安全に関する事項の周知徹底を行うことは困難であった。医療現場は多くの専門職から成り立ち、各々高い専門性から判断し、価値観も異なる。次年度は、組織全体で安全文化を醸成することを目的に、全部署に安全の推進者となるセーフティマネージャーを配置し、患者誤認や転倒転落予防、同じインシデントが繰り返されないための取り組みを行っていきたい。

【目標3】

報告に対しヒアリングやフィードバックを行い、可能な限り改善活動に努めた結果、報告数の増加に繋がった。また、委員会でのスライドの活用や報告に小見出しをつけるなどの工夫は、興味や関心を持つことに繋がったのではないかと。次年度は、セーフティマネジメント委員会の運営を基盤に、セーフティマネージャーを活用したタイムリーな情報共有と改善活動を行っていく。

4. 論文・学会発表・講演等

藤山 淳子

第9回福岡県診療放射線技師会学術大会 2023.6.24 北九州国際会議場
シンポジウムⅡ「業務拡大への取り組みについて」

地域医療公開セミナー「当院の医療安全の取り組み」2023.12配信

特定ケア看護師



概要

畑 貴美子（特定行為21区分38行為修了）
津川 直也（特定行為21区分38行為修了）

1. 組織内における位置づけ

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、今後の医療を支えるために保健師助産師看護師法が一部改正された。平成27年10月から開始された看護師の特定行為研修制度により、迅速な医療提供、在宅医療およびチーム医療の推進、などが期待されている。

当院では、2022年度に特定行為委員会が組織された。2022年度にJADECORアカデミー NP・NDC研修を受講し、特定行為21区分38行為を修了した。2023年4月に当院一人目の特定ケア化看護師を拝命した。2023年度より卒後臨床研修を通じて、院内での特定ケア看護師としての活動を開始した。

2. 2023年度目標

- 1) 特定ケア看護師として自立した活動ができるよう、看護師特定行為を指導医監督のもと実践する。
- 2) 特定ケア看護師として患者の病態をアセスメント、判断し、特定行為を実践し指導医に的確に報告できる能力を身につける。
- 3) 当院における特定ケア看護師の役割を見出す。

3. 評価と今後の課題

卒後臨床研修中は指導医の指導のもと、内科・救急科・外科の各科ローテーション研修でさまざまな臨床研修を経験できた。特定行為実践および入院管理・救急搬送患者の初期診療を通して臨床推論を学ぶことができた。また特定ケア看護師の周知活動を展開し、ニーズを把握した結果、当院の特定ケア看護師には多忙な医師に対する診療の補助が求められていることがわかった。

今後は引き続き研鑽を重ねることで、臨床推論および特定行為実践能力を向上させていく。

そして今後の短期的目標として、医師のタスクシフト・タスクシェアを実践することで、医師の負担軽減を目指していく。

また今後の中長期的目標として、医師の指示のもと、安全で迅速かつ適切な医療および看護を提供することで、患者満足度や患者経験価値が向上できるような活動を目指していく。特定行為研修で学んだ知識・技術を看護部に還元することで看護の質向上を目指していく。医師とコメディカルスタッフの架け橋となり、コメディカルスタッフの気軽な相談相手となることで、コメディカルスタッフの負担軽減を目指していく。特定行為実践を通して診療報酬を算定することで、健全経営への貢献を目指していく。

4. 業務実績（2023年度）

特定行為実践総数 289回/年

担当した入院患者および救急外来患者の総数 201人/年

5. 論文・学会発表・講演等

看護師派遣活動（能登半島地震に関する看護師派遣、2024年3月3日～3月16日）



医療技術部門

薬剤室



概要

薬剤室 人員 9名（薬剤師8名 薬剤助手1名）

薬剤室長：山下 崇 主任：佐竹 香織 中本 晴美 他 6名

1. 薬剤室の目標

薬剤室は薬剤師8名と助手1名、バブル世代と、ゆとり世代の2極化したメンバーで構成されている。年の差はあるものの、皆が自分の意見を言いやすいオープンな職場環境をめざしている。

現在は2交代制により、院内に必ず薬剤師が常駐し、365日24時間の対応が可能である。

薬剤師は医薬品全般の幅広い知識を持つ「薬」の専門家である。臨床現場において薬剤師が必要とされ、チーム医療の中心的役割を担えるよう、常に研鑽に努めている。

また、医療費抑制のための後発医薬品の採用推進や、多剤併用による有害事象を防ぐためのポリファーマシー対策にも積極的に取り組んでいる。

薬剤室の目標として、以下の3つの基本方針を掲げている。

「薬物療法における安全確保と質の向上、病棟業務の推進を行う」

「チーム医療における薬剤師の役割を十分に発揮する」

「医薬品安全使用の推進を図り、安心される薬物治療を進める」

2. 業務報告

★調剤・注射

外来調剤はほぼ100%院外処方であり、調剤薬局からの疑義紹介に対応している。令和2年より全国的に発生した医薬品供給不足問題（主に後発医薬品）を調剤薬局と連携、協力し、患者の不利益にならないよう対応中である。

入院患者の調剤、全ての持参薬鑑別を行っている。

注射調剤は専門カートを使用し、個人別にセットして病棟へ払い出している。

★高カロリー輸液無菌調製

クリーンルーム内で無菌的に行い感染防止に努めている。

★がん化学療法の参画

レジメン管理、処方監査、無菌調製、化学療法委員会、薬薬連携講演会の開催など、薬剤師主体で行っている。レジメンに基づいた投与スケジュール・投与量・検査値、処方薬などを、必ず3人の薬剤師がチェックした上で、ミキシングを行っている。外来ケモの患者さんには、投与スケジュール、副作用状況などを記載した情報提供書を作成して調剤薬局へ伝達している。

★薬物血中濃度モニタリング

測定結果をもとに解析・投与計画を行い、医師にフィードバックしている。

★薬剤管理指導（病棟業務）

病棟ごとに担当薬剤師を配置して、服薬指導、配置薬管理、スタッフへの情報提供などを行っている。（病棟業務加算は人員不足のため一時中断中）

調剤支援システムにより、効率的な指導管理を行っている。

★一般製剤

皮膚科用薬、耳鼻科用薬、染色液など、要望に応じて特殊な処方の調製を行っている。

★医薬品管理

毎月1回薬事審議会を開催し、新規医薬品の採用、取り消し、後発医薬品への切り替え等について審議している。月末には在庫の棚卸、配置薬の期限切れチェックを行って、過剰在庫を防ぎ、品質管理に努めている。また、毎月、期限切迫薬剤リストを作成し医師に使用促進を行っている。近年の医薬品供給不安定状態においても医薬品確保に全力で取り組んでいる。

★医薬品情報

DI担当者は、毎月「薬剤室からのお知らせ」を発行し、薬事委員会の報告、DIニュース（副作用報告、添付文書改訂、最新の医薬品供給不安定情報など）を掲載している。

★専門性、チーム医療への貢献

NST、褥瘡対策、ICT、化学療法、緩和ケア、認知症ケアなど多くの委員会に参加し、回診にも同行し、専門的立場から助言、提案をしている。糖尿病療養指導士は、院内糖尿病教室の運営、糖尿病フェア、患者会の企画、また地域の糖尿病啓蒙活動にも取り組んでいる。

★薬学生長期実務実習の受け入れ

平成25年度から薬学生の実務実習を受け入れている。（令和5年度までに22人の学生受け入れ実績あり）病院薬剤師としての役割を理解し、医療の担い手としての自覚や責任感をもった質の高い薬剤師養成に向けて、11週間の指導を行っている。

★地域住民向け啓発活動

小中学生や高齢者、更には地域医療従事者を対象とした講座を行ない、市民の健康と安全のための啓発活動を行っている。

★地域薬剤師会（地域の薬剤師）との連携

院内に設置されたFAXコーナーには薬剤師会の職員2名が常勤しており、処方箋をFAXで調剤薬局へ送っている。これにより事前の薬の準備や配送が可能となり、患者サービス向上に繋がっている。もう1つの利点として、自宅近くの調剤薬局を紹介していただくこともできる。

院内の薬剤師は、調剤薬局からの疑義紹介、トレーニングレポートによる情報提供にも対応し、医師との橋渡しをしている。

また、当薬剤室から毎月1回、飯塚薬剤師会を通して地域の調剤薬局に医薬品情報（新規採用医薬品、採用取り消し医薬品、後発品の切り替え、その他必要な情報）を配信している。

さらに、地域医療従事者を対象とした研修会も積極的に開催している。令和4年度は、当薬剤師3名が演者となり公開セミナーを開催した（詳細は下記参照）。

3. 今後の課題と目標

当薬剤師では、一人ひとりが個人の目標を定め、更には施設目標、部門目標を共有し、目標達成に努めている。良い部分を伸ばし、改善すべき点は指導・助言して、業務遂行意欲及び能力の向上を図っている。

冒頭に掲げた薬剤室の3つの目標を念頭に置き、行動につなげる。存在感があり、信頼される薬剤師を目指し、今後も自己研鑽に努める。

4. 業務実績

薬剤室統計

◆処方箋発行件数

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
院内処方	入院	145	205	196	264	282	155	165	137	179	144	147	150	2,169	181
	外来	2,893	3,104	3,051	3,012	3,280	3,134	3,259	3,152	3,072	2,893	3,047	2,964	36,861	3,072
院外処方		4,692	4,663	4,940	4,806	5,074	4,747	4,817	4,716	4,764	4,420	4,264	4,167	56,070	4,673
院外処方発行率(%)		97.0	95.8	96.2	94.8	94.7	96.8	96.7	97.2	96.4	96.8	96.7	96.5	96.3	96.3

◆注射箋

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
注射箋	入院	2,411	2,350	2,692	2,700	3,395	3,107	2,631	2,653	2,529	2,715	2,868	3,029	33,080	2,757
	外来	1,043	1,121	1,260	1,394	1,390	1,128	1,493	1,459	1,269	1,205	1,160	1,125	15,047	1,254

◆化学療法件数

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
化学療法	入院	14	19	15	11	17	22	20	22	20	20	27	31	238	20
	外来	55	41	63	65	64	57	44	50	48	56	55	52	650	54
	合計	69	60	78	76	81	79	64	72	68	76	82	83	888	74

◆無菌製剤処理件数

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
無菌製剤処理		22	6	0	0	13	31	0	0	16	43	32	40	203	17

◆院内製剤処理件数

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
院内製剤		7	1	7	8	9	1	7	8	10	6	8	6	78	7

◆持参薬鑑別件数

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
持参薬鑑別		282	301	285	318	343	317	300	323	287	341	306	296	3699	308

◆連携充実加算件数

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
連携充実加算		38	36	41	44	40	37	32	32	33	36	36	38	443	37

◆後発医薬品使用割合（数量ベース）

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	表示 期間	平均
後発医薬品のある 先発医薬品の数量	5,334	2,927	3,774	4,641	5,364	4,132	3,361	4,659	5,086	7,177	6,227	4,485	57,169	4,764
後発医薬品の数量	48,561	41,432	48,213	56,883	56,152	47,991	46,308	45,331	64,636	55,858	48,752	58,003	618,119	51,510
後発医薬品のある先 発医薬品の数量＋後 発医薬品の数量	53,895	44,359	51,987	61,524	61,516	52,123	49,669	49,990	69,723	63,035	54,979	62,488	675,288	56,274
後発医薬品指数（％）	90.1％	93.4％	92.7％	92.5％	91.3％	92.1％	93.2％	90.7％	92.7％	88.6％	88.7％	92.8％	91.5％	91.6％

◆薬剤管理指導料実施件数

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
薬剤管理指導料 1	51	66	69	43	57	66	53	49	66	55	49	40	664	55
薬剤管理指導料 2	98	105	145	117	80	94	123	108	76	87	120	78	1,231	103
麻薬指導加算	6	7	8	6	7	9	11	5	9	7	2	1	78	7
退院時薬剤指導料	66	84	96	88	67	84	75	86	73	78	80	67	944	79

5. 論文・学会発表・講演等

吉留 弘子

「当院の救急体制と使用薬剤について」

地域医療従事者セミナー（Web講演） 2023年 9 月配信 発表

瓜生 啓人

「がん化学療法における副作用管理について」

地域薬薬連携研修会 2023年11月13日 発表

瓜生 啓人

「外来がん化学療法その他施設連携について」

飯塚薬剤師会会誌 2023年 8 月号 投稿

吉留 弘子

「当院の救急体制と小児科時間外診療について」

飯塚薬剤師会会誌 2024年 2 月号 投稿

放射線室



概要

室 長：宮田 憲明
副室長：香月美由紀
主 任：坂本 勝己
技 師：11名
事 務：1 名

1. 放射線室 目標

方針1 質の高い医療の提供

- 1) 各検査機器による検査・診断の質を向上させ、高度医療を提供する。
- 2) 診療放射線技師として自覚を持ち、技術・知識の向上に努める。
- 3) 各種学会・研修会・勉強会への参加、発表を積極的におこなう。

方針2 医療安全対策の推進

- 1) 法令を順守する。
- 2) 医療被ばくの低減を常に考える。
- 3) インシデントレポートを共有化し再発防止に努める。

方針3 チーム医療の推進

- 1) 各部門と連携・協働してコミュニケーションをとり、患者中心の医療を提供する。
- 2) 積極的にカンファレンスに参加する。

方針4 積極的な病院経営への参画

- 1) 常に経営状況を把握し、患者数、検査数を増加することに努める。
- 2) 始業点検・日常業務を的確におこない、装置を安定稼働させ修理費削減に努める。
- 3) 消耗品・医療器材の適正な管理と見直しをおこなう。

方針5 第三者評価の受審

- 1) ISO9001に基づいて各部門の品質を管理する

2. 業務報告

令和5年度放射線室は、診療放射線技師男性7名、女性4名の計11名と午前中事務員1名の体制で業務をおこなった。小児科休日・夜間診療の開設、救急車搬入件数の増加等により1名の増員となった。また新卒者2名の入職に伴い、新人教育のシステムを構築し指導をおこなった。引き続き質の高い医療の提供を目標に掲げ、各検査機器による検査・診断の質を向上させることに努めている。

検査件数においては、医療機器共同利用の紹介患者が大幅に増加した。これは放射線科医師と協力し、当日検査を受け入れる取り組み、検査後、読影結果・画像データをお渡しし、依頼先での診療をおこなっていたべく対応をおこなった成果である。引き続き地域の医療機関の先生方には当院のMRI、CTの機器を有効に活用していただき、日々の診療にお役に立てればと考えています。

マンモグラフィ検査は、トモシンセシス撮影（3D）が可能な装置への更新と、近隣の施設の閉院に伴い大幅に増加した。今後は検診でのトモシンセシスの運用も計画しており、検査精度の向上、件数の増加に取り組みたい。

3. 今後の課題と目標

画像診断機器の進歩は、現在の医療の領域においては欠かすことのできないものである。これらの画像診断機器を用いるための適正な放射線技術を遂行する使命が診療放射線技師には課されている。また、現在の医療現場ではハイレベルな診療、医療安全、教育、研究、管理が求められている。診療放射線技師として自覚を持ち、技術・知識の向上に努めることにより高度画像診断機器を円滑、安全に使用し、医療にさらなる貢献をしたいと思う。

また医師の働き方改革におけるタスク・シフト／シェアにも引き続き取り組む。

4. 業務実績

放射線室統計

	R 3	R 4	R 5
総数	32472	32213	33695
単純撮影	16682	16671	17191
下肢全長	611	546	464
乳房撮影	437	550	864
骨密度検査	1710	1607	1819
ポータブル撮影	2929	3047	2872
CT検査	7455	7223	7831
MR検査	2594	2483	2581
RI検査	54	86	73

医療連携紹介検査件数

	R 3	R 4	R 5
総数	750	826	1152
CT検査	340	404	461
MR検査	381	364	648
RI検査	29	58	43

放射線室統計

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
単純撮影	R 5	1384	1471	1459	1522	1523	1282	1458	1453	1495	1388	1348	1408	17191
	R 4	1370	1392	1327	1256	1390	1295	1378	1343	1502	1430	1392	1596	16671
	R 3	1346	1185	1428	1348	1373	1337	1351	1390	1516	1454	1333	1621	16682
下肢全長	R 5	47	40	45	40	41	43	37	43	40	31	26	31	464
	R 4	46	50	46	52	41	41	50	51	32	50	33	54	546
	R 3	52	46	47	50	44	56	42	61	37	55	55	66	611
乳房撮影	R 5	42	37	45	65	85	103	106	84	68	66	95	68	864
	R 4	37	23	39	47	42	51	49	51	50	63	49	49	550
	R 3	19	19	39	34	29	41	55	44	38	37	34	48	437
骨密度検査	R 5	141	136	148	153	162	162	155	137	155	143	151	176	1819
	R 4	128	126	146	125	152	149	98	128	145	133	121	156	1607
	R 3	133	126	157	151	149	128	123	132	144	133	156	178	1710

ポータブル等	R 5	196	190	245	234	299	266	197	222	230	270	275	248	2872
	R 4	219	222	242	196	287	281	256	244	272	284	274	270	3047
	R 3	277	272	291	236	267	209	208	193	195	226	262	293	2929
CT検査	R 5	603	579	632	686	737	629	683	692	648	675	636	631	7831
	R 4	562	566	582	540	701	629	615	608	645	621	564	590	7223
	R 3	601	585	575	605	647	643	620	601	610	621	685	662	7455
MR検査	R 5	210	218	219	190	220	207	236	238	216	185	221	221	2581
	R 4	222	220	240	208	202	203	210	196	192	193	201	196	2483
	R 3	230	203	220	201	208	196	210	228	228	221	201	248	2594
RI検査	R 5	5	2	7	3	5	5	8	4	8	10	5	11	73
	R 4	7	7	5	6	10	3	7	6	7	12	8	8	86
	R 3	4	1	5	3	4	5	4	4	6	5	3	10	54

5. 論文・学会における発表・講演等

1. 宮田 憲明

「RadFan」5月号執筆

「病院における放射線部門のタスクシフト/シェアの取り組み」

2. 宮田 憲明

第9回福岡県診療放射線技師会学術大会 2023.6.25 北九州国際会議場

シンポジウムⅡ「業務拡大（タスクシフト/シェア）への取り組みについて」座長

3. 宮田 憲明

第14回JADECORE学術大会 2023.10.8 砂防会館 ハイブリッド

放射線部会基調講演「タスクシフト/シェアにおける業務拡大への取り組み」講演

4. 宮田 憲明

福岡県診療放射線技師会 筑豊地区学術研修会 2023.12.16 飯塚病院エネルギー棟

「報告書管理体制加算について」講演

5. 宮田 憲明

Sunset Meeting 2024 2024.3.1 Web

診療放射線技師におけるタスクシフトの実践例 パネルディスカッション 講演

6. 宮田 憲明

令和3年厚生労働省告示第273号研修(告示研修) ファシリテータ

7. 香月 美由紀

福岡県診療放射線技師会 フレッシュャーズセミナー 2023.5.20 Web

「医療コミュニケーション」講師

8. 香月 美由紀

令和3年厚生労働省告示第273号研修(告示研修) ファシリテータ

臨床検査室



概要

臨床検査室：人員10名
 室 長：庄野 寿喜
 主 任：2名
 臨床検査技師10名

1. 臨床検査室目標

検体や患者様の身体から得られた検査情報を迅速かつ正確に付加価値を付けて提供し、患者様が安全で安心して検査を受けて頂く環境づくりを目指します。

- ①迅速かつ正確で診療に即した付加価値の高い検査情報を提供する。
- ②診療支援に努め、患者様に貢献できるチーム医療を目指します。
- ③最新の検査技術と知識の向上に努め各検査部門での専門技師の育成を目指します。
- ④臨床検査業務の効率よい運営と経費削減に努める。

2. 業務報告

業務形態は2交代制で日勤の業務配置は検体検査部門と生理検査部門にわかれて運用している。検体検査部門は生化学・一般・血液・輸血・免疫と病理検査および微生物検査に分けられる。午前は外来患者の生化学・一般・血液・輸血・免疫検査を主に行い、午後からは病理検査と微生物検査にそれぞれ1名の技師を振り分けます。入院患者の検査は夜勤者が8時までに結果を出すように心がけ早めに治療方針が決められる事に貢献できていると思われる。2020年からCOVID-19のPCR検査導入に伴い栄研化学のLAMP法と緊急時検査として日水のsmart geneを導入し、鼻咽頭拭いの検体採取も積極的におこなった。2023年には β -Dグルカンの検査を院内で測定するようになりました。2024年6月には微生物同定感受性分析器をMicro scan Walk AwayからBDのフェニックスに機種変更した。

生理部門は心電図・ABI・CVR-R・運動負荷試験、ホルター心電図・肺機能（肺活量・努力性肺活量・残気量・肺拡散能・気管支可逆試験）・超音波（心臓・腹部・血管・乳腺・甲状腺・泌尿器・表在）・脳波・神経伝導時間・尿素呼気試験・心臓カテーテル検査を行っている。生理部門は全員が一通りのルーチン検査を出来るように訓練している。夜勤や日直時の緊急超音波検査の積極的に行っている。

3. 今後の課題と目標

○検体検査課題

尿検査分析器の更新と輸血検査の件数増加に伴い事故や間違い防止のため分析器やシステムの導入、病理検査システムの導入を考えなければならない。

○生理検査課題

超音波レポートシステムの導入を検討していきたい。

○目標

経験年数10年未満の技師が半数以上を占めているので専門性の高い教育を行い認定試験の取得を目指す。事故防止や待ち時間の短縮、他部門のスタッフの手間を省くために輸血システムや生理システムおよび微生物システムの導入を図りたい。COVID-19で使用しているPCRの機器はTB-PCR、CD、マイコプラズマ、百日咳菌に使用し迅速加算を取れるようにし収益アップに貢献する。また、検査項目が多い項目や緊急性が高い項目は積極的に院内検査としたい。

4. 業務実績

		4月	5月	6月	7月*	8月	9月	10月	11月	12月	1月*	2月	3月	合計
生化学検査	入院	12354	13175	12463										37992
	外来	27520	31634	26310										85464
	合計	39874	44809	38773	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123456
免疫・血清検査	入院	163	227	184										574
	外来	2343	3190	2244										7777
	合計	2506	3417	2428	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8351
薬物濃度	入院	0	5	0										5
	外来	0	4	2										6
	合計	0	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
血液検査	入院	1568	1625	1510										4703
	外来	2880	3292	2808										8980
	合計	4448	4917	4318	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13683
凝固検査	入院	324	366	397										1087
	外来	1500	1663	1585										4748
	合計	1824	2029	1982	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5835
尿一般検査	入院	198	229	184										611
	外来	976	1829	947										3752
	合計	1174	2058	1131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4363
糖検査	入院	53	43	77										173
	外来	1032	1273	892										3197
	合計	1085	1316	969	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3370
血液ガス検査	入院	40	56	73										169
	外来	149	120	100										369
	合計	189	176	173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	538
穿刺液検査	入院	18	21	9										48
	外来	15	6	23										44
	合計	33	27	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92
輸血検査	入院	58	57	61										176
	外来	86	118	94										298
	合計	144	175	155	0	0	0	0	0	0	0	0	0	474
外注検査	入院	154	165	118										437
	外来	658	1164	592										2414
	合計	812	1329	710	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2851

ECG	入院	42	22	26										90
	外来	444	453	422										1319
	合計	486	475	448	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1409
トレッド	入院	1	0	0										1
	外来	1	0	2										3
	合計	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
ホルター	入院	1	1	1										3
	外来	2	4	1										7
	合計	3	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
エコー検査	入院	64	61	49										174
	外来	288	274	281										843
	合計	352	335	330	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1017
その他の生理検査	入院	64	8	5										77
	外来	288	147	132										567
	合計	352	155	137	0	0	0	0	0	0	0	0	0	644
一般細菌・塗抹検査	入院	101	96	88										285
	外来	9	11	18										38
	合計	110	107	106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323
一般細菌・培養同定	入院	162	169	140										471
	外来	26	20	22										68
	合計	188	189	162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	539
感受性1菌種	入院	47	51	48										146
	外来	10	7	4										21
	合計	57	58	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	167
感受性2菌種	入院	13	6	5										24
	外来	1	0	1										2
	合計	14	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
感受性3菌種以上	入院	0	1	1										2
	外来	0	0	0										0
	合計	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
結核菌・塗抹	入院	3	8	1										12
	外来	1	0	3										4
	合計	4	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
結核菌・培養	入院	2	5	1										8
	外来	1	0	3										4
	合計	3	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
細胞診検査	入院	13	12	13										38
	外来	5	5	5										15
	合計	18	17	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53
組織検査	入院	24	31	24										79
	外来	37	43	52										132
	合計	61	74	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	211
総計	入院	15467	16440	15478	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47385
	外来	38272	45257	36543	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120072
	合計	53739	61697	52021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	167457

* 職員検診あり

検体数

2023

2024

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
125	117	101	129	149	114	112	116	116	124	109	113	116	108	108	167

入院患者月別MRSA保菌患者分布

項目	集計/報告方法	2023年												2024年			
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
MRSA保菌者数	当月に分離されたMRSA検出患者総数	0	0	1	2	2	0	0	1	3	2	2	8	1	1	1	3
新規	当月に分離された新規MRSA検出患者総数	0	0	1	1	1	0	0	1	3	2	1	6	0	1	1	3
既検出	当月に分離されたMRSA検出患者総数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0
入院患者延べ数	毎日24時現在の在院患者数＋その日の退院患者数の一ヶ月の合計	5792	4919	5271	4962	5556	5694	5639	6208	5468	5878	5495	5730	5691	5678	5802	5987
保菌率	MRSA保菌数/入院患者数*100	0	0	0.02	0.04	0.04	0	0	0.06	0.05	0.04	0.04	0.14	0	0	0.03	0.05
合計検体数	当月の提出検体数	19	23	29	19	32	38	35	34	45	37	36	63	24	46	36	61
分離率	当月のMRSA保菌者数/合計検体数*100	0	0	3.4	11	6	0	0	3	7	5	6	13	4	2	6.0	4.9
提出患者数	当月の分離培養実施患者数	12	15	18	11	17	23	19	29	24	19	20	19	14	20	21	29
検出率	当月のMRSA保菌者数/提出患者数*100	0	0	13	18	12	0	0	3	13	11	10	42	7	5	8	10
MSSA保菌者数	当月に検出されたMSSA検出患者数	3	1	0	1	0	3	0	3	1	0	1	3	0	2	1	2
MRSA率	MRSA保菌者/S.aureus保菌者*100	0	0	100	33	100	0	0	100	75	100	33	73	0	100	50	100
ABR耐性数	アルベカシン耐性MRSA保菌数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
耐性率		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0

入院患者その他の耐性菌検出状況

		2022												2023			
項目	集計／報告方法	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
P.aeruginosa (緑膿菌)	P.aeruginosa 検出患者数を 報告	0	0	0	1	2	1	1	3	1	1	3	2	0	3	2	2
	IPM耐性 P.aeruginosa 検出患者数を 報告	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0
	P.aeruginosa (MDRP)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
S.pneumoniae (肺炎球菌)	S.pneumoniae 検出患者数を 報告	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	S.pneumoniae (PRSP)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Enterobacter ESBL	ESBL検出患者 数を報告	0	0	0	2	2	1	0	0	2	0	3	5	7	3	1	4
	CRE患者数を 報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Acinetobacter spp	Acinetobacter spp検出患者数 を報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	A.baumannii検 出患者数を報 告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	MDRA検出患 者数を報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
serratia spp	serratia marcescensを 報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0

		2023												2024			
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
4 階 病 棟	MRSA	1			1(1)	1		1					3(3)	2(1)			2(2)
	IPM耐性P.aeruginosa														1(1)		
	P.aeruginosa (MDRP)									1(1)							
	S.pneumoniae (PRSP)																
	ESBL	2			1(1)	1	3	1		1(1)			3(3)	4(4)	1(1)	3(1)	3(1)
	CRE																
	MDRA																
5 階 病 棟	MRSA												1(1)				
	IPM耐性P.aeruginosa												1				
	P.aeruginosa (MDRP)																
	S.pneumoniae (PRSP)																
	ESBL						1(1)								1		
	CRE																
	MDRA																

6 階 病 棟	MRSA	1								1(1)							1
	IPM耐性P.aeruginosa																
	P.aeruginosa (MDRP)																
	S.pneumoniae (PRSP)																
	ESBL				1					1(1)		1(1)		1(1)	2(2)		
	CRE																
	MDRA																
7 階 病 棟	MRSA				1	4(1)		1	1(1)	2(2)	1(1)	1(1)	3(2)		1(1)	1(1)	
	IPM耐性P.aeruginosa																
	P.aeruginosa (MDRP)																
	S.pneumoniae (PRSP)																
	ESBL	1	1				2	2	2			1(1)	1(1)	2(2)	3	2	3(2)
	CRE																
	MDRA																
8 階 病 棟	MRSA			1	1(1)	1(1)					1(1)	1(0)	1(0)				1(1)
	IPM耐性P.aeruginosa									1(1)	1(0)	1(0)					
	P.aeruginosa (MDRP)																
	S.pneumoniae (PRSP)					1(1)											
	ESBL											1(1)	1(1)			1	1(1)
	CRE																
	MDRA																

検出患者数を表記しています。

		2023												2024			
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
CD TOX	件数	4	5	0	2	3	5	4	5	0	1	4	4	1	5	1	6
	抗原 (+)	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	1	0	0	3
	トキシン (+)	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0
	陽性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
インフルエンザ	件数	37	83	57	46	38	39	61	27	39	59	71	107	124	92	65	50
	A陽性	3	25	6	1	0	2	2	0	4	9	9	18	14	0	0	0
	B陽性	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	17	1	0
尿中肺炎球菌	件数	5	0	3	4	5	5	3	2	3	4	4	3	9	4	3	9
	陽性	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	0	1	1
尿中レジオネラ抗原	件数	4	0	0	1	2	3	1	1	3	2	4	3	7	4	2	9
	陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コロナウイルス LAMP法	件数	470	375	352	245	199	226	243	210	189	125	134	124	152	153	138	126
	陽性	87	9	3	0	10	25	58	60	21	4	1	4	3	5	2	0
	保留	8	1	0	1	3	1	2	1	3	1	0	0	0	0	1	0
コロナウイルス PCR (院内)	件数	217	134	162	106	71	67	133	187	163	129	137	140	166	74	113	49
	陽性	38	3	9	0	2	6	23	27	23	12	2	8	16	11	9	15
	保留	7	3	1	1	1	2	2	5	6	4	3	2	1	2	1	2
コロナウイルス PCR (外注)	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コロナ抗原定性	件数				139	145	132	162	129	144	131	128	131	179	182	157	186
	陽性				1	3	11	17	13	10	7	2	8	17	18	11	19
血液培養		322															
検体数		28	20	16	30	33	21	33	20	33	30	26	32	20	21	26	43
陽性数		4	5	6	1	7	3	5	4	2	4	1	3	3	1	5	10
陽性率 (%)		14	25	38	4	21	14	15	11	3	7	3	10	8.3	2.7	19.2	23
2セット提出数		26	20	16	27	33	19	29	16	23	25	13	27	16	16	24	41
2セット提出率 (%)		92	100	100	90	100	90	88	80	70	83	50	84	80	76	92	95

5. 論文・学会発表・講演等

渡邊美幸

「肝炎治療における超音波の役割」～超音波装置で肝線維化の評価は出来るのか～
JADECOM学会

西田裕美

「超音波検査による門脈ガス血症症例の責任病変同定および手術適応診断」
画論2024

庄野寿喜

「シックデイ」
福岡県・佐賀県糖尿病療養指導士会

リハビリテーション室



概要

リハビリテーション室（所属）47名
 室長：宇佐波 政輝
 副室長：林 秀樹 主任 4名
 理学療法士24名 作業療法士16名 言語聴覚士 5名
 助手 2名

1. リハビリテーション室目標

- 5年目以下のスタッフが1割程度在籍しており、中堅スタッフ中心に研修会を定期的に開催し、治療技術や知識の向上を図りたいと思っています。また、若いスタッフだけでなく中堅以上のスタッフも自己研鑽を積極的に行うように年間課題を設けています。リハビリテーション室のスローガンとして掲げているジェネラリスト、スペシャリストの育成に励みたいと思っています。また、患者様が安心して入院生活を送れ、リハビリテーションを受けて頂くために令和6年度からはインシデント、アクシデント報告をこれまで以上に積極的に行うように取り組む方針です。軽微な事象が重大な事故に繋がらないようにするために全スタッフの意識改革を行います。

2. 業務報告

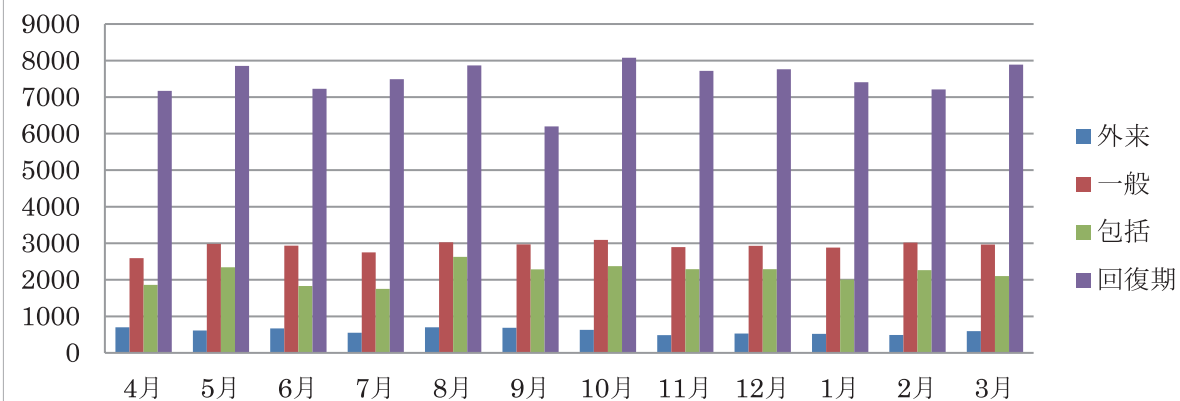
コロナ禍の影響でコロナ前に比べ、リハビリテーションの対象患者も1.5割程度減少しましたが、令和5年度より徐々に改善し1割減程度となりました。疾患別割合に関しては運動器疾患が約7割、脳血管疾患が1.5割、呼吸器疾患と廃用症候群に関わるものが合わせて1割前後となりました。コロナ罹患者についても院内感染対策委員会指導の下、介入ルールを見直し早期からベッドサイド介入することに努め、臥床による廃用予防に努めました。

3. 今後の活動と目標

- 脳血管疾患における症例が少なく、一般病棟および回復期病棟共に対応可能であり患者増を目指したいと考えています。整形外科疾患に関してもこれまで以上に早期退院が可能となるように、リハビリ介入の頻度を増やし、家屋調査の早期実施や介護保険への連携をよりスピーディーに行えるようにしたいと思います。また地域住民等を対象とした公開講座や施設への出前講座等を徐々に再開したいと考えています。

4. 業務実績

部門別取得単位(R5年度)



単位数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	698	611	668	552	702	689	632	487	531	519	491	597	7,177
一般 病棟	2,591	2,984	2,936	2,752	3,025	2,969	3,093	2,894	2,929	2,882	3,017	2,963	35,035
包括 病棟	1,859	2,345	1,831	1,750	2,626	2,288	2,375	2,291	2,292	2,006	2,263	2,100	26,026
回復 期病棟	7,171	7,855	7,229	7,490	7,865	6,199	8,077	7,717	7,762	7,408	7,209	7,889	89,871
合計	12,319	13,795	12,664	12,544	14,218	12,145	14,177	13,389	13,514	12,815	12,980	13,549	158,109

栄養管理室



概要

栄養管理室（所属） 3 名

栄養管理室長：古林 美保

主任管理栄養士：堤 千和

管理栄養士：西田 彩華

給食委託：日清医療食品：栄養士 2 名、事務 1 名、調理師 5 名、調理員 7 名、洗浄員 9 名

1. 栄養管理室目標

< 質の高い医療の提供 >

- ・専門職としての自覚を持ち、技術・知識の向上に努める。
- ・患者の自立支援、生活の質の向上を最大限図る
- ・医療従事者対応・住民対象の各種研修会に参加・協力する。

< 多職種連携 >

- ・各担当病棟の分野の知識・技術の向上に努める。
- ・各部門と連携・協働してコミュニケーションとり患者中心の医療提供を行う。

< 病院経営 >

- ・医療技術の質と安全を担保しながら業務の効率化と経費削減に努める。
- ・栄養指導件数のUP
- ・算定可能な業務の参画

< 医療安全 >

- ・病院内の感染予防と自信の健康管理を行い、患者に安心・安全な医療を提供する。
- ・インシデントレポートを共有し、再発防止に努める。

< ISO >

- ・ISO9001に基づいて栄養部門の品質を管理する。

2. 業務報告

<栄養指導件数>

- ・個人栄養指導 1,264件と昨年より76件増加。

総数は64増だが、加算が126件と増えており、非加算が減少し収益としては前年同様上昇。

内訳は、外来が34件、5・6階の整形が44件、7階が75件増と算定可能な外来や病棟が増加。

増加した要因として、外来は内科医師了解の元、包括病棟での糖尿病患者を中心としたフォローアップを継続・展開。整形は退院時含め2回指導を強化。7階は心不全患者の指導強化。

などが挙げられる。

- ・集団指導は72件と昨年と大きく変わらない。うち算定数は2件

糖尿病患者は包括病棟が多い為、結果算定出来る対象者は少ない。

<褥瘡、NSTラウンド>

72件

昨年より20件増加

<カンファレンス回数>

1,029件

昨年より201件増加。

担当病棟制で全病棟に参加し積極的に関わっている。

<医療安全>

発生件数は8件昨年と変わらず。

<栄養情報提供書>

60件

昨年と同数。必要に応じて転出先の病院や施設に情報提供している。

<広報活動>

- ・NST広報誌

「脱水予防。比べてみよう塩分量」

「脂肪乳剤について」

「GLIM基準による低栄養診断」

<資格>

- ・地域糖尿病指導療養士 3名
- ・病態栄養認定管理栄養士 3名（栄養士全員取得となった）
- ・日本糖尿病指導療養士 1名
- ・NST専門療養士 1名
- ・心不全療養士 1名

<所属学会>

- ・日本病態栄養学会 3名
- ・日本糖尿病学会 1名

- ・日本静脈経腸栄養学会 1名
- ・日本循環器学会 1名

3. 今後の課題と目標

＜栄養指導件数の増加＞

①外来化学療法でホルモン療法など服薬療法の指導にも展開していく。②単独で算定可能となった栄養情報提供書の作成を増やし地域連携強化行う③心不全患者を掘り起こし医師に栄養指導依頼の呼びかけを行う④退院時に外来指導へ繋げるよう提案の継続を行い、外来も必要に応じて継続指導していく。
以上を医師、看護師、コメディカル、医師補助等に協力依頼を呼びかけながら継続、強化する。

＜スキルアップ＞

- ・認定資格を目指し学会、WEB研修会など日々自己研鑽を行う。
またコメディカルスタッフと連携しスキルミックス行う。

＜医療安全＞

- ・レベル0報告を継続し、委託会社スタッフと、情報共有しながら意識を高め未然に防いでいく。
異物混入、誤配膳など発生減少を目指す。

＜ISO＞

- ・厨房機器の管理表を写真で表示し、修理・点検など“見える化”した管理の徹底を行う。

＜業務改善＞

電子カルテ変更を機に“約束食事箋”の運用を医師、看護師、コメディカル、委託スタッフとも相談しながら見直しを行い、現状に即した内容に改める等、業務改善に繋げる。

- 患者さんの高齢化による業務の多様化、人手不足、食材高騰など業務と経営を考慮しながら見直し改善を行う。それには“働きやすさ”も配慮し、いかに効率よく運用できるかを、病院栄養士だけではなく委託先とも相談、協力していきながら進めていく。

4. 業務実績

◆栄養食事指導料

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
栄養士食事指導	外来	28	14	16	20	20	13	22	20	19	12	18	17	219	18.25
	入院	88	104	107	76	98	74	92	98	90	79	71	68	1045	#NAME?
	集団	8	10	6	11	6	8	2	2	3	3	9	4	72	#NAME?

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
食事数	一般食	4,244	4,231	4,447	4,369	5,019	5,263	5,153	5,119	4,977	4,296	3,340	3,863	54321	4526.75
	特別食	9,500	9,723	9,182	9,352	9,586	9,196	8,805	8,781	10,835	11,061	10,122	10,459	116602	9716.833333
	流動食	0	12	9	10	10	8	13	0	11	41	17	12	143	11.91666667
特別食割合		69%	70%	67%	68%	66%	64%	63%	63%	68%	72%	75%	73%		0.681581834

5. 論文・学会発表・講演等

＜講師活動＞

- ・筑豊糖尿病指導療養士講師

＜地域連携＞

- ・公開セミナー「高齢者糖尿病の栄養管理」
- ・健康講座「栄養と免疫」
- ・栄養情報提供書作成60件

臨床工学室



概要

臨床工学室：人員 3名
臨床工学室長：吉川 康彦
主任臨床工学室：後藤 悠子
臨床工学室員：小園 誠也

1. 臨床工学室目標

- 1) 質の高い医療を提供する
 - ・価値創造の源泉である職員の成長、ウェルビーイングを実現する
 - ・患者の視点に立って、最高品質の医療機器を提供する
 - ・社会への責任、誠実、公正により良い社会に貢献できる医療機関を目指す
- 2) 院内の多職種連携を推進する
 - ・中核病院としてヒト・モノ・コトの新たな出会いやつながりを創出する
 - ・チームの多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動する
 - ・タスクシフトシェアを定着させる
- 3) 積極的な病院経営への参画をおこなう
 - ・安全こそ経営の基盤、安心と信頼を基礎に、医療に従事し貢献する
 - ・広い視野、高い視点で現代社会に必要な分析力を持つ
 - ・医療の現場以外の企業の経営理念を参照し多角的な知識を持つ
- 4) 医療安全・感染対策を推進する
 - ・安全・感染についての法令を順守する
 - ・インシデントの共有・分析、インシデントリカバリーへの取り組みを探究する
 - ・国内上場企業の安全管理・衛生管理から学ぶ
- 5) 第三者評価の維持
 - ・ISO9001認証継続への取り組み

2. 業務報告

【医療機器保守管理業務】

院内で使用する生命維持管理装置をはじめあらゆる医療機器の保守点検管理を行っており、常時安心安全に使用できる環境を提供しています。

★主な管理医療機器・台数

人工呼吸器	6 台
高流量酸素療法装置	1 台
除細動器	9 台
輸液ポンプ	42台
シリンジポンプ	27台
麻酔器	5 台
電気メス	7 台
低圧持続吸引器	6 台
ネブライザー	24台
セントラルモニター	6 台
ベッドサイドモニター	37台
腹腔鏡装置	3 台
内視鏡装置	4 台
間接鏡装置	2 台

【臨床支援業務】

人工呼吸器・血液浄化業務など様々な臨床支援業務を行っております。

★血液浄化業務

血液濾過透析療法	1 症例	計 2 回
エンドトキシン吸着療法	2 症例	計 4 回
腹水濾過濃縮再静注法	3 症例	

★人工呼吸器管理業務 10症例

★高流量酸素療法 14症例

★スコピスト業務 10症例

★下肢静脈瘤レーザー焼灼術 17症例

【医療ガス業務】

医療ガス安全管理実施責任者 医療ガス研修

【院内研修】

★新人看護師研修

★新規購入機器研修

★救急救命士研修

【認定資格/検定試験】

透析技術認定士	1 名
第 2 種ME技術実力検定	2 名
心電図検定 4 級	1 名

3. 今後の課題と目標

2023年度より1名増員し3名体制となったことで、教育システムを見直し抜けや指導者による差を無くするためのシステマティックな教育体制が必要となってきた。

また、医療機器管理の面ではより高度な安全の担保のために点検器具を揃える必要性と、各種医療機器の点検資格を得るための研修への参加が必要となってきた。

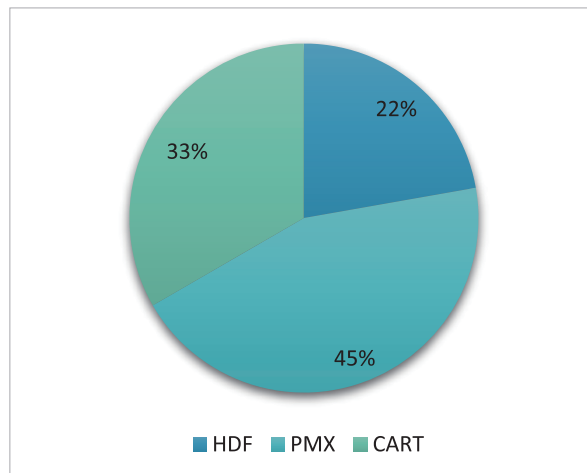
また、増員したことによって新たな業務に取り組んで行ける余地ができた。

地域医療における当院の役割や医療業界の変遷を読み、より効果的な業務拡大が求められると考える。

4. 業務実績

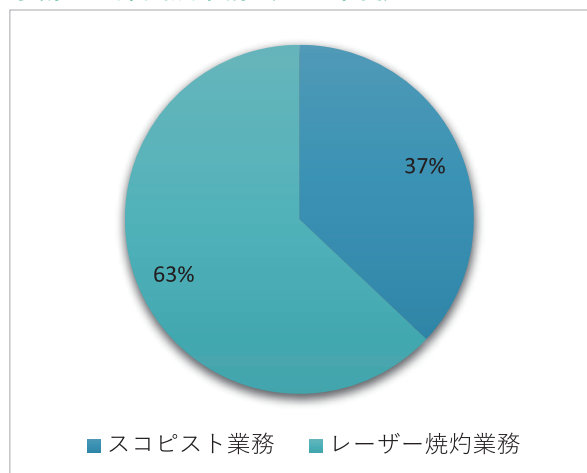
HDF 2
PMX 4
CART 3

血液浄化業務（2023年度）



スコーピスト業務 10
レーザー焼灼業務 17

手術室臨床支援業務（2023年度）



5. 論文・学会発表・講演等

地域医療従事者公開セミナー

『臨床工学室の新たな取り組み』～医師のタスクシフト/シェア～

後藤悠子



事務部門

事務部（総務・会計・医事）



概要

事務部（総務・会計・医事）所属職員

事務部長：1名、総務課9名、会計課4名、医事課10名

1. 目標及び主な業務内容

1) 総務課

総務課の部門別目標は、次の6つを掲げています。

- ①積極的に依頼に応えるよう努力し、組織に信頼され、必要とされる部署を目指す
- ②法律、規程等を遵守し、確たる根拠のある業務を行う
- ③各部門とコミュニケーションを密にとり多職種連携を図る
- ④病院の掲げる目標に対して事務職員として積極的に参画する
- ⑤IT化の推進し病院全体の業務負担減、超過勤務削減に取り組む
- ⑥職員がやりがいをもって、楽しく働ける環境を目指す

主な業務内容は、人事、給与、各種保険の手続き、健康管理等のほか庶務業務と幅広く行っています。

2) 会計課

会計課の部門目標は、次の6つを掲げていました。

- ①組織に信頼され、必要とされる部署を目指す
- ②確たる根拠のある業務を行う
- ③多職種連携の推進
- ④病院経営への参画
- ⑤時間外労働の削減
- ⑥月次決算の過月修正の減少

主な業務内容は、経理業務、機器・診療材料や一般物品の購入、委託業者の契約、設備関係等多岐にわたります。

3) 医事課

医事課の部門別目標は、次の4つを掲げています。

- ①ISO9001の維持を目指し業務標準化に取り組み無駄・無理のないよう業務効率化を進め査定率の年間平均0.5%以内を目指す。時間外労働時間の削減し、月間30時間以内を目指す。
- ②施設基準に注意を払い、新規の届出又は上位施設基準主取得及び算定件数増加を目指す。
- ③保留、返戻を早期に再請求を行う。
- ④医師課内は、もとより他部署ともそれぞれの立場を理解し尊重する。

2. 業務報告

1) 総務課

令和5年度はペーパーレス化の推進を引き続き実施しています。さらに地域医療への貢献に向け計画をしておりましたヘリポート設置や医師の働き方改革に向けた正確な勤怠管理の為に、勤怠システムの更新に向けた準備を行いました。また、ISOについても維持審査の受審を行い、組織基盤をより強固にしていく取り組みを実施しました。

令和6年度は、医師の働き方改革への対応、第三者評価のISOの受審など病院のプロジェクトについて、事務職員として参画して参りました。

2) 会計課

当課では、総務課が計画した職員駐車場のヘリポートへの改修工事が5月に完了しました。航空局への場外離着陸場申請許可を経て9月には竣工式を行い、同月14日に初めてのドクターヘリで久留米大学病院へ搬送症例が実現し、飯塚市の救急医療に大きく貢献することができています。

また、7月には7階及び4階病棟から屋外設置の透析排水処理装置工事を完了しました。透析排水は処理後に弁分地域の農業用水路に排水されるため、事前に弁分農業生産組合長を訪問し、ご理解とご協力を得たうえで計画を進めました。この透析設備も、地域医療への貢献が期待されます。

昨年度からの課題として取り組んでいた固定資産管理については、2月に実査を開始し、5月を完了目標として取り組みました。今後も継続して管理できる仕組みの構築を目指します。

3) 医事課

最初に地域医療支援病院の評価基準である紹介率、逆紹介率の維持については、毎日職員へ前日の数字を公表し意識づけを行い、開業医訪問や逆紹介の支援を行って参りました。

次に令和5年度は、新たな施設基準として、医療情報取得加算、地域医療支援病院入院診療加算地域医療体制確保加算を取得した。

3. 今後の課題

1) 総務課

業務効率化、IT化を推進し、時間外労働の削減が継続課題となっています。医師の働き方改革が施行される為、医師の労働時間打刻の徹底、自己研鑽の整理、外勤の正確な把握などの課題に取り組む予定です。

2) 会計課

電子カルテ更新に向けた準備

令和6年9月の稼働を目指し、関係部署と連携して電子カルテの更新準備を進めていきます。追加で発生する費用については、精査と価格交渉を行うことでムダが発生しないように進めていく方針です。

CT更新の準備

電子カルテの更新と並行して、CTの更新準備も進めます。計画的な準備を行うことでスムーズな更新を目指します。飯塚市の起債を活用することでコスト削減を達成しつつ、最新の医療技術を提供できる体制を整えます。

業務スキル向上の取り組み

課内の業務スキル向上も重要な課題と考えています。前例にとらわれない業務の進め方を導入し、スタッフが新たな経験を積むことでチーム力を強化していきたいと考えています。この取り組みにより、より効率的で効果的な業務遂行を目指し、病院経営に貢献していきます。

3) 医事課

査定率の対策について、特に外来の査定率が高い傾向にあるため病名漏れ対策としてレセプトチェックソフト等のカスタマイズを行い、また診療科毎に査定された理由を明確に分析し、医師とともにどのような詳記を記載すれば復活可能かについて検討したい。債権管理が現状不十分であるため、今後一元化を行い見える化を図る。

地域医療連携室



概要

地域医療連携室所属職員

室長 1 名（院長）、副室長 2 名、
入退院専従看護師 1 名、社会福祉士 5 名（各病棟 1 名）、事務員 3 名

1. 目標及び主な業務内容

地域医療支援病院としての役割が果たせるように、当院の窓口として地域の医療機関・施設との連携を深めること、入外問わず相談を受けることで、地域の人が適切な医療を受けられるようにすることを念頭に業務をおこなっている。主な業務は病床管理、入院調整、入退院支援、受診及び医療福祉相談、発熱外来予約・相談、在宅療養後方支援登録者管理、紹介・逆紹介管理、医療従事者セミナーの企画運営、地域医療連携室ニュースの作成での広報活動、5ブロック地域包括ケアシステム推進委員会拠点病院としての活動である。

<令和5年度目標>

『地域の皆様が安心して暮らせるように地域医療支援病院の窓口としての機能を果たす』

キャッチコピー：当院でよかったと思ってもらえる多職種連携

- 1) 地域医療支援病院の窓口としてスピーディーな受け入れと信頼の持てる対応をおこなうことで、地域の医療機関から更なる信頼を得る（紹介率50%以上、逆紹介率70%以上）
- 2) 多職種による患者・家族の合意が得られる退院を促進する

2. 業務報告

- 1) 地域医療支援病院の窓口としてスピーディーな受け入れと各医療機関から信頼の持てる対応をおこなうため、紹介患者受け入れ用紙の活用の継続と、各科と連携をとり、出来るだけ受け入れ可能となる情報を確認している。ベッドコントロールでは多発していた「満床理由で救急の断りをさせない」を目標に、師長主任の意識改革と毎週入退棟会議と朝のミーティングで、現状の把握と入院予定の病棟変更や、入院患者の病棟間の移動をおこない、満床理由での断りはなくなり、救急患者や発熱患者、COVID-19患者も積極的に受け入れ、医師会からも信頼を得た。受診報告の際に必要な診療情報のFAXをおこない、スピーディーに患者情報が分かるようにした。また、逆紹介を推進した。その結果、紹介率

平均64.3% 逆紹介率82.7%と上昇しただけでなく、全紹介数月平均469件で昨年度より35件増加した。更に各医療機関から信頼を得るため、診療情報提供書の郵送間違いなどあれば、医療機関に謝罪に行く厳しさと、インシデント報告の励行、情報共有等、安全対策を講じ、院内の令和5年度医療安全業務改善報告会で最優秀賞を受賞した。

地域包括ケア推進会議5ブロック活動では認定看護師や特定認定看護師等の協力を得て、積極的に地域包括支援センターと協力し、市民講座の開催や「プチ出前講義」と称し、6施設に出向き、感染対策や褥瘡ケアについて講義し、好評であった。

- 2) 多職種による患者・家族の合意が得られる退院推進については、「入退院支援マニュアル」の作成とMSWの質向上のために症例検討とMSWのラダーを段階に分け作成、新人チェックリストを作成した。また、地域医療連携室が中心となり、多職種で「入退院支援マニュアル」を作成し、全体に周知した。入退院支援加算1取得数は1,238件であった。

3. 今後の課題

紹介数、逆紹介数、救急患者の増加に伴う業務の煩雑化で今後間違いの増加が予測される。本年度は地域医療支援病院としての期待度もあり、紹介患者が増加した可能性と、12月までは選定療養費の増加がなかったため、外来患者の増加もみられた。しかし、今後は紹介患者数と救急患者により外来患者数、入院患者数が影響するため、更に紹介患者の獲得が必要となる。そのため、更に地域の医療機関の信頼度を高める必要がある。また、退院支援数の増加と退院困難事例の増加が予測される。入院前からの患者支援や外来からの支援、病棟での退院支援の強化、地域の医療機関と協力し、病床管理をする必要がある。

4. 業務実績

令和5年度 紹介件数														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
紹介件数	431	395	444	502	495	454	470	476	439	524	518	482	5,630	469.2
初診患者	紹介件数(初診)	313	267	321	371	392	347	357	373	332	381	408	4,211	350.9
	救急搬送件数(初診)	162	168	184	226	249	166	196	167	188	190	192	2,275	189.6
	休日等受診患者(初診)	42	46	45	70	69	63	68	39	73	52	55	688	57.3
	全初診患者数	742	736	853	921	969	803	830	755	805	703	720	9,514	792.8
紹介率 (地域医療支援病院用)														
	58.2%	51.1%	51.4%	59.4%	60.2%	60.5%	63.1%	67.9%	61.0%	82.6%	86.3%	82.3%	64.3%	

令和5年度 逆紹介件数														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
逆紹介件数	462	396	487	476	502	482	448	399	440	458	414	452	5,416	451.3
全初診患者数	742	736	853	921	969	803	830	755	805	703	720	677	9,514	792.8
逆紹介率 (地域医療支援病院用)	85.9%	75.9%	78.0%	76.2%	77.1%	84.0%	79.2%	72.7%	80.9%	99.3%	87.5%	#####	82.7%	
逆紹介率70%まで	86	31	51	39	47	81	52	15	60	136	83	156	837	

診療情報管理室



概要

診療情報管理室（所属） 2 名
 診療情報管理室長補佐：竹内 悠子
 診療情報管理室 1 名

1. 診療情報管理室 目標

診療情報管理室は、患者さんの診療記録を適切に管理・点検し、質を向上させ、そこから得られた診療情報を加工・分析、可視化することで、医療の質の改善等へ繋がるよう日々取り組んでいます。

診療情報管理室の目標

1. 入院診療録の点検（質的点検および量的点検）および定期的な監査を行う
2. 診療録の記載率の向上および内容の充実化を図る

2. 業務報告

主な業務内容は、

1. 診療録および諸記録の貸出および返却
2. 診療録の点検（質的点検・量的点検）業務
3. 退院時要約の管理
4. ICD-10による疾病統計の作成
5. 全国がん登録
6. 診療情報の開示
7. DPC（診断群分類別包括評価）に関する業務
 - （ア）様式1の作成
 - （イ）MDCおよびICD-10のコーディング確認
8. データベース登録
 - （ア）NCD（National Clinical Database）
 - （イ）JOANR（Japanese Orthopaedic Association National Registry）を主に行なっています。

令和5年度の取り組みとして、ISO9001（品質マネジメントシステムに関する国際規格）の維持審査に向け、規程・手順書・様式等の見直しを行い、品質目標とした診療録の記載率も前年比で1.6%の増加に繋がった。

3. 今後の課題と目標

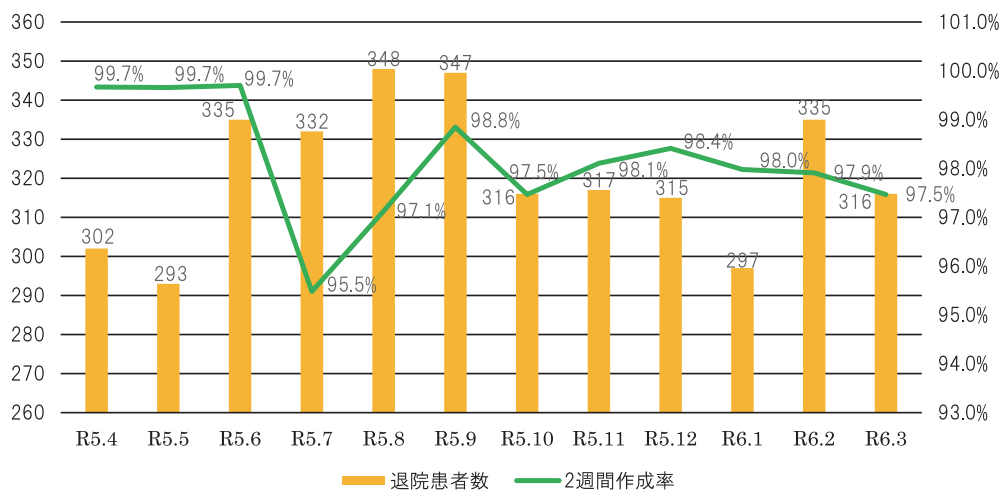
1. 前年度に引き続き、ICD-11(国際疾病分類第11版)/ICHI(医療行為の国際分類)/ICF(国際生活機能分類)の改訂に向けて、知識向上のため学会や研修会への参加を行なう。
2. 2024年6月の診療報酬改定に伴ない、診療録管理体制加算の施設基準の内容を行なう。

4. 業務実績

●令和5年度 退院時要約 2週間以内作成率

	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
退院患者数	302	293	335	332	348	347	316	317	315	297	335	316
2週間作成率(%)	99.7	99.7	99.7	95.5	97.1	98.6	97.5	98.1	98.4	98.0	97.9	97.5

令和5年度 退院時要約 2週間以内作成率



情報システム管理室



概要

情報システム管理室 1名
室長 古川 佐知子

1. 情報システム管理室 目標

2023年度内に電子カルテシステム稼働予定となったため、2022年度と同様の目標となる。

電子カルテシステム更新作業にあたり、問題なくスムーズに完了するように取り組む。

- ①マスタの取りまとめは、旧データを使用し、できるだけ各部署の負担を減らすように工夫する。
- ②運用は、1つの部署へ負担がかからないよう、WG（ワーキング）で話し合い、検討していく。
- ③手順書や議事録等、ドキュメントの管理は、しっかり行い、履歴を残す。
- ④操作研修は、予定を立ててしっかりと行い、業務の混乱を避ける。
- ⑤電子カルテシステムと部門システムが、問題なく連携できるように対応する。
- ⑥データ移行は、職員が困らないように、電子カルテメーカー及び部門システムメーカーと打ち合わせ、提案していく。

2. 業務報告

2023年度は、本部主催のサイバー対策のBCP策定に向けたワークショップへ参加し、サイバー BCPを作成した。

ワークショップは、地域医療振興協会の多くの施設が参加し、チームに分かれて話し合いながら進めていきました。

実際にサイバー攻撃された施設を事例に、復旧までの過程の説明があった。

紙カルテに切替えることを想像した時、紙カルテの時代を知らない医師を含めた職員もいるため、訓練の必要さを感じた。

ワークショップの中で、1年に1回5月末に訓練することや、被害のレベル分け、レベル別に対策本部の設置の有無や判断の方法等も話し合い、サイバー BCPへ取り入れた。

3. 今後の課題と目標

全ての職員が業務を効率的に、また、安全に病院情報システムを運用できることを目指す。

サイバー攻撃対策として、1年に1回5月末に訓練することとし、訓練内容を充実させたい。

実際に攻撃された場合、訓練の有無により、被害の拡大や診療再開までの期間が大きく異なると考えられる。

電子カルテのセキュリティについては、地域医療振興協会 情報システム部 電子カルテ課に相談しながら医療情報システム委員会へ提案していく。



診療統計

■ 主な事業活動

(1) 事業実績

①診療体制の強化

- ・令和4年度より救急部を発足し2年目。救急搬送2,822件受入れ（前年度比+493件）
- ・新型コロナウイルス感染症受入れ、発熱外来の対応を継続して行った
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業を継続して行った
- ・地域医療支援病院の承認を受け、紹介外来制、ふたり主治医制の推進をおこなうことで紹介率、逆紹介率が向上した

②へき地診療所への代診医派遣の実施

③飯塚地区病院群輪番制への参加

④飯塚地区消防本部との救急連絡会の実施

⑤飯塚地区消防署との症例検討会の実施

⑥飯塚地区消防署の救急隊実習受け入れ

⑦筑豊地区消防所属の病院救命士の再教育実習の受入れ

⑧自治医科大学卒業後の地域医療従事指定公立病院として、福岡県より常勤医師2名研修受け入れ

⑨看護学生、リハビリテーション科学生、薬学部学生、管理栄養士学生の臨床実習受け入れ を継続して行い、新規に准看護学生の実習受け入れを新規に開始した。

⑩糖尿病教室の開催 平日院内で実施

⑪看護週間 健康相談等の実施

- ・院内イベント（感染対策について）を実施

⑫地域医療従事者公開セミナーのWeb公開（1回/月）

⑬厚生労働省医政局の医官を招き医師会等関係機関向けの講演会の実施

(2) 保健予防活動の実施

各種予防接種の実施

インフルエンザ等予防接種を実施（令和5年度実績）

- ・インフルエンザ等予防接種：2,703件（うち、インフルエンザ615件）

基本型接種施設として新型コロナワクチン予防接種を実施（令和5年度実績）

- ・新型コロナワクチン接種：1,352件

(3) 施設整備実績

①透析排水槽設置工事	14,830千円
他 41項目 合計	62,888千円
（シート名：別添①参照）	

(4) 医療機器整備

①腹腔鏡システム一式	23,751千円
他 143項目 合計	183,015千円
（シート名：別添②参照）	

(5) その他

敷地内にヘリポートを整備（令和5年度4例の受入れ実績）

入院患者統計

1. 入退院患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.5
延患者数	4,962	5,556	5,694	5,639	6,208	5,468	5,878	5,495	5,730	5,691	5,678	5,802	67,801	5,650.1
1日平均	165.4	179.2	189.8	181.9	200.3	182.3	189.6	183.2	184.8	183.6	195.8	187.2	185.2	-
入院患者数	308	314	311	339	348	333	308	322	282	337	317	302	3,821	318.4
退院患者数	298	283	328	331	346	341	313	314	309	294	330	310	3,797	316.4

2. 科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.5
内科	1,376	1,622	1,883	1,909	2,395	2,268	2,134	1,699	1,702	2,074	2,233	2,173	23,468	1,955.7
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
外科	483	378	434	317	536	427	397	462	565	384	417	468	5,268	439.0
整形外科	2,662	3,054	2,936	2,862	2,790	2,407	2,978	3,048	3,137	2,871	2,706	2,891	34,342	2,861.8
脳神経内科	182	209	246	293	342	169	236	145	219	247	231	204	2,723	226.9
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	136	174	90	118	47	73	24	13	33	36	2	3	749	62.4
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
乳腺外科	52	33	10	23	24	43	59	71	34	26	29	18	422	35.2
皮膚科	19	18	25	62	39	24	1	5	2	0	2	0	197	16.4
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
眼科	52	68	70	55	35	57	49	52	38	53	58	45	632	52.7
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
全科合計	4,962	5,556	5,694	5,639	6,208	5,468	5,878	5,495	5,730	5,691	5,678	5,802	67,801	185.8

3. 科別1日平均患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.5
内科	45.9	52.3	62.8	61.6	77.3	75.6	68.8	54.8	54.9	66.9	77.0	70.1		64.1
小児科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
外科	16.1	12.2	14.5	10.2	17.3	14.2	12.8	14.9	18.2	12.4	14.4	15.1		14.4
整形外科	88.7	98.5	97.9	92.3	90.0	80.2	96.1	98.3	101.2	92.6	93.3	93.3		93.8
神経内科	6.1	6.7	8.2	9.5	11.0	5.6	7.6	4.7	7.1	8.0	8.0	6.6		7.4
脳神経外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
救急科	4.5	5.6	3.0	3.8	1.5	2.4	0.8	0.4	1.1	1.2	0.1	0.1		2.0
呼吸器外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
乳腺外科	1.7	1.1	0.3	0.7	0.8	1.4	1.9	2.3	1.1	0.8	1.0	0.6		1.2
皮膚科	0.6	0.6	0.8	2.0	1.3	0.8	0.0	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0		0.5
泌尿器科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
眼科	1.7	2.2	2.3	1.8	1.1	1.9	1.6	1.7	1.2	1.7	2.0	1.5		1.7
耳鼻咽喉科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
放射線科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
リハビリ科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
全科合計	165.4	179.2	189.8	181.9	200.3	182.3	189.6	183.2	184.8	183.6	195.8	187.2		185.2

4. 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度	R05													合計	月平均
診療科 稼働日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.5	
内科	11.4	14.6	13.9	12.4	14.7	14.1	15.8	15.4	15.0	14.7	15.5	18.4		14.4	
小児科														0.8	
外科	8.4	7.7	8.0	9.1	8.2	7.9	6.6	7.8	7.5	6.6	6.6	8.5		8.9	
整形外科	15.9	19.7	16.4	17.0	12.8	14.0	17.6	13.5	17.9	16.6	14.7	14.2		16.8	
脳神経内科	13.0	20.0	24.4	26.2	25.4	10.4	15.0	20.0	23.3	32.8	26.0	13.3		16.2	
脳神経外科														0.0	
救急科	13.2	9.9	8.2	9.1	6.6	29.2	8.4	5.2	24.0	12.7		2.0		12.5	
呼吸器外科														0.0	
乳腺外科	5.9	4.0	3.3	4.2	2.3	4.8	6.4	6.8	4.2	5.2	4.5	6.0		4.9	
皮膚科	38.0	10.0	7.6	11.6	16.0	10.0	2.0	10.0	2.0					3.5	
泌尿器科														0.0	
眼科	1.0		3.6				0.0	0.0	0.0		1.0			1.1	
耳鼻咽喉科														0.0	
放射線科														0.0	
リハビリ科														0.0	
全科平均在院日数	12.1	14.3	13.4	13.3	12.5	12.6	13.7	12.5	13.6	13.6	12.9	14.4	13.4		
一般病棟平均在院日数 (回復期リハビリテーション病棟、地域包括 ケア病棟を除く)	11.8	14.1	13.2	13.1	12.4	12.5	13.5	12.4	13.5	13.5	12.7	14.3	13.2		

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

5. 地区別入院患者数

年度	R 05															
地区 稼働日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	率	
	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3	(全患者に対する)	
飯塚市	5,411	5,389	5,822	5,498	5,805	5,550	5,737	5,384	5,331	5,013	4,961	4,803	64,704	5,392.0	74.01%	
(旧飯塚市)	2,633	2,561	2,824	2,627	2,887	2,737	2,793	2,703	2,590	2,395	2,422	2,322	31,494	2,624.5	36.02%	
(旧穂波町)	1,841	1,834	1,951	1,907	1,958	1,867	1,941	1,830	1,834	1,767	1,640	1,645	22,015	1,834.6	25.18%	
(旧筑穂町)	532	608	620	568	611	571	573	520	535	484	541	498	6,661	555.1	7.62%	
(旧庄内町)	287	263	292	268	218	248	294	226	264	249	240	239	3,088	257.3	3.53%	
(旧穎田町)	118	123	135	128	131	127	136	105	108	118	118	99	1,446	120.5	1.65%	
嘉麻市	1,038	1,037	1,126	1,183	1,143	1,174	1,078	1,075	1,128	1,013	1,001	1,110	13,106	1,092.2	14.99%	
(旧稲築町)	392	433	432	512	477	482	450	419	436	418	423	472	5,346	445.5	6.11%	
(旧碓井町)	234	238	237	241	247	235	206	233	226	217	201	215	2,730	227.5	3.12%	
(旧嘉穂町)	274	249	310	288	275	307	283	287	320	242	254	285	3,374	281.2	3.86%	
(旧山田市)	138	117	147	142	144	150	139	136	146	136	123	138	1,656	138.0	1.89%	
嘉穂郡	431	491	526	508	609	523	470	488	515	420	467	480	5,928	494.0	6.78%	
桂川町	431	491	526	508	609	523	470	488	515	420	467	480	5,928	494.0	6.78%	
鞍手郡	46	54	61	63	58	69	89	57	66	60	46	65	734	61.2	0.84%	
小竹町	43	52	58	61	54	65	85	56	62	57	45	62	700	58.3	0.80%	
鞍手町	3	2	3	2	4	4	4	1	4	3	1	3	34	2.8	0.04%	
宮若市	42	52	42	42	47	53	45	38	48	45	37	54	545	45.4	0.62%	
(旧宮田町)	26	36	28	27	33	29	34	24	30	29	25	35	356	29.7	0.41%	
(旧若宮町)	16	16	14	15	14	24	11	14	18	16	12	19	189	15.8	0.22%	
田川郡	75	63	51	50	72	44	64	65	60	53	60	58	715	59.6	0.82%	
香春町	8	4	4	5	9	4	18	2	5	3	4	6	72	6.0	0.08%	
添田町	13	12	2	7	4	3	6	12	9	7	5	5	85	7.1	0.10%	
福智町	23	19	27	15	14	17	10	23	18	17	20	17	220	18.3	0.25%	

糸田町	11	6	5	9	18	11	10	11	15	12	12	7	127	10.6	0.15%
川崎町	9	14	9	12	17	7	18	10	9	10	14	12	141	11.8	0.16%
大任町	6	7	3	2	10	2	2	7	4	4	5	11	63	5.3	0.07%
赤村	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0.6	0.01%
糟屋郡	14	16	17	12	15	15	9	16	18	12	18	15	177	14.8	0.20%
宇美町	3	3	1	3	3	1	1	2	0	4	1	1	23	1.9	0.03%
篠栗町	9	11	11	8	6	11	6	8	9	6	7	7	99	8.3	0.11%
志免町	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0.3	0.00%
須恵町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	0.3	0.00%
新宮町	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2	0.00%
久山町	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	7	0.6	0.01%
粕屋町	0	0	3	0	4	2	2	5	7	2	7	6	38	3.2	0.04%
朝倉郡	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4	0.3	0.00%
筑前町	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1	0.00%
東峰村	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0.3	0.00%
直方市	12	15	9	26	26	9	17	21	8	15	13	20	191	15.9	0.22%
田川市	32	28	38	30	36	36	26	21	30	24	22	43	366	30.5	0.42%
北九州市	6	10	16	19	12	15	9	13	13	8	9	13	143	11.9	0.16%
福岡市	16	13	23	15	18	24	33	19	24	17	24	12	238	19.8	0.27%
中間市	0	6	1	2	1	0	0	2	0	1	0	1	14	1.2	0.02%
古賀市	3	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	7	0.6	0.01%
朝倉市	1	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	1	7	0.6	0.01%
久留米市	1	3	1	3	1	4	2	0	3	1	2	2	23	1.9	0.03%
その他県内	19	27	28	22	27	12	21	19	15	17	13	14	234	19.5	0.27%
その他県外	29	27	19	22	30	33	27	24	25	9	19	25	289	24.1	0.33%
合計	7,176	7,231	7,782	7,496	7,902	7,562	7,628	7,245	7,284	6,711	6,692	6,716	87,425	7,285.4	100.0%

6. 性別・年齢別入院患者数

年度 R05

年齢・性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	率
稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3	(全患者に対する)
男性(0～10歳)	105	103	130	105	123	108	95	94	109	68	68	64	1,172	97.7	1.3%
(11～20歳)	66	62	67	70	99	96	110	93	93	53	52	63	924	77.0	1.1%
(21～30歳)	53	64	78	80	86	66	62	53	55	45	59	48	749	62.4	0.9%
(31～40歳)	94	82	96	70	89	91	98	65	73	68	66	104	996	83.0	1.1%
(41～50歳)	134	148	153	150	160	157	189	150	182	174	144	140	1,881	156.8	2.2%
(51～60歳)	268	258	255	275	304	310	271	284	250	233	230	251	3,189	265.8	3.6%
(61～70歳)	598	579	603	541	605	573	589	495	512	508	512	460	6,575	547.9	7.5%
(71～80歳)	1,131	1,118	1,162	1,199	1,235	1,175	1,188	1,157	1,108	1,095	1,055	1,072	13,695	1,141.3	15.7%
(81～90歳)	514	492	535	513	524	476	478	515	536	442	458	462	5,945	495.4	6.8%
(91歳～)	52	58	56	67	56	55	56	55	63	78	73	65	734	61.2	0.8%
男性合計	3,015	2,964	3,135	3,070	3,281	3,107	3,136	2,961	2,981	2,764	2,717	2,729	35,860	2,988.3	41.0%
女性(0～10歳)	79	116	120	109	119	79	86	74	104	62	57	52	1,057	88.1	1.2%
(11～20歳)	36	47	64	62	88	48	51	37	65	41	31	55	625	52.1	0.7%
(21～30歳)	41	45	67	53	71	37	35	34	42	59	41	47	572	47.7	0.7%
(31～40歳)	72	73	84	101	84	90	82	79	98	72	67	60	962	80.2	1.1%
(41～50歳)	179	194	185	182	241	184	199	181	185	171	180	190	2,271	189.3	2.6%
(51～60歳)	310	291	330	341	330	306	341	306	342	235	285	263	3,680	306.7	4.2%
(61～70歳)	757	694	806	768	799	839	880	790	769	720	746	693	9,261	771.8	10.6%
(71～80歳)	1,525	1,584	1,716	1,567	1,608	1,619	1,642	1,597	1,533	1,494	1,484	1,468	18,837	1,569.8	21.5%
(81～90歳)	955	1,027	1,056	1,030	1,078	1,066	970	999	975	905	900	987	11,948	995.7	13.7%
(91歳～)	207	196	219	213	203	187	206	187	190	188	184	172	2,352	196.0	2.7%
女性合計	4,161	4,267	4,647	4,426	4,621	4,455	4,492	4,284	4,303	3,947	3,975	3,987	51,565	4,297.1	59.0%
合計	7,176	7,231	7,782	7,496	7,902	7,562	7,628	7,245	7,284	6,711	6,692	6,716	87,425	7,285	100.0%

7. 病棟別患者数

年度 R05

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.5
4階病棟 (50)	871	845	1,001	1,003	1,238	1,131	1,042	1,032	1,021	1,058	1,064	1,080	12,386	1,032.2
5階病棟 (50)	1,343	1,479	1,327	1,386	1,432	1,146	1,438	1,389	1,404	1,358	1,266	1,424	16,392	1,366.0
6階病棟 (50)	1,090	1,210	1,172	1,194	1,143	1,084	1,261	1,112	1,175	1,153	1,092	1,110	13,796	1,149.7
7階病棟 (50)	651	821	937	948	1,088	951	948	842	938	1,096	1,063	1,086	11,369	947.4
8階病棟 (50)	1,007	1,201	1,257	1,108	1,307	1,156	1,189	1,120	1,192	1,026	1,193	1,102	13,858	1,154.8
合計	4,962	5,556	5,694	5,639	6,208	5,468	5,878	5,495	5,730	5,691	5,678	5,802	67,801	5,650.1

※ () は許可病床数

8. 病棟別1日平均患者数

年度 R05

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.4
4階病棟 (50)	29.0	27.3	33.4	32.4	39.9	37.7	33.6	34.4	32.9	34.1	36.7	34.8		33.8
5階病棟 (50)	44.8	47.7	44.2	44.7	46.2	38.2	46.4	46.3	45.3	43.8	43.7	45.9		44.8
6階病棟 (50)	36.3	39.0	39.1	38.5	36.9	36.1	40.7	37.1	37.9	37.2	37.7	35.8		37.7
7階病棟 (50)	21.7	26.5	31.2	30.6	35.1	31.7	30.6	28.1	30.3	35.4	36.7	35.0		31.1
8階病棟 (50)	33.6	38.7	41.9	35.7	42.2	38.5	38.4	37.3	38.5	33.1	41.1	35.5		37.9
全病棟 (250)	165.4	179.2	189.8	181.9	200.3	182.3	189.6	183.2	184.8	183.6	195.8	187.2		185.2
全病棟平均	33.1	35.8	38.0	36.4	40.1	36.5	37.9	36.6	37.0	36.7	39.2	37.4		37.1
一般病棟 (150)	87.1	92.8	103.7	101.5	111.9	105.5	104.9	99.5	101.1	106.7	111.0	105.7		102.6

※ () は許可病床数

9. 病棟別平均在院日数

年度 R05

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
4階病棟 (50)	9.8	8.9	9.4	10.0	10.0	10.2	9.5	9.9	9.6	9.9	9.1	12.5		9.9
5階病棟 (50)	31.2	41.2	35.8	42.6	35.9	28.3	37.5	39.0	35.4	37.4	32.2	37.1		35.9
6階病棟 (50)	15.2	19.0	16.3	16.8	12.5	14.3	17.7	13.3	17.9	16.0	14.1	13.8		15.5
7階病棟 (50)	10.5	17.0	15.5	13.3	16.1	14.0	16.2	16.1	15.3	16.8	17.5	17.7		15.5
8階病棟 (50)	14.1	17.6	16.7	14.2	16.3	15.8	17.4	15.4	19.9	15.4	15.9	15.3		16.1
全病棟 (250)	11.8	14.1	13.2	13.1	12.4	12.5	13.5	12.4	13.5	13.5	12.7	14.3		13.1
全病棟平均	14.9	18.2	16.5	16.3	15.7	15.1	17.2	16.0	17.3	16.5	15.6	17.1		16.3
一般病棟 (150)	93.7	88.4	88.9	83.4	103.8	103.0	88.5	97.8	106.4	107.5	93.8	90.2		95.5

※ () は許可病床数

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より5階病棟は、回復期リハビリテーション病棟として届け出たため、一般病棟平均在院日数より外す。

10. 病棟別平均病床利用率

年度 R05

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.4
4階病棟 (50)	58.1%	54.5%	66.7%	64.7%	79.9%	75.4%	67.2%	68.8%	65.9%	68.3%	73.4%	69.7%		75.4%
5階病棟 (50)	89.5%	95.4%	88.5%	89.4%	92.4%	76.4%	92.8%	92.6%	90.6%	87.6%	87.3%	91.9%		82.1%
6階病棟 (50)	72.7%	78.1%	78.1%	77.0%	73.7%	72.3%	81.4%	74.1%	75.8%	74.4%	75.3%	71.6%		75.7%
7階病棟 (50)	43.4%	53.0%	62.5%	61.2%	70.2%	63.4%	61.2%	56.1%	60.5%	70.7%	73.3%	70.1%		370.5%
8階病棟 (50)	67.1%	77.5%	83.8%	71.5%	84.3%	77.1%	76.7%	74.7%	76.9%	66.2%	82.3%	71.1%		0.0%
全病棟平均病床利用率	66.2%	71.7%	75.9%	72.8%	80.1%	72.9%	75.8%	73.3%	73.9%	73.4%	78.3%	74.9%		0.0%
一般病棟利用率 (150)	58.0%	61.8%	69.1%	67.6%	74.6%	70.4%	69.9%	66.4%	67.4%	71.1%	74.0%	70.5%		3.9%
全病棟平均病床稼働率	70.1%	75.3%	80.3%	77.0%	84.6%	77.5%	79.9%	77.5%	77.9%	77.2%	82.9%	78.9%		78.3%

※ () は許可病床数

外来部門（他科診患者除く）

1. 外来患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
延患者数	7,176	7,231	7,782	7,496	7,902	7,562	7,628	7,245	7,284	6,711	6,692	6,716	87,425	7,285.4
1日平均	358.8	361.6	353.7	374.8	359.2	378.1	363.2	362.3	364.2	353.2	352.2	335.8	359.8	-
新規患者数	256	277	290	333	368	274	282	257	268	228	251	251	3,335	277.9
初診患者数	849	871	1,069	1,099	1,153	974	1,038	920	952	796	823	747	11,291	940.9
再来患者数	6,327	6,360	6,713	6,397	6,749	6,588	6,590	6,325	6,332	5,915	5,869	5,969	76,134	6,344.5

※外来延患者数に入院中他科診患者数は**含まれません**。

※新規患者数とは、新たにIDを取った患者

2. 科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	1,568	1,502	1,545	1,625	1,693	1,445	1,517	1,401	1,497	1,430	1,343	1,349	17,915	1,492.9
（内科入院中外来）	101	29	28	31	38	32	37	37	28	39	31	27	458	38.2
小児科	94	116	160	147	121	122	133	108	104	63	72	45	1,285	107.1
（小児科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
外科	408	509	573	461	498	566	554	577	526	449	417	475	6,013	501.1
（外科入院中外来）	4	2	3	1	4	0	2	2	1	2	2	4	27	2.3
整形外科	1,836	1,855	1,930	1,912	1,989	1,926	1,935	1,855	1,784	1,710	1,687	1,708	22,127	1,843.9
（整形外科入院中外来）	5	12	15	8	18	20	8	11	15	12	5	6	135	11.3
脳神経内科	128	126	142	131	144	136	137	141	146	119	145	111	1,606	133.8
（脳神経内科入院中外来）	1	2	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0	10	0.8
脳神経外科	26	33	18	27	38	22	46	37	26	30	29	30	362	30.2
（脳神経外科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4	0.3
救急科	61	43	71	66	60	51	68	44	52	44	73	57	690	57.5
（救急科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
呼吸器外科	22	14	16	13	18	22	19	19	19	15	17	27	221	18.4
（呼吸器外科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	0.3
乳腺外科	144	126	144	200	246	226	228	218	202	164	206	191	2,295	191.3
（乳腺外科入院中外来）	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4	0.3
皮膚科	681	751	811	761	862	773	758	746	742	666	690	584	8,825	735.4
（皮膚科入院中外来）	17	33	25	36	36	35	30	25	27	30	26	15	335	27.9
泌尿器科	99	110	108	104	114	108	111	102	125	104	115	105	1,305	108.8
（泌尿器科入院中外来）	13	22	22	13	16	4	20	22	18	9	23	24	206	17.2
眼科	1,446	1,429	1,583	1,456	1,453	1,476	1,462	1,393	1,455	1,341	1,342	1,388	17,224	1,435.3
（眼科入院中外来）	9	9	7	6	2	5	5	10	10	11	11	4	89	7.4
耳鼻咽喉科	233	232	239	231	236	256	239	252	252	208	199	230	2,807	233.9
（耳鼻咽喉科入院中外来）	5	11	11	8	10	9	11	9	8	8	7	10	107	8.9
リハビリ科	351	313	344	276	346	346	317	241	260	261	251	304	3,610	300.8
（リハビリ科入院中外来）	1,707	2,199	2,371	1,991	2,503	2,199	2,471	2,237	2,327	2,186	2,480	2,256	26,927	2,243.9
放射線科	78	68	95	85	83	87	103	111	94	107	106	112	1,129	94.1
（放射線科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1
医療相談	1	4	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	11	0.9
全科合計 （入院中他科診患者を含む）	9,038	9,551	10,265	9,593	10,530	9,867	10,213	9,600	9,721	9,008	9,281	9,064	115,731	9,644.3
入院中他科診患者合計	1,862	2,320	2,483	2,097	2,628	2,305	2,585	2,355	2,437	2,297	2,589	2,348	28,306	2,359
入院中他科診患者を除く合計	7,176	7,231	7,782	7,496	7,902	7,562	7,628	7,245	7,284	6,711	6,692	6,716	87,425	7,285
アンチエイジング	22	45	46	46	48	36	43	38	43	35	42	28	472	39.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を**除いています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

3. 科別1日平均患者数

年度	R05														
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
内科	78.4	75.1	70.2	81.3	77.0	72.3	72.2	70.1	74.9	75.3	70.7	67.5		83.9	
小児科	4.7	5.8	7.3	7.4	5.5	6.1	6.3	5.4	5.2	3.3	3.8	2.3		6.3	
外科	20.4	25.5	26.0	23.1	22.6	28.3	26.4	28.9	26.3	23.6	21.9	23.8		24.8	
整形外科	91.8	92.8	87.7	95.6	90.4	96.3	92.1	92.8	89.2	90.0	88.8	85.4		99.3	
脳神経内科	10.7	9.7	10.9	10.9	10.3	12.4	10.5	11.8	12.2	9.9	12.1	9.3		10.7	
脳神経外科	6.5	6.6	4.5	6.8	9.5	7.3	11.5	9.3	6.5	10.0	9.7	7.5		9.1	
救急科	3.1	2.2	3.2	3.3	2.7	2.6	3.2	2.2	2.6	2.3	3.8	2.9		2.6	
呼吸器外科	5.5	4.7	3.2	3.3	6.0	4.4	4.8	6.3	4.8	3.8	4.3	5.4		5.3	
乳腺外科	36.0	42.0	28.8	50.0	49.2	56.5	57.0	54.5	50.5	41.0	41.2	47.8		30.7	
皮膚科	34.1	37.6	36.9	38.1	39.2	38.7	36.1	37.3	37.1	35.1	36.3	29.2		35.0	
泌尿器科	8.3	8.5	8.3	8.7	8.1	9.8	8.5	8.5	10.4	8.7	9.6	8.8		8.5	
眼科	72.3	71.5	72.0	72.8	66.0	73.8	69.6	69.7	72.8	70.6	70.6	69.4		72.0	
耳鼻咽喉科	19.4	21.1	17.1	19.3	18.2	19.7	18.4	22.9	21.0	17.3	16.6	17.7		17.1	
リハビリ科	17.6	15.7	15.6	13.8	15.7	17.3	15.1	12.1	13.0	13.7	13.2	15.2		16.8	
放射線科	3.9	3.4	4.3	4.3	3.8	4.4	4.9	5.6	4.7	5.6	5.6	5.6		3.2	
医療相談	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
アンチエイジング	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

4. 科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
小児科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
外科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
整形外科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
脳神経内科	12	13	13	12	14	11	13	12	12	12	12	12	148	12.3
脳神経外科	4	5	4	4	4	3	4	4	4	3	3	4	46	3.8
救急科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
呼吸器外科	4	3	5	4	3	5	4	3	4	4	4	5	48	4.0
乳腺外科	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4	50	4.2
皮膚科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
泌尿器科	12	13	13	12	14	11	13	12	12	12	12	12	148	12.3
眼科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
耳鼻咽喉科	12	11	14	12	13	13	13	11	12	12	12	13	148	12.3
リハビリ科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
放射線科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
医療相談	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
アンチエイジング	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

5. 科別初診患者数

年度	R05														
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
内科	190	196	225	289	306	192	204	182	232	212	185	186	2,599	216.6	
小児科	5	6	6	5	4	4	5	8	5	6	6	7	67	5.6	
外科	33	40	62	60	37	60	59	44	31	17	17	13	473	39.4	
整形外科	55	66	86	61	60	79	68	74	76	58	43	52	778	64.8	
脳神経内科	191	175	192	203	211	168	219	172	168	166	159	133	2,157	179.8	
脳神経外科	6	3	3	5	8	5	10	7	7	4	3	6	67	5.6	
救急科	55	38	65	63	58	43	61	42	46	41	69	52	633		
呼吸器外科	0	0	2	0	1	3	1	0	0	1	1	3	12	1.0	
乳腺外科	23	10	28	62	80	43	47	41	31	17	31	21	434	36.2	
皮膚科	99	130	144	140	152	127	122	95	112	62	86	63	1,332	111.0	
泌尿器科	9	13	12	13	14	18	11	14	17	13	12	11	157	13.1	
眼科	63	72	99	67	90	87	82	87	77	65	68	53	910	75.8	
耳鼻咽喉科	48	55	54	46	50	63	46	44	57	28	37	34	562	46.8	
リハビリ科	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	7	0.6	
放射線科	70	61	89	84	82	82	101	109	93	106	105	112	1,094	91.2	
医療相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
全科合計	848	867	1,067	1,098	1,153	974	1,037	920	952	796	823	747	11,282	940.2	

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

6. 地区別外来患者数

年度	R05														
地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	率
稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3	(全患者に対する)
飯塚市	5,411	5,389	5,822	5,498	5,805	5,550	5,737	5,384	5,331	5,013	4,961	4,803	64,704	5,392.0	74.01%
(旧飯塚市)	2,633	2,561	2,824	2,627	2,887	2,737	2,793	2,703	2,590	2,395	2,422	2,322	31,494	2,624.5	36.02%
(旧穂波町)	1,841	1,834	1,951	1,907	1,958	1,867	1,941	1,830	1,834	1,767	1,640	1,645	22,015	1,834.6	25.18%
(旧筑穂町)	532	608	620	568	611	571	573	520	535	484	541	498	6,661	555.1	7.62%
(旧庄内町)	287	263	292	268	218	248	294	226	264	249	240	239	3,088	257.3	3.53%
(旧穎田町)	118	123	135	128	131	127	136	105	108	118	118	99	1,446	120.5	1.65%
嘉麻市	1,038	1,037	1,126	1,183	1,143	1,174	1,078	1,075	1,128	1,013	1,001	1,110	13,106	1,092.2	14.99%
(旧稲築町)	392	433	432	512	477	482	450	419	436	418	423	472	5,346	445.5	6.11%
(旧碓井町)	234	238	237	241	247	235	206	233	226	217	201	215	2,730	227.5	3.12%
(旧嘉穂町)	274	249	310	288	275	307	283	287	320	242	254	285	3,374	281.2	3.86%
(旧山田市)	138	117	147	142	144	150	139	136	146	136	123	138	1,656	138.0	1.89%
嘉穂郡	431	491	526	508	609	523	470	488	515	420	467	480	5,928	494.0	6.78%
桂川町	431	491	526	508	609	523	470	488	515	420	467	480	5,928	494.0	6.78%
鞍手郡	46	54	61	63	58	69	89	57	66	60	46	65	734	61.2	0.84%
小竹町	43	52	58	61	54	65	85	56	62	57	45	62	700	58.3	0.80%
鞍手町	3	2	3	2	4	4	4	1	4	3	1	3	34	2.8	0.04%
宮若市	42	52	42	42	47	53	45	38	48	45	37	54	545	45.4	0.62%
(旧宮田町)	26	36	28	27	33	29	34	24	30	29	25	35	356	29.7	0.41%
(旧若宮町)	16	16	14	15	14	24	11	14	18	16	12	19	189	15.8	0.22%
田川郡	75	63	51	50	72	44	64	65	60	53	60	58	715	59.6	0.82%
香春町	8	4	4	5	9	4	18	2	5	3	4	6	72	6.0	0.08%
添田町	13	12	2	7	4	3	6	12	9	7	5	5	85	7.1	0.10%
福智町	23	19	27	15	14	17	10	23	18	17	20	17	220	18.3	0.25%
糸田町	11	6	5	9	18	11	10	11	15	12	12	7	127	10.6	0.15%
川崎町	9	14	9	12	17	7	18	10	9	10	14	12	141	11.8	0.16%
大任町	6	7	3	2	10	2	2	7	4	4	5	11	63	5.3	0.07%
赤村	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0.6	0.01%
糟屋郡	14	16	17	12	15	15	9	16	18	12	18	15	177	14.8	0.20%

宇美町	3	3	1	3	3	1	1	2	0	4	1	1	23	1.9	0.03%
篠栗町	9	11	11	8	6	11	6	8	9	6	7	7	99	8.3	0.11%
志免町	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0.3	0.00%
須恵町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	0.3	0.00%
新宮町	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2	0.00%
久山町	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	7	0.6	0.01%
粕屋町	0	0	3	0	4	2	2	5	7	2	7	6	38	3.2	0.04%
朝倉郡	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4	0.3	0.00%
筑前町	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1	0.00%
東峰村	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0.3	0.00%
直方市	12	15	9	26	26	9	17	21	8	15	13	20	191	15.9	0.22%
田川市	32	28	38	30	36	36	26	21	30	24	22	43	366	30.5	0.42%
北九州市	6	10	16	19	12	15	9	13	13	8	9	13	143	11.9	0.16%
福岡市	16	13	23	15	18	24	33	19	24	17	24	12	238	19.8	0.27%
中間市	0	6	1	2	1	0	0	2	0	1	0	1	14	1.2	0.02%
古賀市	3	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	7	0.6	0.01%
朝倉市	1	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	1	7	0.6	0.01%
久留米市	1	3	1	3	1	4	2	0	3	1	2	2	23	1.9	0.03%
その他県内	19	27	28	22	27	12	21	19	15	17	13	14	234	19.5	0.27%
その他県外	29	27	19	22	30	33	27	24	25	9	19	25	289	24.1	0.33%
合計	7,176	7,231	7,782	7,496	7,902	7,562	7,628	7,245	7,284	6,711	6,692	6,716	87,425	7,285.4	100.0%

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれていません。

7. 性別・年齢別外来患者数

年度 R05

年齢・性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	率
稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3	(全患者に対する)
男性(0～10歳)	105	103	130	105	123	108	95	94	109	68	68	64	1,172	97.7	1.3%
(11～20歳)	66	62	67	70	99	96	110	93	93	53	52	63	924	77.0	1.1%
(21～30歳)	53	64	78	80	86	66	62	53	55	45	59	48	749	62.4	0.9%
(31～40歳)	94	82	96	70	89	91	98	65	73	68	66	104	996	83.0	1.1%
(41～50歳)	134	148	153	150	160	157	189	150	182	174	144	140	1,881	156.8	2.2%
(51～60歳)	268	258	255	275	304	310	271	284	250	233	230	251	3,189	265.8	3.6%
(61～70歳)	598	579	603	541	605	573	589	495	512	508	512	460	6,575	547.9	7.5%
(71～80歳)	1,131	1,118	1,162	1,199	1,235	1,175	1,188	1,157	1,108	1,095	1,055	1,072	13,695	1,141.3	15.7%
(81～90歳)	514	492	535	513	524	476	478	515	536	442	458	462	5,945	495.4	6.8%
(91歳～)	52	58	56	67	56	55	56	55	63	78	73	65	734	61.2	0.8%
男性合計	3,015	2,964	3,135	3,070	3,281	3,107	3,136	2,961	2,981	2,764	2,717	2,729	35,860	2,988.3	41.0%
女性(0～10歳)	79	116	120	109	119	79	86	74	104	62	57	52	1,057	88.1	1.2%
(11～20歳)	36	47	64	62	88	48	51	37	65	41	31	55	625	52.1	0.7%
(21～30歳)	41	45	67	53	71	37	35	34	42	59	41	47	572	47.7	0.7%
(31～40歳)	72	73	84	101	84	90	82	79	98	72	67	60	962	80.2	1.1%
(41～50歳)	179	194	185	182	241	184	199	181	185	171	180	190	2,271	189.3	2.6%
(51～60歳)	310	291	330	341	330	306	341	306	342	235	285	263	3,680	306.7	4.2%
(61～70歳)	757	694	806	768	799	839	880	790	769	720	746	693	9,261	771.8	10.6%
(71～80歳)	1,525	1,584	1,716	1,567	1,608	1,619	1,642	1,597	1,533	1,494	1,484	1,468	18,837	1,569.8	21.5%
(81～90歳)	955	1,027	1,056	1,030	1,078	1,066	970	999	975	905	900	987	11,948	995.7	13.7%
(91歳～)	207	196	219	213	203	187	206	187	190	188	184	172	2,352	196.0	2.7%
女性合計	4,161	4,267	4,647	4,426	4,621	4,455	4,492	4,284	4,303	3,947	3,975	3,987	51,565	4,297.1	59.0%
合計	7,176	7,231	7,782	7,496	7,902	7,562	7,628	7,245	7,284	6,711	6,692	6,716	87,425	7,285.4	100.0%

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

外来部門（他科診患者を含む）

1. 外来患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
延患者数	9,038	9,551	10,265	9,593	10,530	9,867	10,213	9,600	9,721	9,008	9,281	9,064	115,731	9,644.3
1日平均	451.9	477.6	466.6	479.7	478.6	493.4	486.3	480.0	486.1	474.1	488.5	453.2	476.3	—
新規患者数	256	277	290	333	368	274	282	257	268	228	251	251	3,335	277.9
初診患者数	849	871	1,069	1,099	1,153	974	1,038	920	952	796	823	747	11,291	940.9
再来患者数	8,189	8,680	9,196	8,494	9,377	8,893	9,175	8,680	8,769	8,212	8,458	8,317	104,440	8,703.3

※外来延患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※新規患者数とは、新たにIDを取った患者

2. 科別患者数

年度 R05

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	1,669	1,531	1,573	1,656	1,731	1,477	1,554	1,438	1,525	1,469	1,374	1,376	18,373	1,531.1
（内科入院中外来）	101	29	28	31	38	32	37	37	28	39	31	27	458	38.2
小児科	94	116	160	147	121	122	133	108	104	63	72	45	1,285	107.1
（小児科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
外科	412	511	576	462	502	566	556	579	527	451	419	479	6,040	503.3
（外科入院中外来）	4	2	3	1	4	0	2	2	1	2	2	4	27	2.3
整形外科	1,841	1,867	1,945	1,920	2,007	1,946	1,943	1,866	1,799	1,722	1,692	1,714	22,262	1,855.2
（整形外科入院中外来）	5	12	15	8	18	20	8	11	15	12	5	6	135	11.3
脳神経内科	129	128	143	133	145	137	138	142	146	119	145	111	1,616	134.7
（脳神経内科入院中外来）	1	2	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0	10	0.8
脳神経外科	26	33	18	27	38	22	46	37	27	30	30	32	366	30.5
（脳神経外科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4	0.3
救急科	61	43	71	66	60	51	68	44	52	44	73	57	690	57.5
（救急科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
呼吸器外科	22	14	16	13	18	22	19	20	20	15	18	27	224	18.7
（呼吸器外科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	0.3
乳腺外科	144	127	144	201	246	226	228	218	203	164	207	191	2,299	191.6
（乳腺外科入院中外来）	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4	0.3
皮膚科	698	784	836	797	898	808	788	771	769	696	716	599	9,160	763.3
（皮膚科入院中外来）	17	33	25	36	36	35	30	25	27	30	26	15	335	27.9
泌尿器科	112	132	130	117	130	112	131	124	143	113	138	129	1,511	125.9
（泌尿器科入院中外来）	13	22	22	13	16	4	20	22	18	9	23	24	206	17.2
眼科	1,455	1,438	1,590	1,462	1,455	1,481	1,467	1,403	1,465	1,352	1,353	1,392	17,313	1,442.8
（眼科入院中外来）	9	9	7	6	2	5	5	10	10	11	11	4	89	7.4
耳鼻咽喉科	238	243	250	239	246	265	250	261	260	216	206	240	2,914	242.8
（耳鼻咽喉科入院中外来）	5	11	11	8	10	9	11	9	8	8	7	10	107	8.9
リハビリ科	2,058	2,512	2,715	2,267	2,849	2,545	2,788	2,478	2,587	2,447	2,731	2,560	30,537	2,544.8
（リハビリ科入院中外来）	1,707	2,199	2,371	1,991	2,503	2,199	2,471	2,237	2,327	2,186	2,480	2,256	26,927	2,243.9
放射線科	78	68	95	85	83	87	103	111	94	107	107	112	1,130	94.2
（放射線科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1
医療相談	1	4	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	11	0.9
全科合計 （入院中他科診患者を含む）	9,038	9,551	10,265	9,593	10,530	9,867	10,213	9,600	9,721	9,008	9,281	9,064	115,731	9,644.3
入院中他科診患者合計	1,862	2,320	2,483	2,097	2,628	2,305	2,585	2,355	2,437	2,297	2,589	2,348	28,306	2,359
入院中他科診患者を除く合計	7,176	7,231	7,782	7,496	7,902	7,562	7,628	7,245	7,284	6,711	6,692	6,716	87,425	7,285
アンチエイジング	22	45	46	46	48	36	43	38	43	35	42	28	472	39.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

3. 科別1日平均患者数

年度	R05														
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3	
内科	83.5	76.6	71.5	82.8	78.7	73.9	74.0	71.9	76.3	77.3	72.3	68.8		75.6	
小児科	4.7	5.8	7.3	7.4	5.5	6.1	6.3	5.4	5.2	3.3	3.8	2.3		5.3	
外科	20.6	25.6	26.2	23.1	22.8	28.3	26.5	29.0	26.4	23.7	22.1	24.0		24.9	
整形外科	92.1	93.4	88.4	96.0	91.2	97.3	92.5	93.3	90.0	90.6	89.1	85.7		91.6	
脳神経内科	10.8	9.8	11.0	11.1	10.4	12.5	10.6	11.8	12.2	9.9	12.1	9.3		0.9	
脳神経外科	6.5	6.6	4.5	6.8	9.5	7.3	11.5	9.3	6.8	10.0	10.0	8.0		8.0	
救急科	3.1	2.2	3.2	3.3	2.7	2.6	3.2	2.2	2.6	2.3	3.8	2.9		2.8	
呼吸器外科	5.5	4.7	3.2	3.3	6.0	4.4	4.8	6.7	5.0	3.8	4.5	5.4		4.7	
乳腺外科	36.0	42.3	28.8	50.3	49.2	56.5	57.0	54.5	50.8	41.0	41.4	47.8		46.0	
皮膚科	34.9	39.2	38.0	39.9	40.8	40.4	37.5	38.6	38.5	36.6	37.7	30.0		37.7	
泌尿器科	9.3	10.2	10.0	9.8	9.3	10.2	10.1	10.3	11.9	9.4	11.5	10.8		10.2	
眼科	72.8	71.9	72.3	73.1	66.1	74.1	69.9	70.2	73.3	71.2	71.2	69.6		71.2	
耳鼻咽喉科	19.8	22.1	17.9	19.9	18.9	20.4	19.2	23.7	21.7	18.0	17.2	18.5		19.7	
リハビリ科	102.9	125.6	123.4	113.4	129.5	127.3	132.8	123.9	129.4	128.8	143.7	128.0		125.7	
放射線科	3.9	3.4	4.3	4.3	3.8	4.4	4.9	5.6	4.7	5.6	5.6	5.6		4.7	
医療相談	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
アンチエイジング	1.1	2.3	2.1	2.3	2.2	1.8	2.0	1.9	2.2	1.8	2.2	1.4	1.9		

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

4. 科別診療実日数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
小児科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
外科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
整形外科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
脳神経内科	12	13	13	12	14	11	13	12	12	12	12	12	148	12.3
脳神経外科	4	5	4	4	4	3	4	4	4	3	3	4	46	3.8
救急科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
呼吸器外科	4	3	5	4	3	5	4	3	4	4	4	5	48	4.0
乳腺外科	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4	50	1.5
皮膚科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
泌尿器科	12	13	13	12	14	11	13	12	12	12	12	12	148	12.3
眼科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
耳鼻咽喉科	12	11	14	12	13	13	13	11	12	12	12	13	148	12.3
リハビリ科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
放射線科	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
医療相談	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
アンチエイジング	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

5. 科別初診患者数

年度	R05													
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
内科	191	196	225	291	306	192	206	182	233	212	186	188	2,608	217.3
小児科	5	6	6	5	4	4	5	8	5	6	6	7	67	5.6
外科	33	40	62	60	37	60	59	44	31	18	17	13	474	39.5
整形外科	57	66	86	62	62	79	69	75	76	59	43	52	786	65.5
脳神経内科	191	175	192	203	211	168	219	172	168	166	159	133	2,157	179.8
脳神経外科	6	3	3	5	8	5	10	7	7	4	3	6	67	5.6
救急科	55	38	65	63	58	43	61	42	46	41	69	52	633	
呼吸器外科	0	0	2	0	1	3	1	0	0	1	1	3	12	1.0
乳腺外科	23	10	28	62	80	43	47	41	31	17	31	21	434	36.2
皮膚科	99	132	144	140	153	127	127	95	114	63	86	63	1,343	111.9
泌尿器科	9	13	12	13	16	18	11	16	18	13	14	11	164	13.7
眼科	63	72	99	67	90	87	82	87	78	66	68	53	912	76.0
耳鼻咽喉科	48	55	54	46	50	63	48	45	57	28	38	34	566	47.2
リハビリ科	83	89	89	86	94	88	91	93	78	94	99	89	1,073	89.4
放射線科	70	61	89	84	82	82	101	109	93	106	105	112	1,094	91.2
医療相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
全科合計	933	956	1,156	1,187	1,252	1,062	1,137	1,016	1,035	894	925	837	12,390	1,032.5

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

6. 地区別外来患者数

年度	R 05														
地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	率
稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3	(全患者に対する)
飯塚市	6,718	6,978	7,600	7,066	7,655	7,249	7,485	7,069	6,976	6,605	6,825	6,429	84,655	7,054.6	73.15%
(旧飯塚市)	3,532	3,624	3,939	3,614	3,778	3,740	3,798	3,816	3,627	3,275	3,536	3,190	43,469	3,622.4	37.56%
(旧穂波町)	2,070	2,117	2,302	2,265	2,573	2,289	2,232	2,010	2,065	2,171	2,087	1,944	26,125	2,177.1	22.57%
(旧筑穂町)	627	746	779	685	799	717	826	712	765	666	678	677	8,677	723.1	7.50%
(旧庄内町)	319	326	422	324	276	295	369	327	361	333	324	394	4,070	339.2	3.52%
(旧穎田町)	170	165	158	178	229	208	260	204	158	160	200	224	2,314	192.8	2.00%
嘉麻市	1,265	1,376	1,563	1,478	1,651	1,572	1,516	1,437	1,586	1,406	1,400	1,552	17,802	1,483.5	15.38%
(旧稲築町)	492	559	604	618	637	615	638	607	615	585	542	686	7,198	599.8	6.22%
(旧碓井町)	281	298	296	293	331	351	350	304	291	311	369	316	3,791	315.9	3.28%
(旧嘉穂町)	333	334	436	389	464	403	342	343	434	302	321	349	4,450	370.8	3.85%
(旧山田市)	159	185	227	178	219	203	186	183	246	208	168	201	2,363	196.9	2.04%
嘉穂郡	580	675	687	668	758	646	688	645	695	593	584	620	7,839	653.3	6.77%
桂川町	580	675	687	668	758	646	688	645	695	593	584	620	7,839	653.3	6.77%
鞍手郡	73	85	68	63	58	76	148	111	107	81	83	96	1,049	87.4	0.91%
小竹町	70	83	65	61	54	65	118	109	103	78	82	93	981	81.8	0.85%
鞍手町	3	2	3	2	4	11	30	2	4	3	1	3	68	5.7	0.06%
宮若市	64	85	71	68	61	60	60	45	48	60	61	63	746	62.2	0.64%
(旧宮田町)	48	67	29	27	35	36	48	31	30	37	49	44	481	40.1	0.42%
(旧若宮町)	16	18	42	41	26	24	12	14	18	23	12	19	265	22.1	0.23%
田川郡	150	127	74	59	117	83	95	86	122	73	104	104	1,194	99.5	1.03%
香春町	30	30	5	5	18	6	23	2	5	3	6	20	153	12.8	0.13%
添田町	13	12	2	7	13	3	6	12	25	7	5	5	110	9.2	0.10%
福智町	54	37	48	24	24	38	35	23	38	30	40	48	439	36.6	0.38%
糸田町	11	6	5	9	35	16	10	11	15	12	12	7	149	12.4	0.13%
川崎町	31	34	10	12	17	18	19	31	35	17	14	12	250	20.8	0.22%
大任町	6	7	3	2	10	2	2	7	4	4	12	12	71	5.9	0.06%
赤村	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	15	0	22	1.8	0.02%

糟屋郡	15	16	27	19	15	15	9	16	18	12	18	15	195	16.3	0.17%
宇美町	3	3	1	3	3	1	1	2	0	4	1	1	23	1.9	0.02%
篠栗町	9	11	11	8	6	11	6	8	9	6	7	7	99	8.3	0.09%
志免町	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0.3	0.00%
須恵町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4		0.00%
新宮町	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3	0.00%
久山町	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	7	0.6	0.01%
粕屋町	0	0	13	7	4	2	2	5	7	2	7	6	55	4.6	0.05%
朝倉郡	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4	0.3	0.00%
筑前町	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1	0.00%
東峰村	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0.3	0.00%
直方市	21	25	33	26	26	9	17	21	8	15	13	20	234	19.5	0.20%
田川市	48	50	45	48	58	46	26	21	56	66	81	72	617	51.4	0.53%
北九州市	22	20	16	19	12	15	9	25	25	8	20	29	220	18.3	0.19%
福岡市	16	13	26	18	31	24	33	19	24	17	24	12	257	21.4	0.22%
中間市	0	6	1	2	1	0	0	2	0	1	0	1	14	1.2	0.01%
古賀市	3	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	7	0.6	0.01%
朝倉市	1	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	1	7	0.6	0.01%
久留米市	1	3	1	3	1	4	2	0	3	1	2	2	23	1.9	0.02%
その他県内	31	27	32	22	28	34	74	46	25	58	47	16	440	36.7	0.38%
その他県外	30	65	19	33	56	33	50	54	28	9	19	32	428	35.7	0.37%
合計	9,038	9,551	10,265	9,593	10,530	9,867	10,213	9,600	9,721	9,008	9,281	9,064	115,731	9,644	100.0%

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

7. 性別・年齢別外来患者数

年度 R05

年齢・性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	率
稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3	(全患者に対する)
男性(0～10歳)	130	129	131	105	123	108	95	94	109	68	68	64	1,224	102.0	1.1%
(11～20歳)	66	62	75	79	112	118	116	96	93	53	53	73	996	83.0	0.9%
(21～30歳)	59	90	120	80	86	76	67	56	55	45	59	56	849	70.8	0.7%
(31～40歳)	102	98	143	97	116	92	108	65	78	84	131	129	1,243	103.6	1.1%
(41～50歳)	180	155	195	165	179	174	255	241	218	175	207	157	2,301	191.8	2.0%
(51～60歳)	289	322	388	350	388	390	344	372	368	283	314	318	4,126	343.8	3.6%
(61～70歳)	705	692	757	658	761	689	675	618	709	628	548	528	7,968	664.0	6.9%
(71～80歳)	1,308	1,343	1,372	1,413	1,529	1,396	1,507	1,363	1,331	1,365	1,446	1,452	16,825	1,402.1	14.5%
(81～90歳)	718	662	797	780	908	739	730	761	663	581	707	813	8,859	738.3	7.7%
(91歳～)	133	126	130	162	206	184	204	162	191	155	176	178	2,007	167.3	1.7%
男性合計	3,690	3,679	4,108	3,889	4,408	3,966	4,101	3,828	3,815	3,437	3,709	3,768	46,398	3,866.5	40.1%
女性(0～10歳)	79	116	120	109	119	79	86	74	104	62	57	52	1,057	88.1	0.9%
(11～20歳)	36	47	75	79	92	48	75	56	65	41	31	58	703	58.6	0.6%
(21～30歳)	41	48	67	53	72	37	69	74	61	62	41	47	672	56.0	0.6%
(31～40歳)	97	99	91	119	85	90	82	79	98	72	67	60	1,039	86.6	0.9%
(41～50歳)	181	198	229	227	266	198	199	197	186	171	181	213	2,446	203.8	2.1%
(51～60歳)	379	369	348	389	387	385	444	391	427	277	326	275	4,397	366.4	3.8%
(61～70歳)	878	874	956	896	990	1,015	1,028	922	995	955	964	805	11,278	939.8	9.7%
(71～80歳)	1,895	2,085	2,198	1,799	1,745	1,837	2,139	2,087	1,945	1,776	1,786	1,738	23,030	1,919.2	19.9%
(81～90歳)	1,349	1,599	1,504	1,572	1,758	1,805	1,530	1,430	1,496	1,670	1,612	1,621	18,946	1,578.8	16.4%
(91歳～)	413	437	569	461	608	407	460	462	529	485	507	427	5,765	480.4	5.0%
女性合計	5,348	5,872	6,157	5,704	6,122	5,901	6,112	5,772	5,906	5,571	5,572	5,296	69,333	5,777.8	59.9%
合計	9,038	9,551	10,265	9,593	10,530	9,867	10,213	9,600	9,721	9,008	9,281	9,064	115,731	9,644.3	100.0%

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

紹介患者数

1. 紹介患者数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20
内 科	147	115	122	155	146	126	130	123	127	168	150	140	1649	137
小児科	2	1	3	3	1	4	2	1	2	5	3	4	31	3
外 科	25	29	28	24	27	31	29	33	26	27	27	21	327	27
整形外科	98	79	81	96	109	95	92	109	85	114	109	84	1151	96
脳神経内科	7	10	6	9	2	7	5	6	5	4	6	8	75	6
脳神経外科	2	0	1	1	1	3		1	3	2	1	4	19	2
救急科	10	9	9	13	8	8	7	13	12	2	7	13	111	9
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0
乳腺外科	11	3	22	43	52	17	25	18	17	6	10	11	235	20
皮膚科	23	25	21	31	29	28	32	17	22	31	43	25	327	27
泌尿器科	1	5	5	5	1	4	5	3	5	5	0	4	43	4
眼 科	23	43	45	34	29	38	34	40	36	46	45	39	452	38
耳鼻咽喉科	2	6	4	3	7	5	6	2	5	5	11	12	68	6
リハ科	2	2	1	1		1	1		1	0	0	0	9	1
放射線科	78	68	96	84	83	87	102	110	93	109	106	115	1131	94
合計	431	395	444	502	495	454	470	476	439	524	518	482	5630	469

2. 紹介元医療機関の内訳

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
飯塚病院	10	20	27	34	23	32	40	50	41	47	39	29	392	32.7
飯塚医師会	16	15	18	19	19	16	15	10	18	19	24	8	197	16.4
児嶋病院	7	2	8	14	14	14	21	20	22	27	13	17	179	14.9
江藤外科胃腸科	14	10	11	11	15	7	7	13	10	20	14	7	139	11.6
青山医院	17	5	15	9	17	11	10	11	11	8	8	13	135	11.3
ナワタ消化器外科医院	16	5	9	8	7	11	14	10	6	16	5	10	117	9.8
泌尿器科 C.U.クリニック	7	8	8	10	10	5	9	8	11	8	11	16	111	9.3
いしこ整形外科	17	7	8	8	4	2	13	11	8	8	14	11	111	9.3
新飯塚診療所	4	1	14	31	31	8	9	6	1		1	4	110	9.2
佐藤医院	5	9	5	9	13	4	5	6	7	6	10	9	88	7.3
あい内科・消化器科クリニック	2	10	12	7	10	5	5	9	7	5	10	5	87	7.3
松口循環器科・内科医院	7	10	6	9	7	4	2	11	4	8	8	8	84	7.0
千手医院	13	11	4	9	6	2	6	6	7	8	6	4	82	6.8
済生会飯塚嘉穂病院	7	14	7	6	9	10	4	4	6	5	3	7	82	6.8
社会保険稲築病院	5	7	9	4	6	7	9	4	5	6	9	10	81	6.8
大庭医院	4	3	3	4	7	5	4	9	5	12	14	6	76	6.3
宮嶋医院	7	2	3	6	4	7	5	6	8	7	5	9	69	5.8
佐藤眼科医院	5	3	6	5	3	5	3	6	6	10	4	11	67	5.6
整形外科健成クリニック	4	4	7	10	6	4	3	8	6	5	7	3	67	5.6
林医院	5	5	2	2	7	3	5	3	2	9	14	8	65	5.4
その他（340施設）	259	244	262	287	277	292	281	265	248	290	299	287	3,291	274.3
合計	431	395	444	502	495	454	470	476	439	524	518	482	5,630	469.2

3. 紹介率（初診患者を対象とする）

年度	R05													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
初診患者 a	742	736	853	921	969	803	830	755	805	703	720	677	9,514	792.8
紹介患者数（初診） b	313	267	321	371	392	347	357	373	332	381	408	349	4,211	350.9
救急車搬送者数（初診） c	162	168	184	226	249	166	196	167	188	190	192	187	2,275	189.6
小計 d=b+c	42	46	45	70	69	63	68	39	73	52	55	66	688	57.3
紹介率（%） d/a	538	522	624	625	651	574	566	549	544	461	473	424	6,551	545.9
	58.2%	51.1%	51.4%	59.4%	60.2%	60.5%	63.1%	67.9%	61.0%	82.6%	86.3%	82.3%	64.3%	

4. 逆紹介件数

年度	R05													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
初診患者 a	742	736	853	921	969	803	830	755	805	703	720	677	9,514	792.8
逆紹介件数 b	462	396	487	476	502	482	448	399	440	458	414	452	5,416	451.3
紹介率（%） b/a	285.2%	235.7%	264.7%	210.6%	201.6%	290.4%	228.6%	238.9%	234.0%	241.1%	215.6%	241.7%	238.1%	

救急部門

1. 救急患者取扱状況

年度	R05													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
救急車搬入件数	199	213	227	272	308	205	233	201	239	242	245	238	2,822	235.2
（一日平均）	6.6	6.9	7.6	8.8	9.9	6.8	7.5	6.7	7.7	7.8	8.8	7.7	-	7.7
時間外等自主来院患者数	97	157	142	158	149	158	141	129	150	113	120	109	1,623	135.3
（一日平均）	3.2	5.1	4.7	5.1	4.8	5.3	4.5	4.3	4.8	3.6	4.3	3.5	-	4.4
救急車からの入院患者数	84	88	91	110	116	95	87	98	101	123	103	113	1,209	100.8
（一日平均）	2.8	2.8	3.0	3.5	3.7	3.2	2.8	3.3	3.3	4.0	3.7	3.6	-	0.4
時間外等自主来院からの入院患者数	16	16	23	19	18	25	21	18	19	20	18	13	226	19
（一日平均）	0.5	0.5	0.8	0.6	0.6	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	0.6

※時間外等自主来院患者とは、救急車搬入を除く時間外・休日来院者。

※救急車からの入院患者とは、時間内、時間外等を問わず救急車搬入からの入院患者数。

※時間外等自主来院からの入院患者とは、時間外等に自主来院後入院した数。

放射線部門

1. 放射線件数

年度	R05													
撮影装置 部位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
一般撮影	1,384	1,471	1,459	1,522	1,523	1,282	1,458	1,453	1,495	1,388	1,348	1,408	17,191	1,432.6
下肢全長	47	40	45	40	41	43	37	43	40	31	26	31	464	38.7
透視撮影	37	33	41	30	57	48	61	41	48	36	43	50	525	43.8
CT	603	579	632	686	737	629	683	692	648	675	636	631	7,831	652.6
MRI	210	218	219	190	220	207	236	238	216	185	221	221	2,581	215.1
RI	5	2	7	3	5	5	8	4	8	10	5	11	73	6.1
Angio	頭部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	腹部	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	心臓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他	1	5	1	3	3	1	1	6	2	5	2	32	2.7
マンモグラフィー	42	37	45	65	85	103	106	84	68	66	95	68	864	72.0
骨密度測定	141	136	148	153	162	162	155	137	155	143	151	176	1,819	151.6
ポータブル・手術室等	196	190	245	234	299	266	197	222	230	270	275	248	2,872	239.3
合計	2,666	2,711	2,842	2,926	3,133	2,746	2,942	2,920	2,910	2,809	2,802	2,846	34,253	2854.4

手術統計

1. 手術件数（科別）

年度 R05

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科		1	1	1	1			2				1	7	0.6
外科	35	19	32	28	35	26	24	28	31	27	29	24	338	28.2
整形外科	58	59	56	62	61	56	66	58	45	67	61	62	711	59.3
眼科	85	89	94	89	63	84	82	77	65	78	87	70	963	80.3
耳鼻いんこう科													0	0.0
乳腺外科	9	11	7	9	14	12	10	17	7	9	8	5	118	9.8
呼吸器外科													0	0.0
皮膚科			1	1					1				3	0.3
泌尿器科													0	0.0
合計	187	179	191	190	174	178	182	182	149	181	185	162	2140	178.3

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

リハビリ統計

1. 入院件数（単位数）

年度 R05

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳血管	PT	563	804	805	835	1,010	544	674	523	624	583	598	514	8,077	673.1
	OT	530	731	653	711	926	512	616	407	553	474	609	469	7,191	599.3
	ST	322	489	562	550	691	447	510	367	428	338	374	283	5,361	446.8
廃用	PT	375	422	314	551	847	504	537	267	269	278	600	342	5,306	442.2
	OT	124	58	24	28	39	69	127	144	102	95	57	59	926	77.2
	ST	140	156	8	23	86	52	33	62	82	153	68	82	945	78.8
運動器	PT	5,721	6,523	6,075	5,506	5,331	4,887	6,226	6,409	6,367	5,734	5,365	5,885	70,029	5,835.8
	OT	3,247	3,371	3,306	3,205	3,486	3,029	3,622	3,722	3,649	3,757	3,478	3,875	41,747	3,478.9
呼吸器	PT	214	150	267	307	639	585	397	296	264	323	551	543	4,536	378.0
	OT	12	72	64	0	13	133	131	35	24	128	208	180	1,000	83.3
	ST	229	216	251	200	317	442	386	373	332	289	449	474	3,958	329.8
がん	PT	110	120	116	52	103	153	200	145	164	67	89	147	1,466	122.2
	OT	34	72	71	24	28	60	119	111	156	83	43	99	900	75.0
	ST	0	0	0	0	0	39	99	42	0	0	0	0	180	15.0

2. 外来件数（単位数）

年度 R05

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳血管	PT	34	33	31	27	25	23	30	29	53	28	15	16	344	28.7
	OT	22	27	18	13	14	8	8	8	14	12	6	8	158	13.2
	ST	8	6	10	0	0	0	0	0	3	0	2	0	29	2.4
運動器	PT	308	229	285	255	288	274	267	187	212	255	254	234	3,048	254.0
	OT	310	304	324	257	375	384	327	263	249	224	214	339	3,570	297.5
呼吸器	PT	0												0	0.0
	OT													0	0.0
廃用	PT	16	12										0	28	2.3

検査統計

1. 検査件数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
検体検査	48,072	49,011	55,797	52,079	57,289	49,744	49,773	47,325	48,743	48,364	48,485	45,465	600,147	50,012.3
生理機能検査	880	868	892	914	996	830	964	941	688	910	811	758	10,452	871.0
病理学的検査	92	84	82	81	113	96	130	87	77	79	95	64	1,080	90.0

薬剤統計

1. 処方箋枚数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外来院内処方箋枚数	145	205	196	264	282	155	165	137	179	144	147	150	2,169	180.8
入院処方箋枚数	2,893	3,104	3,051	3,012	3,280	3,134	3,259	3,152	3,072	2,893	3,047	2,964	36,861	3,071.8
外来院外処方箋枚数	4,692	4,663	4,940	4,806	5,074	4,747	4,817	4,716	4,764	4,420	4,264	4,167	56,070	4,672.5
外来院外処方率(%)	97.0%	95.8%	96.2%	94.8%	94.7%	96.8%	96.7%	97.2%	96.4%	96.8%	96.7%	96.5%	96.3%	96.3%

保険予防活動統計

1. 保険予防活動

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
健康診断 (企業健診含む)	5	10	9	6	10	2	10	2	9	12	14	15	104	8.7
乳がん検診 (クーポン含む)	2	3	13	10	11	11	24	10	16	20	20	12	152	12.7
特定健診	0	14	21	17	24	20	17	13	8	18	18	3	173	14.4
予防接種	88	143	285	224	198	58	453	497	274	224	153	106	2,703	225.3
合計	95	170	328	257	243	91	504	522	307	274	205	136	3,132	261.0

死亡及び解剖統計

1. 死亡退院(外来死亡を除く)・解剖件数

年度 R05

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
死亡数	13	8	6	6	12	13	16	15	18	11	13	14	145	12.1
解剖数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
解剖率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0

病院年報

第 2 号

(令和 5 年度)

発 行 飯塚市立病院

〒820-0088

TEL : 0948-22-2980 FAX : 0948-24-3812

福岡県飯塚市弁分633-1

発 行 日 令和 7 年 3 月

制 作 株式会社 陽文社

<http://www.youbunsha.co.jp/>